

やまなし青少年のインターネット利用と

生活習慣に関する調査2022

調査報告書



令和5年1月
山梨県教育委員会

目次

1	調査の概要	3
(1)	調査の目的	3
(2)	調査手法	3
(3)	調査対象者	3
(4)	有効回答数	3
(5)	質問数	3
(6)	調査時期	3
(7)	調査協力	3
(8)	質問紙内容	3
2	調査結果の要点	5
(1)	勉強への自信	5
(2)	携帯電話所持率	5
(3)	帰宅後に一番長くすること	5
(4)	家庭でのネット接続時間	5
(5)	ネット接続する機器	5
(6)	ネットで一番すること	6
(7)	ネットでの課金	6
(8)	会ったことがない人とネット上でのやりとり	6
(9)	ネットで知り合った人と実際に会ったこと	6
(10)	フィルタリングの設定率	6
(11)	ネット依存率	7
(12)	家庭でのネットのルール	7
3	調査結果の詳細	8
(1)	平日の就寝時間	8
(2)	平日の起床時間	10
(3)	朝食の摂取状況	12
(4)	イライラすることがあるか	14

(5) 勉強への自信	16
(6) 視力	18
(7) 携帯電話所持率	20
(8) 帰宅後に一番長くすること	22
(9) 家庭でのネットの利用時間	24
(10) ネット接続する機器	26
(11) ネットで一番すること	28
(12) ネットでの課金	30
(13) ネット上でのケンカやトラブル	32
(14) 会ったことない人とネット上でのやりとり	34
(15) ネットで知り合った人に実際に会ったこと	36
(16) フィルタリングの設定	38
(17) ネットに夢中になっていると感じる	40
(18) 満足するためにネット時間を長くしたい	41
(19) ネット時間を減らそうとしてうまくいかない	42
(20) ネット時間を短くしようとするとう落ち着かない・イライラする	43
(21) 予定していたより長くネットを使用	44
(22) ネットのせいで人間関係がうまくいかなかった	45
(23) ネットに夢中なのを隠すために家族や友達に嘘	46
(24) 不安や落ち込みから逃げたくてネットをする	47
(25) ネット依存率	48
(26) 夜何時までルール	50
(27) 一日何時間ルール	51
(28) 居間（リビング）でしか使わないルール	52
(29) 食事中は使わないルール	53
(30) 布団（ベッド）では禁止ルール	54
(31) 人の嫌がることを投稿しないルール	55
(32) 個人情報を投稿しないルール	56
(33) 会ったことがない人とネットでやり取りしない	57
(34) ネットで知り合った人に会わないルール	58
(35) ネット課金ルール	59
(36) ネットで困ったら保護者に相談	60
(37) 相談しない理由	62
【参考】生活アンケート質問紙	64

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本県の児童生徒のインターネット利用状況及び生活習慣等について把握するとともに、「第36回青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 山梨」の討議の際に、本調査結果の一部を用いて進行するため。

(2) 調査手法

webアンケート調査 (googleフォーム)

(3) 調査対象者

山梨県内の小学生・中学生・高校生
(小学校3校、中学校2校、高校3校 計8校を抽出)

(4) 有効回答数 (総数: 最大2613人)

小学生: 1401人

(1年生: 225人、2年生: 231人、3年生: 242人 ⇒ 698人)

(4年生: 251人、5年生: 234人、6年生: 218人 ⇒ 703人)

中学生: 668人

(1年生: 242人、2年生: 218人、3年生: 208人)

高校生: 544人

(1年生: 185人、2年生: 162人、3年生: 197人)

(5) 質問数

小学生 (1～3年生): 最大7問

小学生 (4～6年生)、中学生、高校生: 最大36問

(6) 調査時期

令和4年6月

(7) 調査協力

竹内 和雄 (兵庫県立大学 環境人間学部 准教授)

(8) 質問紙内容

① 平日は何時ごろ寝ますか

② 平日は何時ごろ起きますか

※ 小学生 (1～3年生) は

①②③⑦⑧⑨⑩を回答

- ③ 朝食を食べますか
- ④ イライラすることはありますか
- ⑤ 勉強に自信はありますか
- ⑥ 視力（メガネなし）はどれくらいですか
- ⑦ 自分の携帯電話をもっていますか
- ⑧ 学校から帰ってから、家で一番長くするのは何ですか
- ⑨ 家で勉強や読書等以外でどれくらいネットを利用しますか（ゲーム、動画、SNS など）
- ⑩ 一番ネットを利用するのは次のどれですか
- ⑪ ネットで一番よくすることは次のどれですか
- ⑫ 課金（ゲーム、スタンプ等）のこれまでの合計課金金額はどれくらいですか（ポイントをためた課金も含む）
- ⑬ ネット上でのケンカやトラブルの経験はありますか
- ⑭ 会ったことがない人とネットでやりとりはありますか（ゲームやボイスチャット等も含む）
- ⑮ ネットで知り合った人と実際に会ったことはありますか
- ⑯ フィルタリングを設定していますか
- ⑰ ネットに夢中になっていると感じることがありますか
- ⑱ 満足するためにネット時間を長くしたいと思うことがありますか
- ⑲ ネット時間を減らそうとするとうまくいかないことがありますか
- ⑳ ネット時間を短くしようとするとう落ち着かなかったり、イライラしたりしますか
- ㉑ 予定していたより長くネットをしてしまうことがありますか
- ㉒ ネットのせいで人間関係がうまくいなくなってしまうことがありますか
- ㉓ ネットに夢中なのを隠すために家族や友達に嘘をついたことがありますか
- ㉔ 不安や落ち込みから逃げたくてネットをすることがありますか
- ㉕ 「夜何時まで」ルールはありますか
- ㉖ 「一日何時間」ルールはありますか
- ㉗ 「居間（リビング）でしか使わない」ルールはありますか
- ㉘ 「食事中は使わない」ルールはありますか
- ㉙ 「布団（ベッド）では禁止」ルールはありますか
- ㉚ 「人が嫌がることを投稿しない」ルールはありますか
- ㉛ 「個人情報を投稿しない」ルールはありますか
- ㉜ 「会ったことがない人とネットでやり取りしない」ルールはありますか
- ㉝ 「ネットで知り合った人と会わない」ルールはありますか
- ㉞ 「ネット課金」のルールはありますか
- ㉟ ネットで困ったら保護者に相談しますか
- ㊱ ㉟で「相談しない場合」、理由は何ですか

インターネット依存スクリーニングテスト

家庭でのネットのルールの有無

※質問紙の詳細についてはP 64・65

2 調査結果の要点

(1) 携帯電話所持率

- ・「ガラケーとスマホ」を合わせた所持率は67.0%、「スマホ」の所持率は54.3%である。【図表7-1】
- ・現在、使用が主流となっているスマホの所持率は、小学校1～3年生が19.9%、小学校4～6年生が28.1%、中学生が82.9%、高校生が97.2%である。【図表7-2】
- ・小学校6年生から中学校1年生にかけて所持率が約2倍に高まる。(小6：40.4% → 中1：81.0%)【図表7-3】

(2) 帰宅後に一番長くすること

- ・学齢が上がるほど「ネット」の使用が高まり、「勉強・読書」が低下している傾向にある。【図表8-2】
- ・小学生は女子よりも男子の方が「ネット」の使用が多い傾向にある。【図表8-3】

(3) 家庭でのネットの接続時間

- ・「四時間以上」の割合は、小学校1～3年生が8.5%、小学校4～6年生が11.5%、中学生が15.4%、高校生が23.4%である。【図表9-1】
- ・「四時間以上」の割合が最も高いのは、高校2年生の33.1%、次いで高校3年生の20.6%である。【図表9-2】

(4) ネット接続する機器

- ・小学校1～6年生の男子は「ゲーム機」、小学校1～5年生の女子は「テレビ」、小学校6年生女子・中学生・高校生は「スマホ」を使用して最もネット接続をしている。【図表10-3】

(5) ネットで一番すること

- ・小学校4～6年生、中学生、高校生ともに「動画視聴」が最も多く約半数となっている。【図表11-1】
- ・「動画視聴」以外では、小学校4～6年生男子と小学校4・6年生女子、中学校1・2年生男子は「オンラインゲーム」、中学校3年生男子と中学生女子、高校生の女子は「SNS」の利用が高い。なお、小学校5年生女子は「勉強」である。【図表11-3】

(6) ネットでの課金

- ・小学校4～6年生の38.0%、中学生の39.4%、高校生の49.0%が「ネットでの課金」をしたことがある。そのうち「一万円以上」の課金は小学校4～6年生が11.7%、中学生が14.8%、高校生が16.0%である。【図表12-1】
- ・どの年代においても、女子より男子の方が「ネットでの課金」を行っている割合が高い。【図表12-3】

(7) 会ったことがない人とネット上でのやりとり

- ・小学校4～6年生の35.9%、中学生の45.6%、高校生の67.2%が「一度以上」会ったことがない人とネット上でのやりとりをしたことがある。【図表14-1】

(8) ネットで知り合った人と実際に会ったこと

- ・小学校4～6年生の6.2%、中学生の6.1%、高校生の13.9%が「一度以上」ネットで知り合った人と実際に会ったことがある。【図表15-1】

(9) フィルタリングの設定率

- ・小学校4年生から高校3年生までにおける、スマホ・ゲーム機・タブレット等のフィルタリングの設定率は36.8%であり、未設定率（以前していた、したことはない）は21.5%である。【図表16-1】
- ・各校種の設定率は、小学校4～6年生が26.1%、中学生が44.1%、高校生が39.9%である。【図表16-2】

(10) ネット依存率

***インターネット依存スクリーニングテスト8項目を「ネット依存率（0～2項目該当：問題なし、3～4項目該当：依存の危険性あり、5～8項目該当：依存傾向あり）」に分類**

- ・小学校4年生から高校3年生までにおける、「依存傾向あり」は18.4%、「依存の危険性あり」は33.0%、「問題なし」は48.6%である。【図表25-1】
- ・各校種の「依存傾向あり」は、小学校4～6年生が12.5%、中学生が18.7%、高校生が25.9%である。【図表25-2】
- ・男女別で比較すると、小学校4年生を除くすべての学齢で男子よりも女子の

方が「依存傾向あり」が高く、最も高いのは高校3年生女子の36.8%である。【図表25-4】

(11) 家庭でのネットのルール（有・無）

- ・10項目全てのルールにおいて、学齢が上がるほど「ルール有」の割合が低下している。【図表26～35】
- ・どの校種においても「ルール有」の割合が低いのは、「居間(リビング)でしか使わない」・「布団(ベッド)では使わない」である。【図表28、30】一方、「ルール有」の割合が高いのは、「食事中は使わない」・「人の嫌がることを投稿しない」・「個人情報を投稿しない」である。【図表29、31、32】
- ・「ルール有」の低下の幅が大きいのは、「夜何時まで」・「一日何時間」・「会ったことがない人とネットでやり取りしない」である。【図表26、27、33】

3 調査結果の詳細

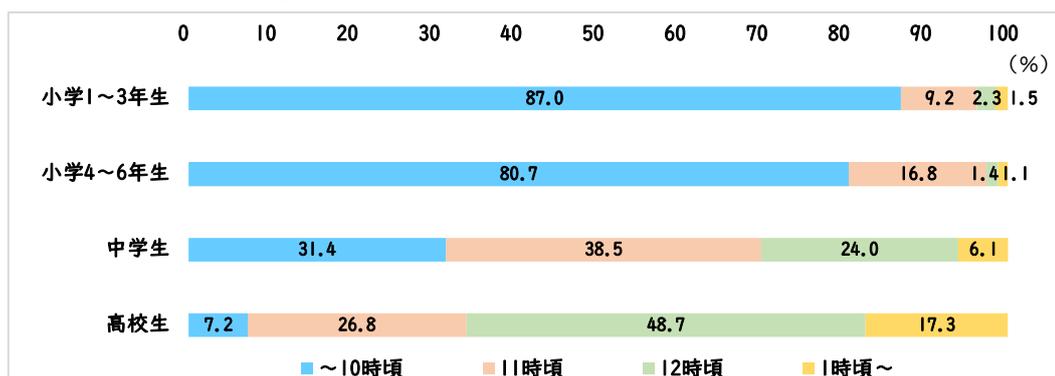
(1) 平日の就寝時間

平日の就寝時間を、校種別【図表1-1】・学齢別【図表1-2】・男女別【図表1-3】に示す。

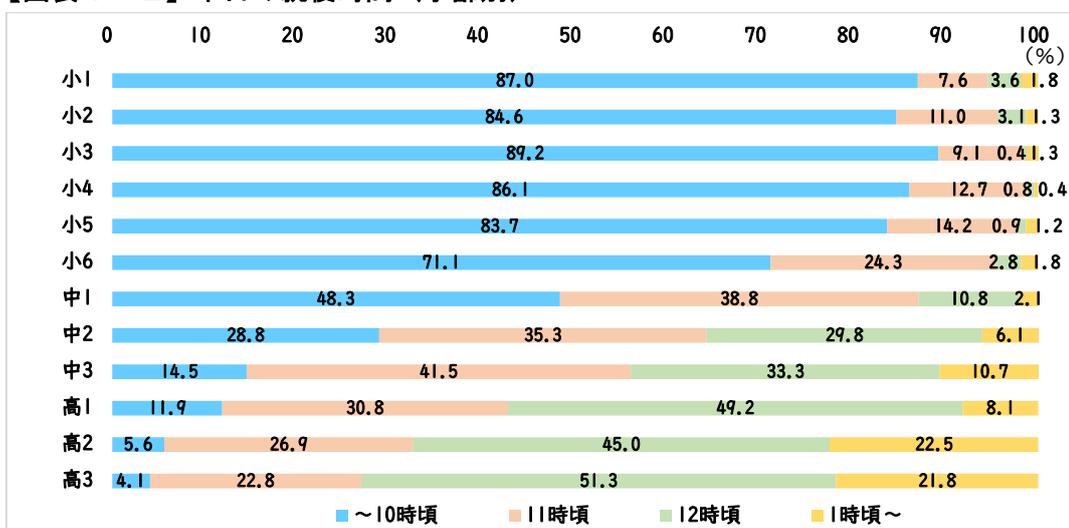
小学生は「10時頃」、中学生は「11時頃」、高校生は「12時頃」に就寝する割合が最も高くなっている。特に高校生の66.0%が12時以降に就寝している。【図表1-1】

また、年齢が上がるほど就寝時間が遅くなる傾向があり【図表1-2】、男女別で比較すると、特に小学校6年生の「11時頃」に就寝が、男子よりも女子の方が10.2%多く、さらに中学校1年生の「12時頃」に就寝が、男子よりも女子の方が15.4%多いことから、女子の方が就寝時間遅くなるのが早まる傾向にある。【図表1-3】

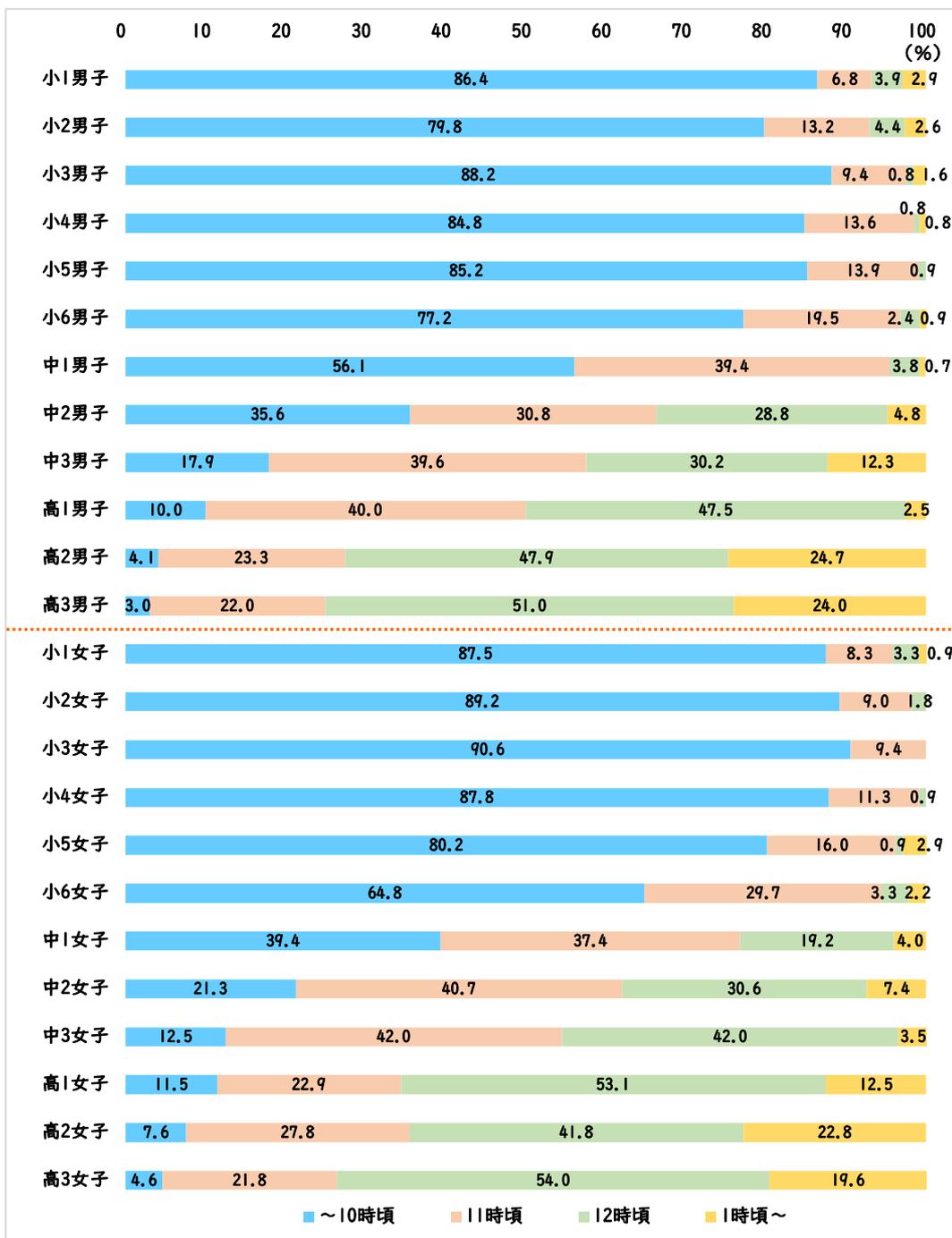
【図表1-1】 平日の就寝時間（校種別）



【図表1-2】 平日の就寝時間（学齢別）



【図表 1-3】平日の就寝時間（男女別）



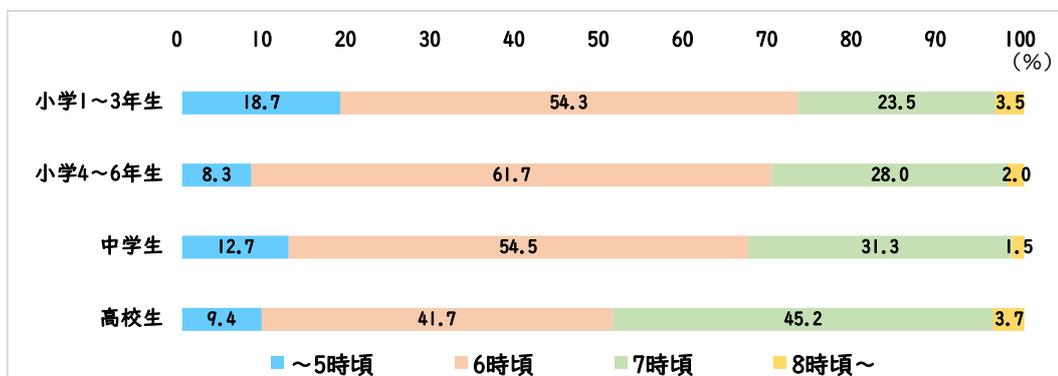
(2) 平日の起床時間

平日の起床時間を、校種別【図表2-1】・学齢別【図表2-2】・男女別【図表2-3】に示す。

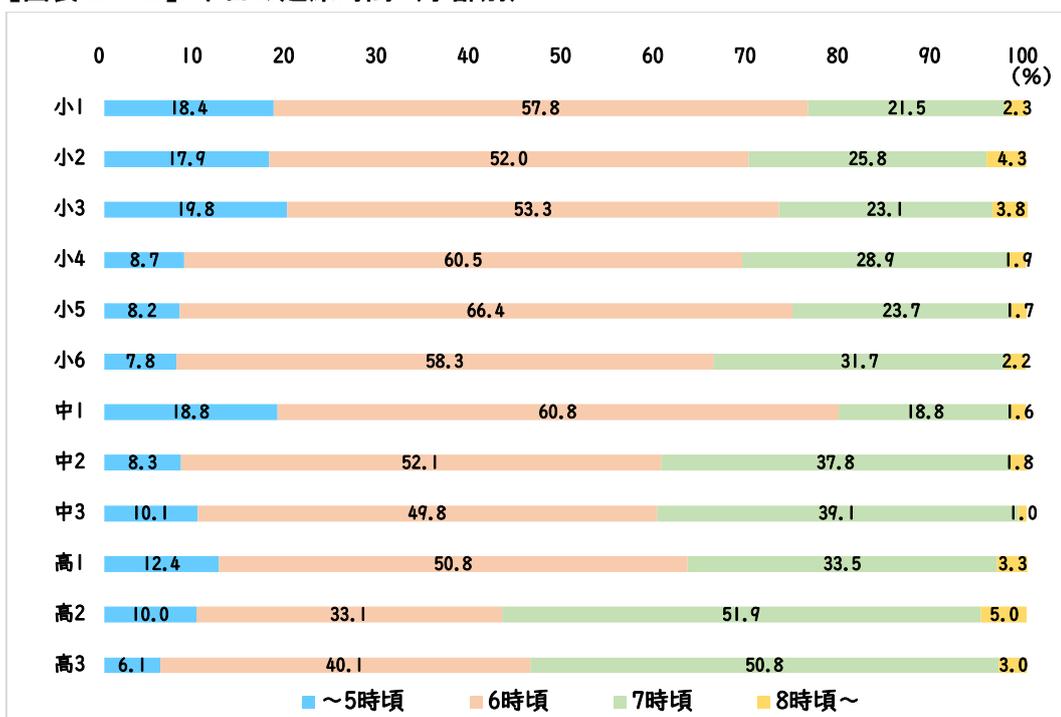
小学生と中学生は「6時頃」に、高校生は「7時頃」起床する割合が最も高く、高校生の約半数が7時以降に起床している。【図表2-1】

また、高校2・3年生の起床時間が遅くなる傾向があり【図表2-2】、男女別で比較すると、中学校3年生の「7時頃」に起床が、女子よりも男子の方が24.2%多く、さらに高校2年生の「8時頃」に起床が、女子よりも男子の方が8.4%多いが、男女で起床時間の大幅な相違はみられない。【図表2-3】

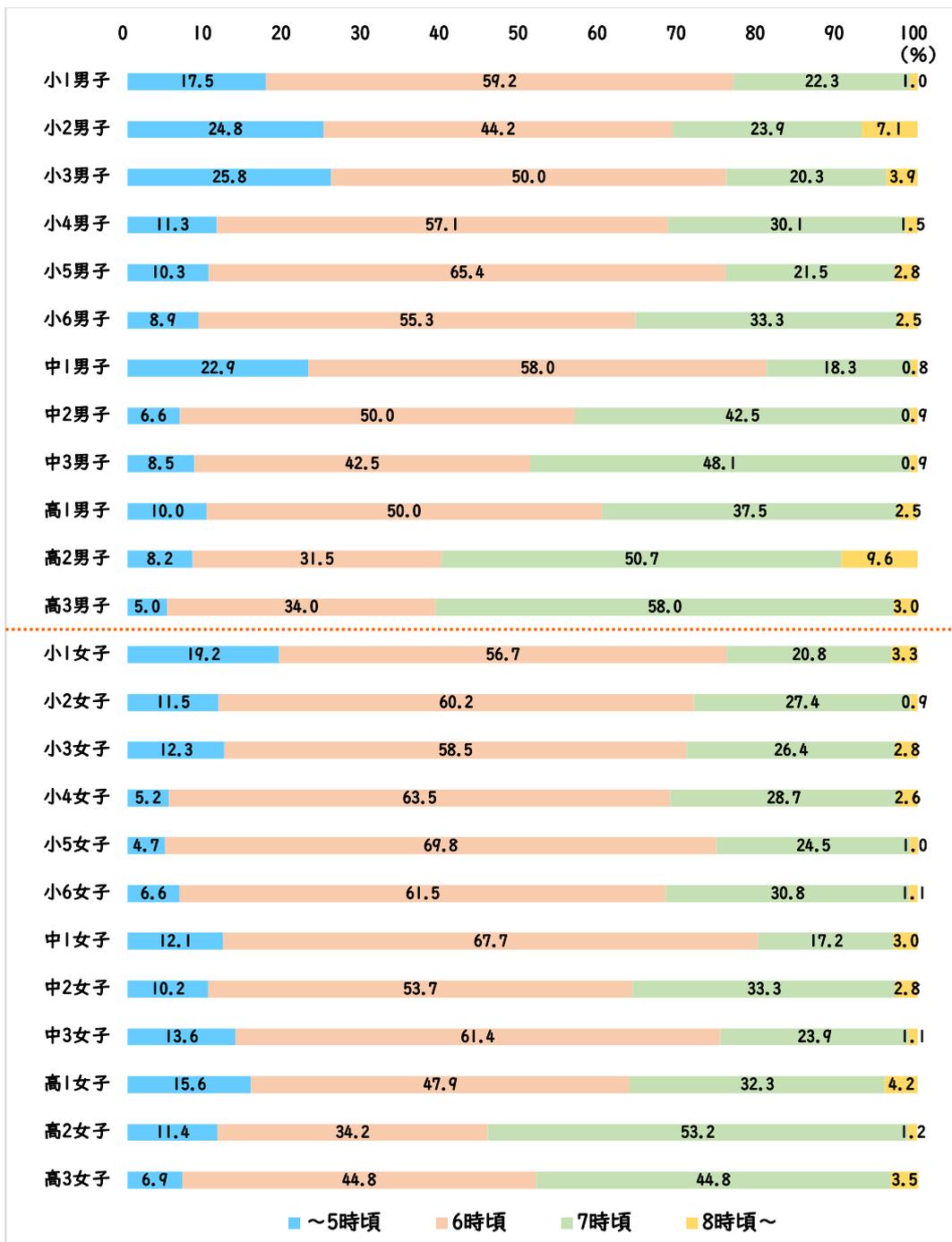
【図表2-1】 平日の起床時間（校種別）



【図表2-2】 平日の起床時間（学齢別）



【図表 2-3】平日の起床時間（男女別）



(3) 朝食の摂取状況

朝食の摂取状況を、校種別【図表3-1】・学齢別【図表3-2】・男女別【図表3-3】に示す。

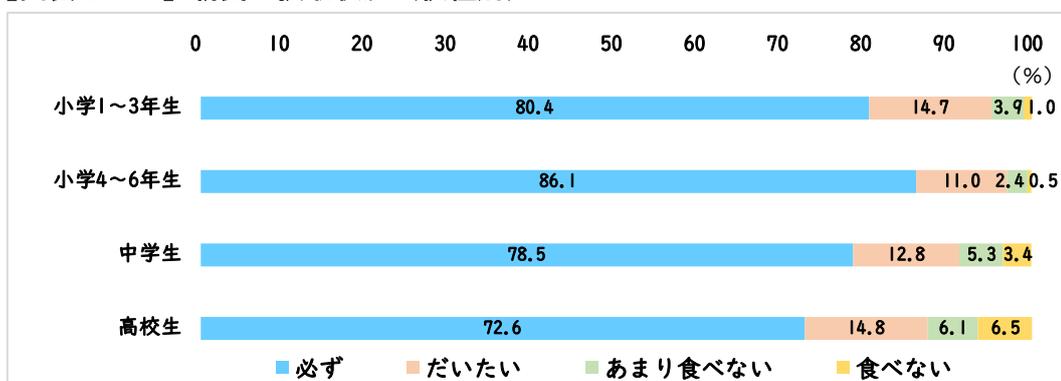
「必ず」と「だいたい」を合わせると、小学生と中学生は90%以上が、高校生は80%以上が朝食を食べている。【図表3-1】

学齢別で見たときに、「必ず」に着目すると、最も高いのは小学校5年生の89.7%であり、最も低いのは高校2年生の68.6%となっている。

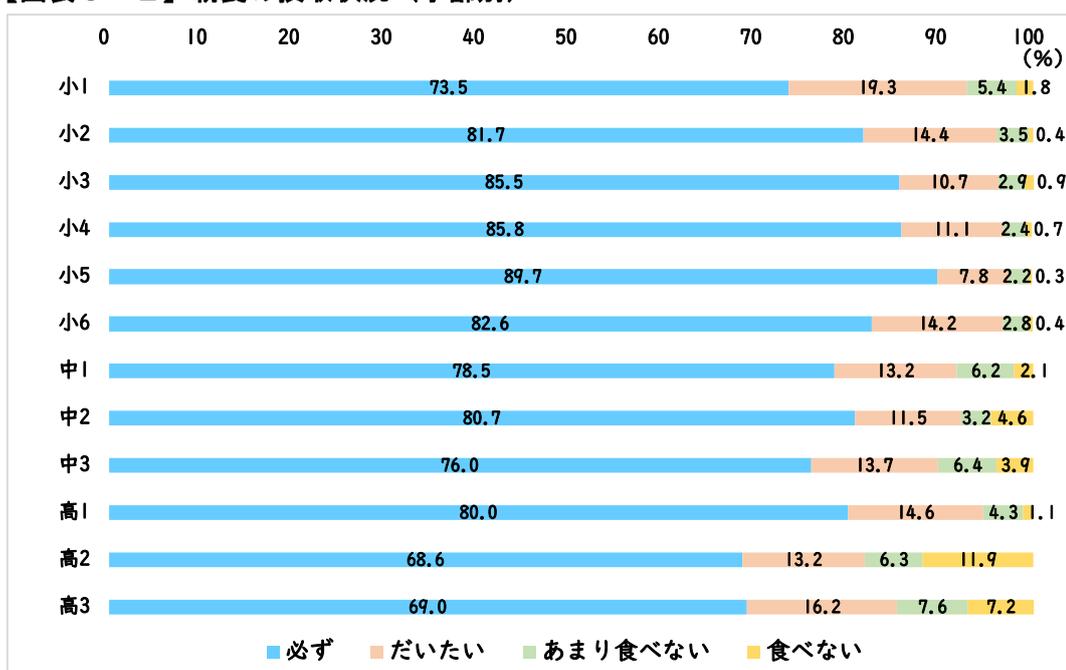
【図表3-2】

また、男女別で見たときに、小学校1年生女子の「必ず」が70.2%であり、同学年の男子や小学校の他学年と比較して低い結果であった。【図表3-3】

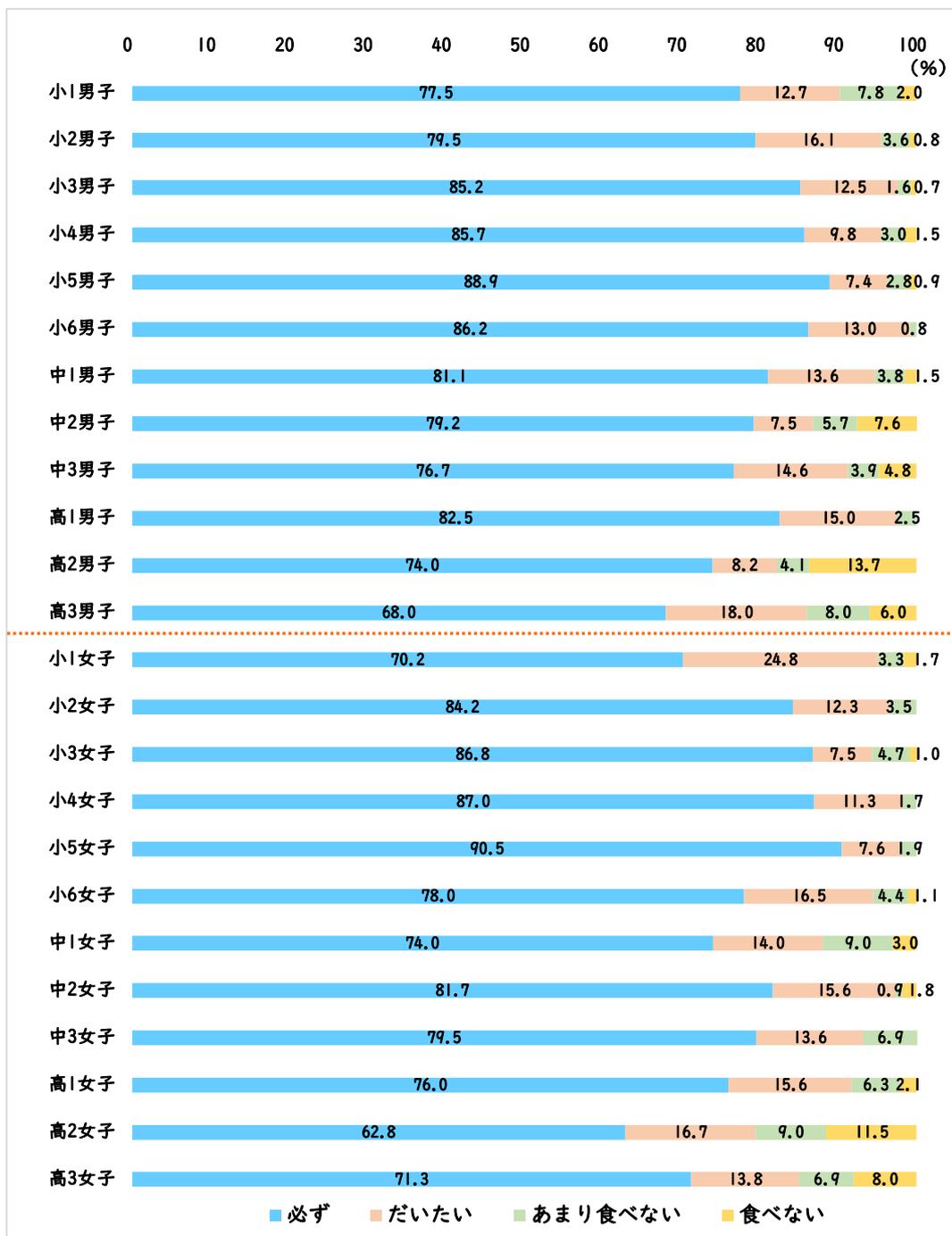
【図表3-1】 朝食の摂取状況（校種別）



【図表3-2】 朝食の摂取状況（学齢別）



【図表 3-3】朝食の摂取状況（男女別）



(4) イライラすることがあるか

イライラすることがあるかについて、校種別【図表4-1】・学齢別【図表4-2】・男女別【図表4-3】に示す。

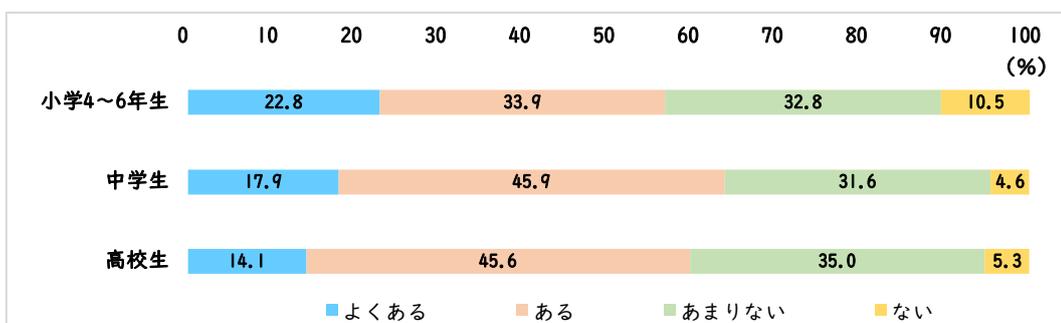
「よくある」については小学校4～6年生が最も高く22.8%である。「よくある」と「ある」を合わせると、小学生、中学生、高校生ともに60%前後であり大幅な違いはみられない。【図表4-1】

学齢別でみたときに、「よくある」に着目すると、最も高いのは小学校5年生の24.6%であり、最も低い高校1年生(11.4%)の約2倍となっている。

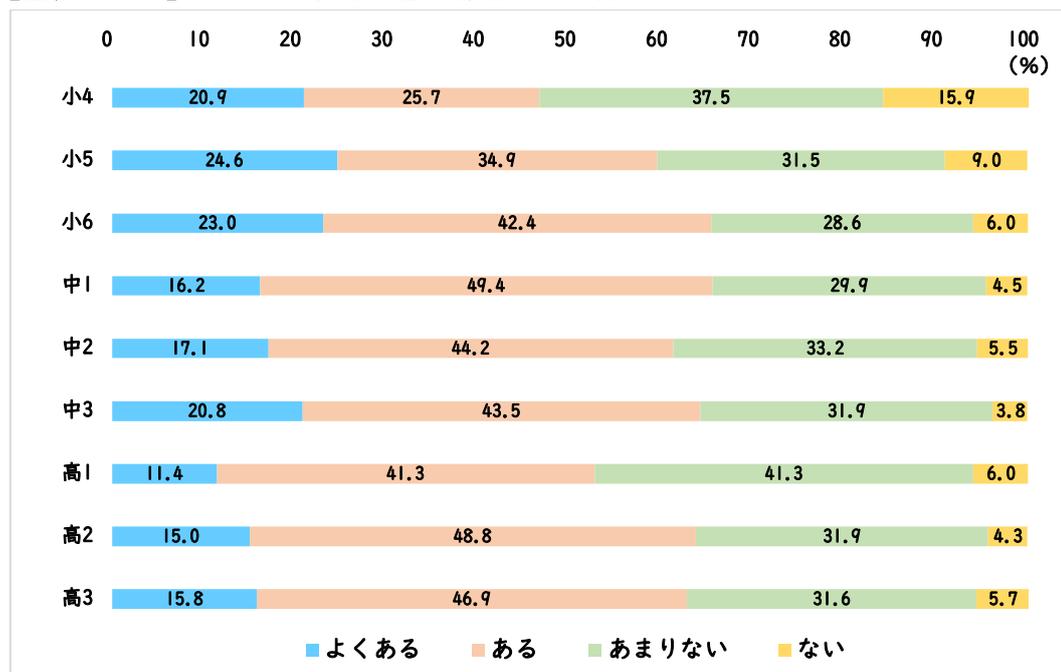
【図表4-2】

特に、小学校5年生の女子(25.5%)については、6年生女子(25.6%)に次いで高い結果である。【図表4-3】

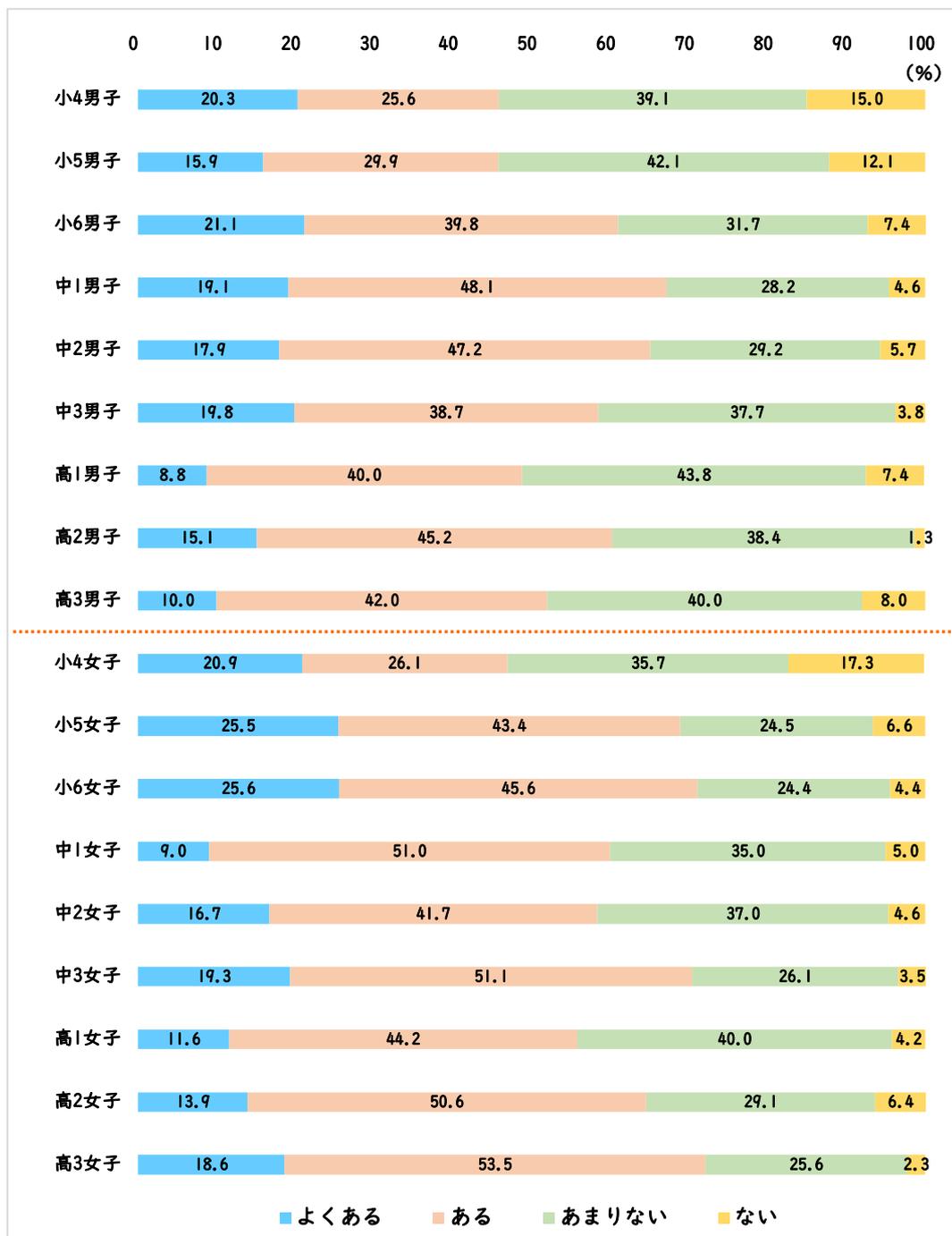
【図表4-1】 イライラすることがあるか (校種別)



【図表4-2】 イライラすることがあるか (学齢別)



【図表4-3】イライラすることがあるか（男女別）



(5) 勉強への自信

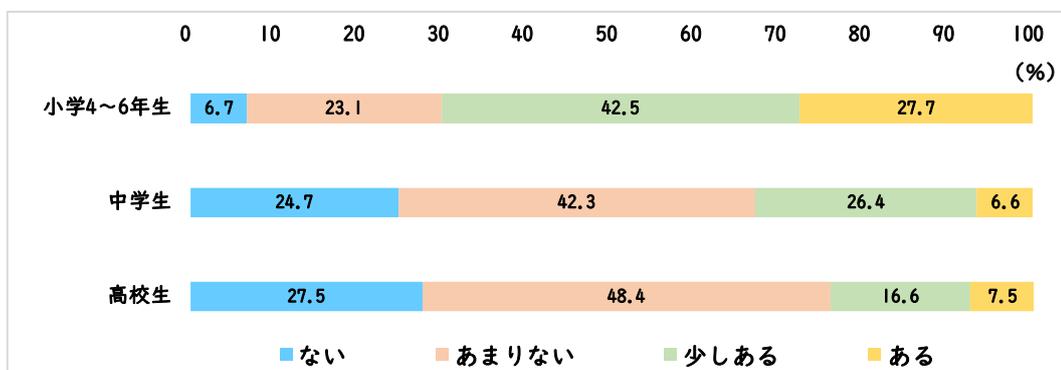
勉強への自信について、校種別【図表5-1】・学齢別【図表5-2】・男女別【図表5-3】に示す。

「ある」は小学校4～6年生が最も高く27.7%であった。また、校種が上がるほど勉強への自信（「ある」「少しある」）は低下する傾向がある。

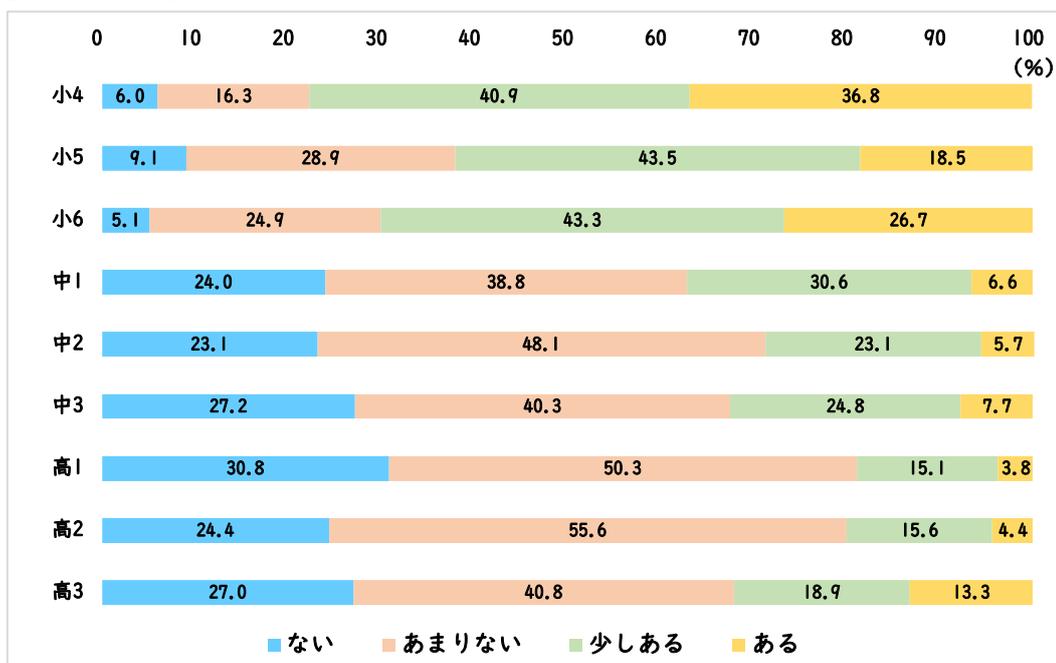
【図表5-1】

学齢別でみたときに、「ある」「少しある」に着目すると、中学校1年生、高校1年生で顕著な低下がみられる（小6：70.0%→中1：37.2%、中3：32.5%→高1：18.9%）【図表5-2】が、男女での大幅な違いはみられない。【図表5-3】

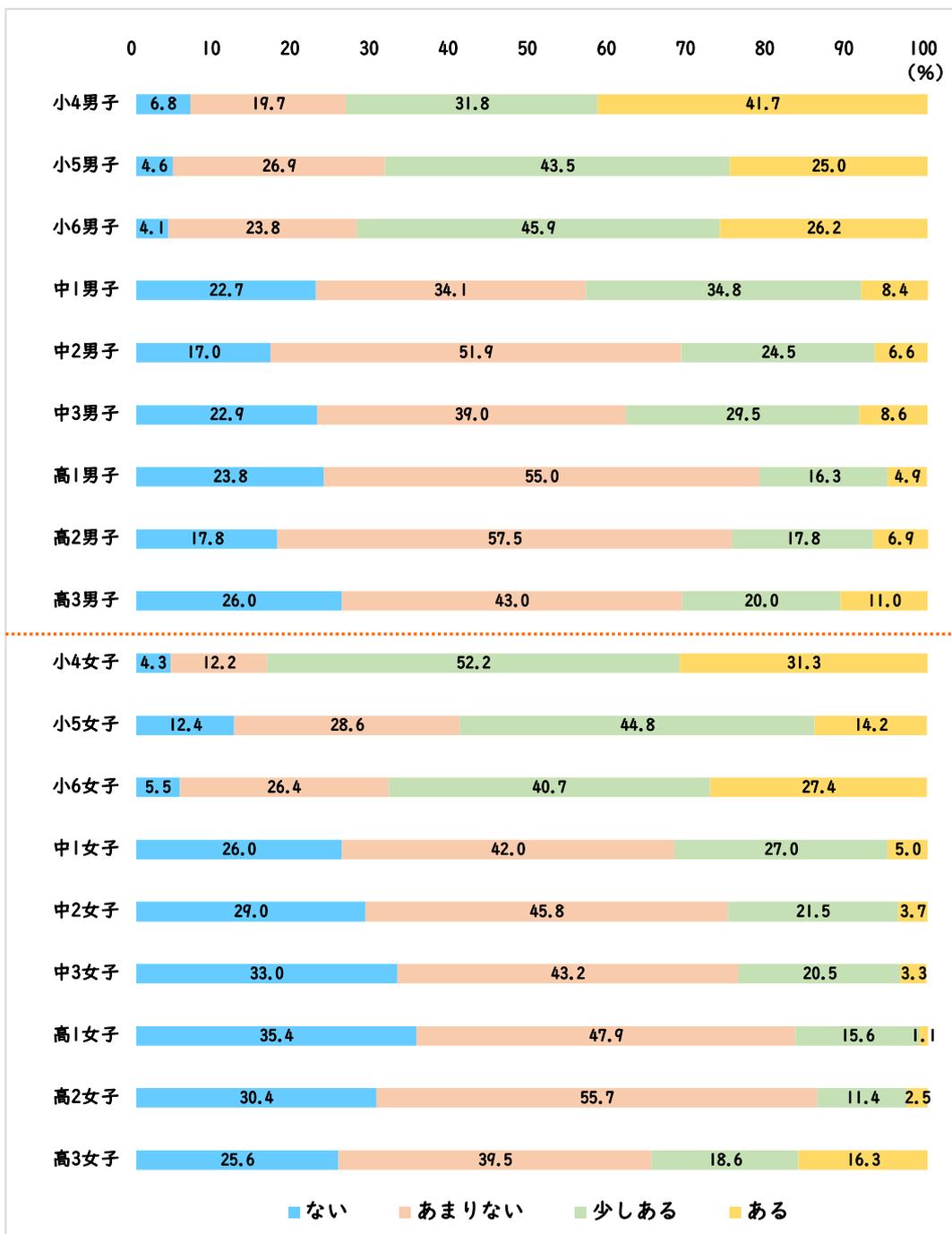
【図表5-1】勉強への自信（校種別）



【図表5-2】勉強への自信（学齢別）



【図表5-3】勉強への自信（男女別）



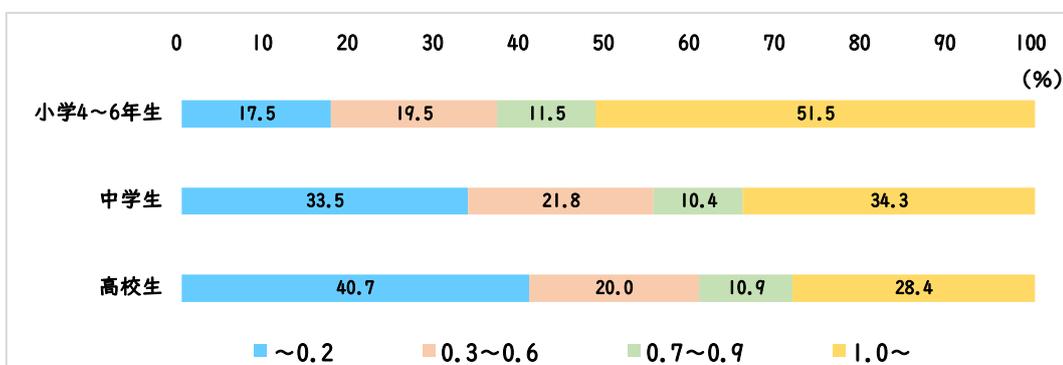
(6) 視力

視力（裸眼）について、校種別【図表6-1】・学齢別【図表6-2】・男女別【図表6-3】に示す。

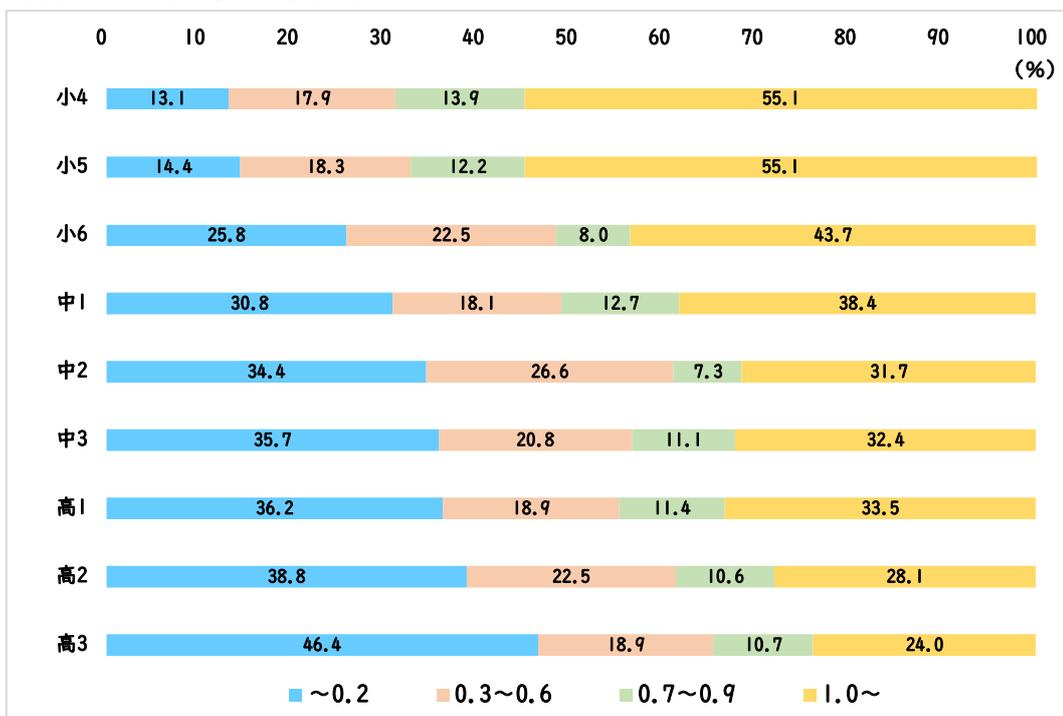
「0.2」以下は高校生が最も高く40.7%であり、次いで中学生が33.5%である。これらは、小学校4～6年生（17.5%）約2倍前後となっている。【図表6-3】

また、学齢が上がるほど視力が低下する傾向があり【図表6-2】、男女別で比較すると、「1.0」以上の割合は、小学校4年生を除いた全てで男子よりも女子の方が低い。【図表6-3】

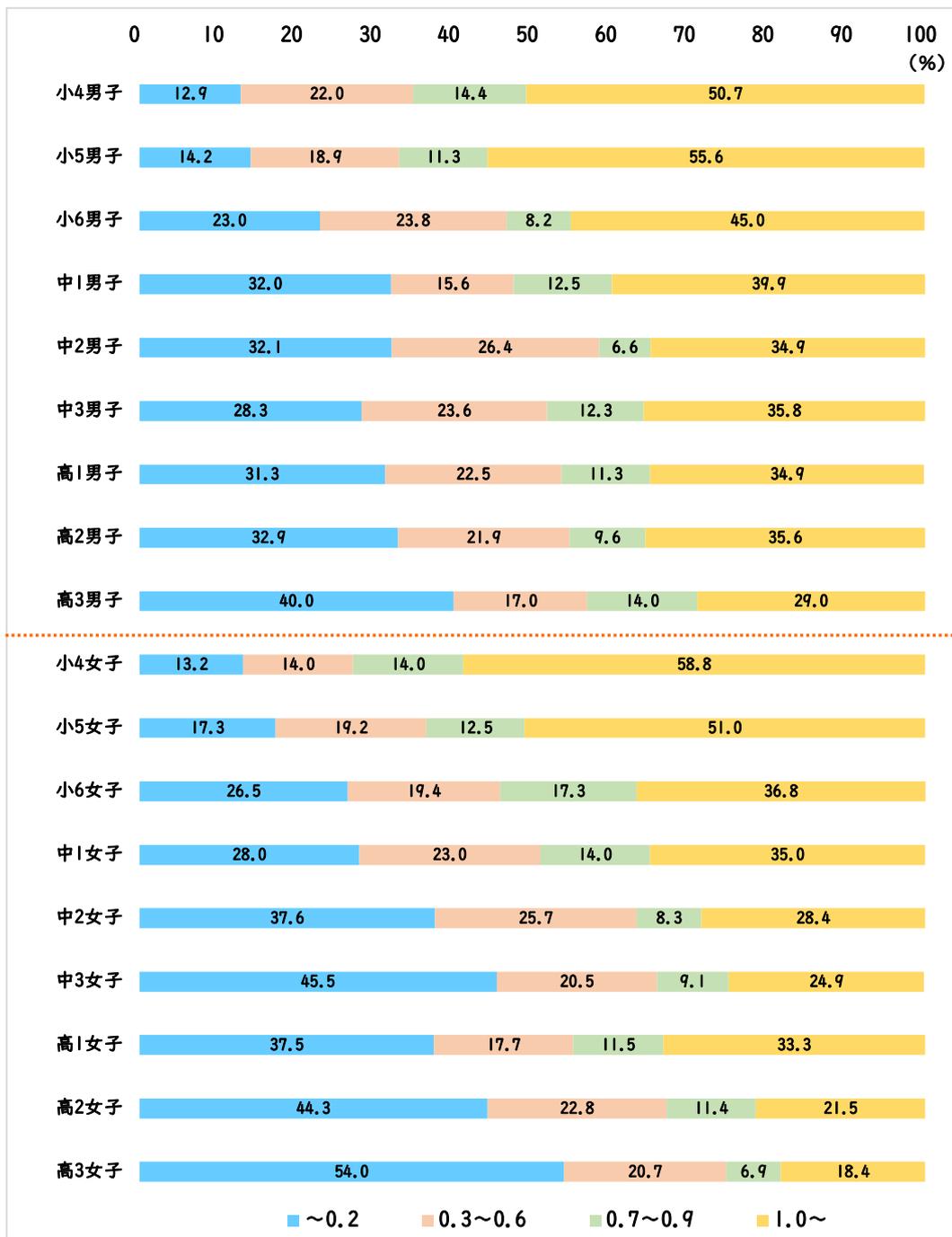
【図表6-1】 視力（校種別）



【図表6-2】 視力（学齢別）



【図表 6-3】視力（男女別）



(7) 携帯電話所持率

携帯電話の所持率について、全体【図表7-1】・校種別【図表7-2】・学齢別【図表7-3】・男女別【図表7-4】に示す。

小学校1年生～高校3年生までの携帯電話所持率（ガラケー、スマホ、ガラケーとスマホ両方）は67.0%であり、現在使用が主流となっているスマホの所持率（スマホ、ガラケーとスマホ両方）は54.3%である。【図表7-1】

校種別に見ると、小学生は「ガラケー」と「スマホ」の所持が同程度であり、中学生・高校生は「スマホ」の所持が高い。また「スマホ所持率」が最も低いのは小学生1～3年生の19.9%であり、最も高いのは高校生の97.2%である。【図表7-2】

また、学齢が上がるほど「スマホ」の所持率も高まる傾向があり、特に小学校6年生から中学校1年生にかけて所持率が約2倍と大幅に高まる（小6：40.4% → 中1：81.0%）。【図表7-3】

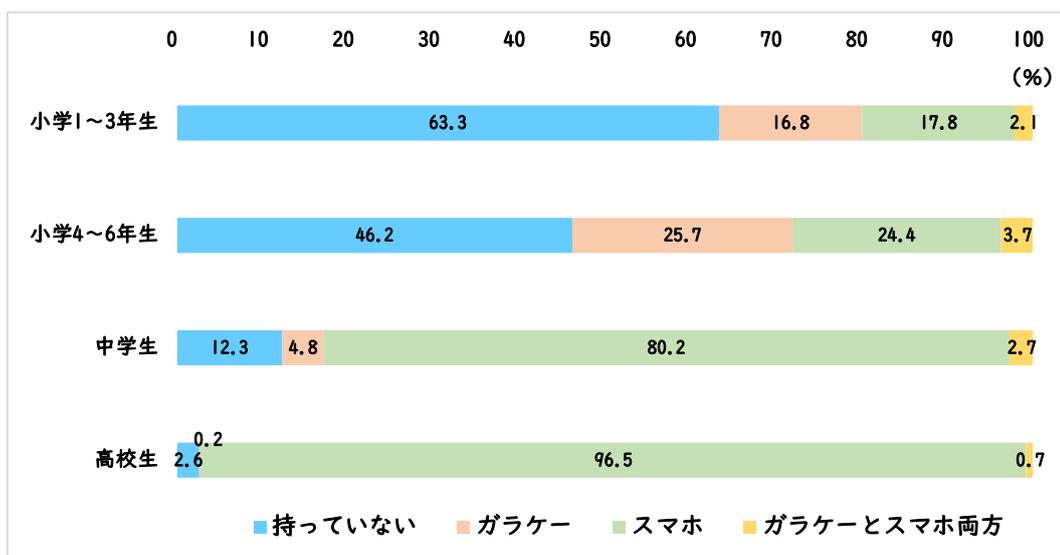
男女別で比較すると、高校生は大幅な違いはみられないが、小学校1～4年生は男子が、小学校5，6年生及び中学生は女子の所持率が高い傾向にある。

【図表7-4】

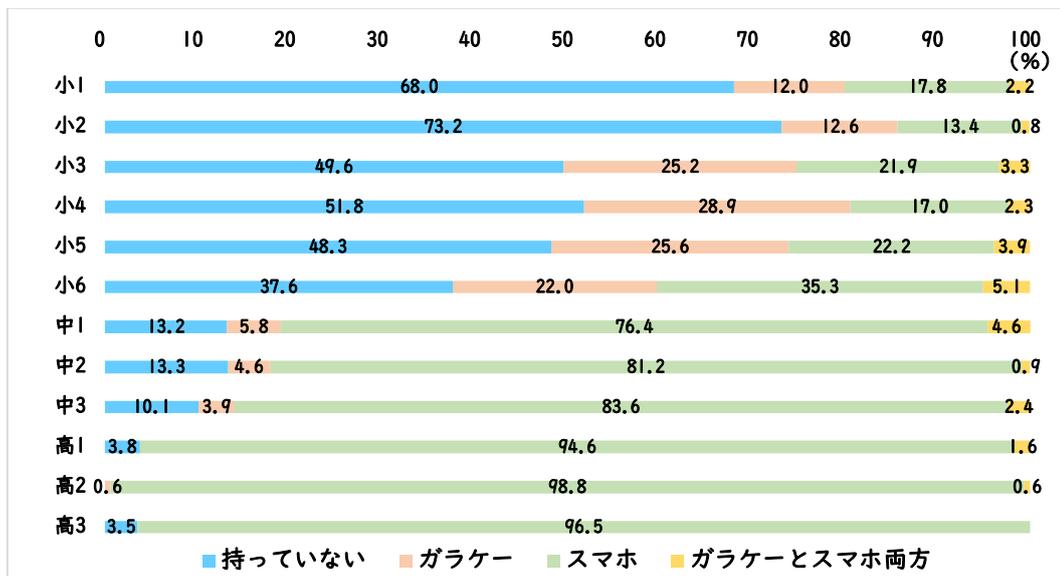
【図表7-1】 携帯電話所持率（全体）



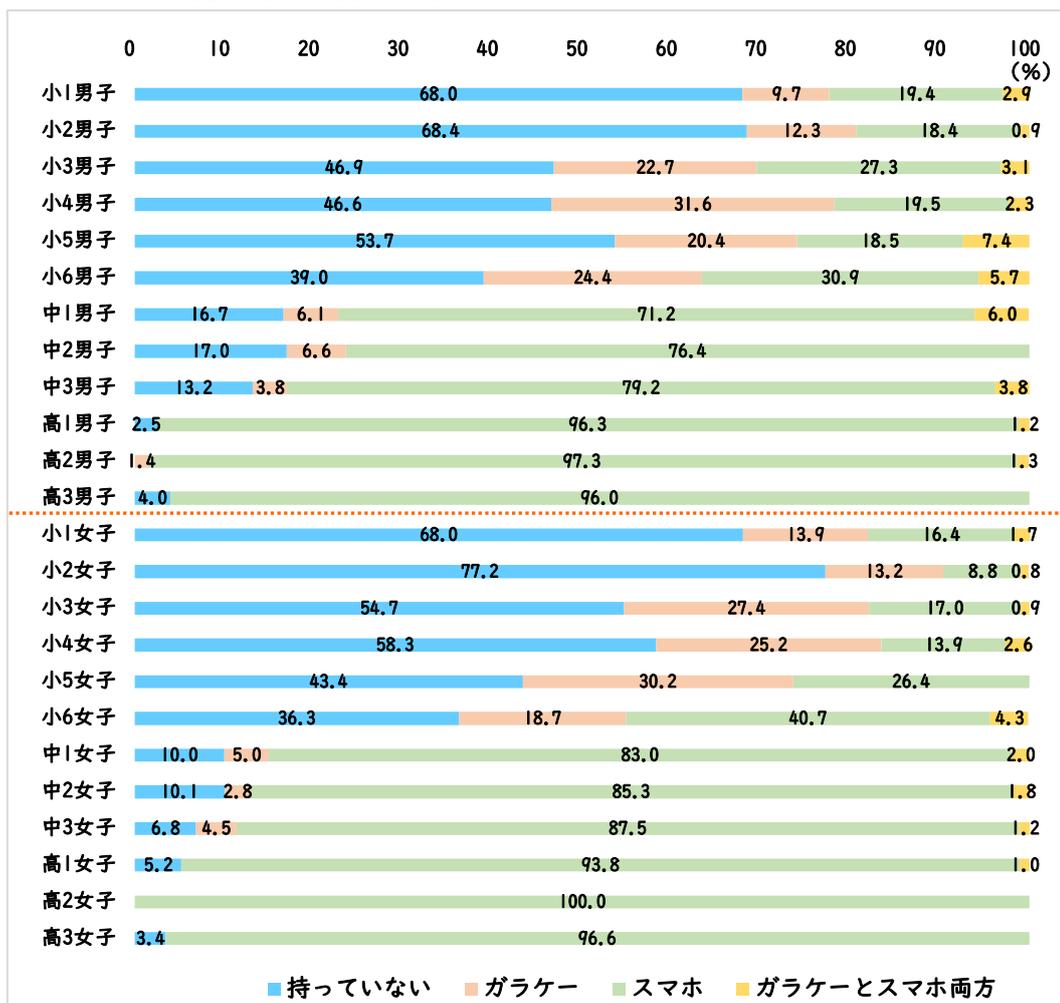
【図表7-2】 携帯電話所持率（校種別）



【図表 7-3】携帯電話所持率（学齢別）



【図表 7-4】携帯電話所持率（男女別）



(8) 帰宅後に一番長くすること

帰宅後に一番長くすることについて、校種別【図表8-1】・学齢別【図表8-2】・男女別【図表8-3】に示す。

各校種において最も高いのは、小学校1～3年生は、「勉強・読書」の39.7%であり、小学校4～6年生、中学生、高校生は「ネット」である。

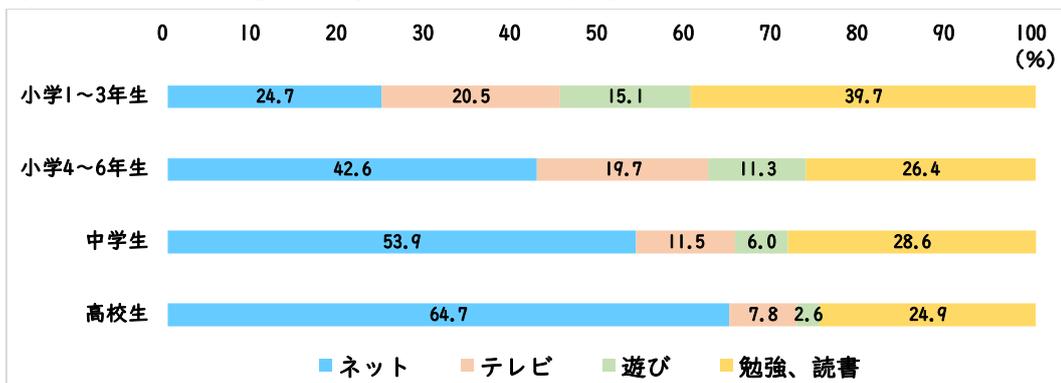
【図表8-1】

また、学齢が上がるほど「ネット」の使用の割合が高くなる傾向になっており、それに伴い特に「勉強・読書」の割合が減少傾向にある。【図表8-2】

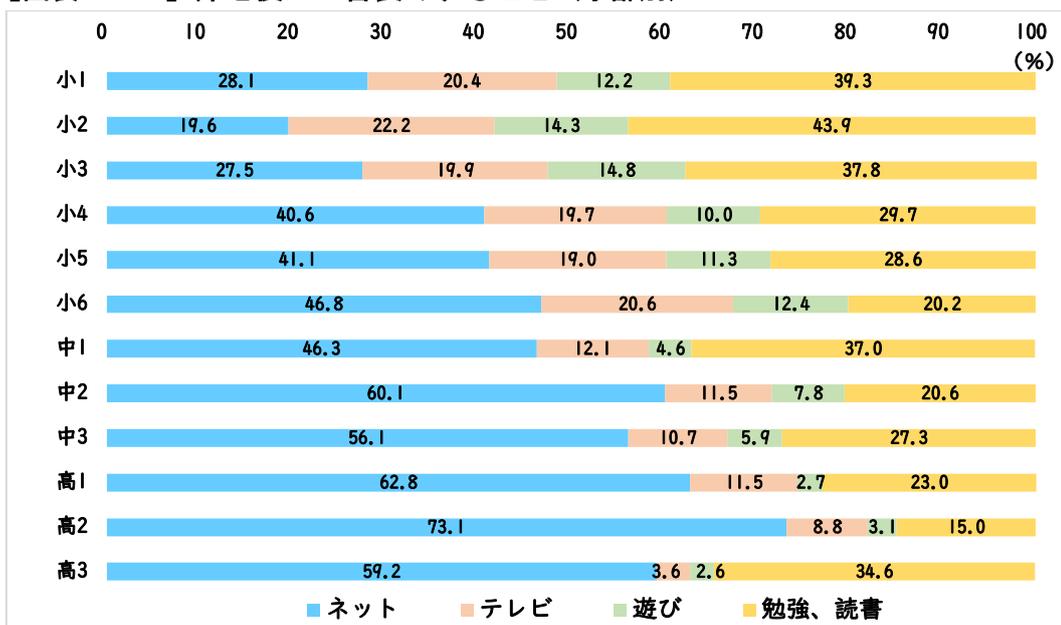
男女別で比較すると、中学生と高校生に大幅な違いはみられないが、小学生については、女子よりも男子の方が「ネット」の使用の割合が高い傾向にある。

【図表8-3】

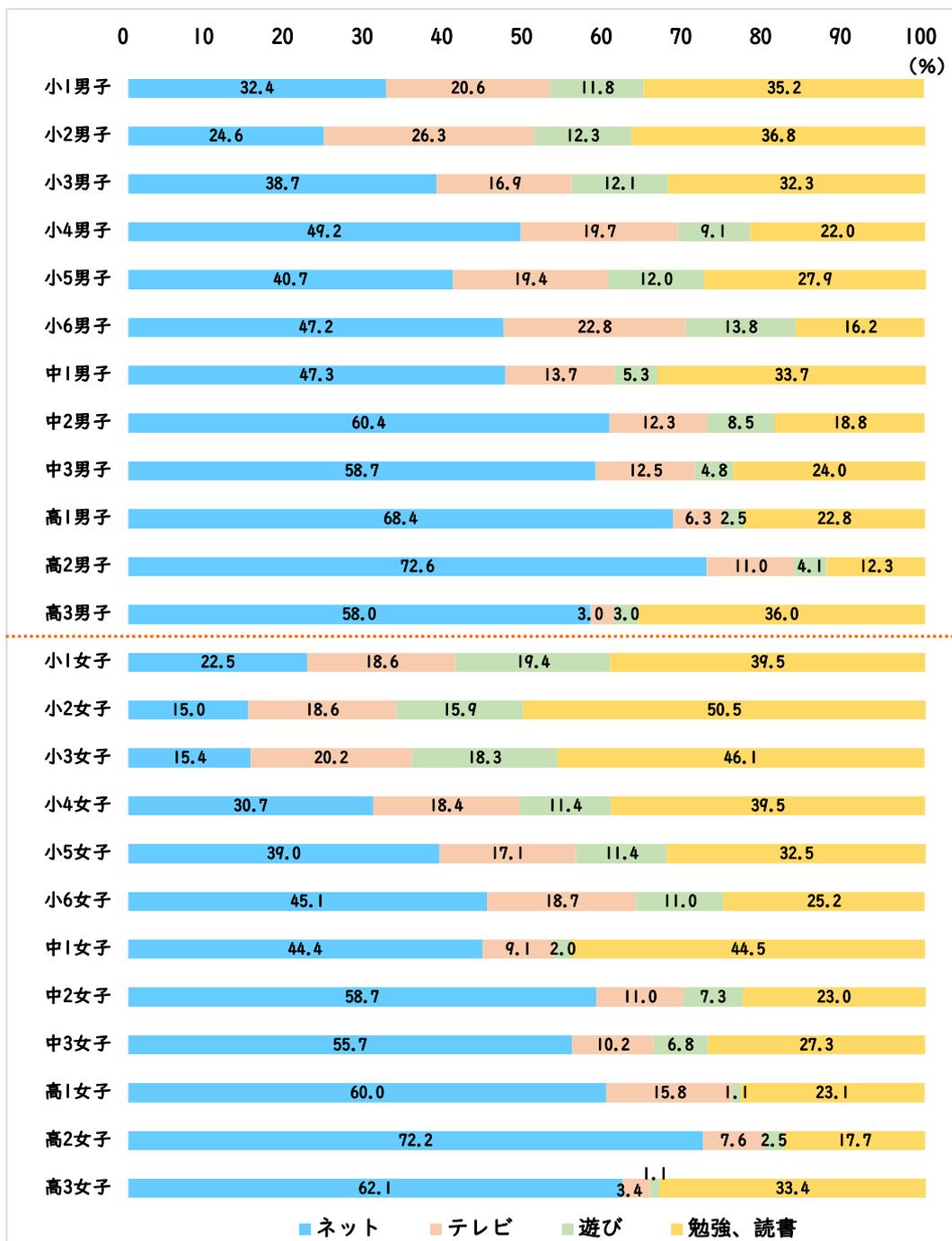
【図表8-1】 帰宅後に一番長くすること（校種別）



【図表8-2】 帰宅後に一番長くすること（学齢別）



【図表 8-3】帰宅後に一番長くすること（男女別）



(9) 家庭でのネットの利用時間

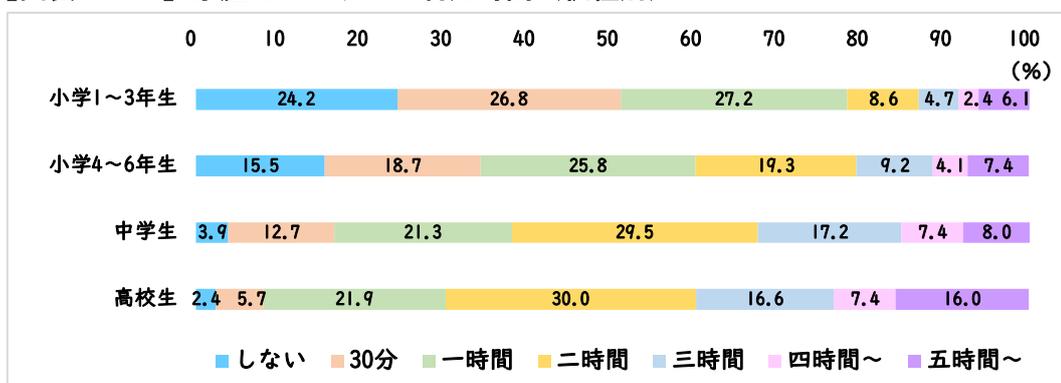
家庭でのネットの利用時間（勉強・読書以外）について、校種別【図表9-1】・学齢別【図表9-2】・男女別【図表9-3】に示す。

各校種において最も高いのは、小学生は、「一時間」であり、中学生・高校生は「二時間」である。【図表9-1】

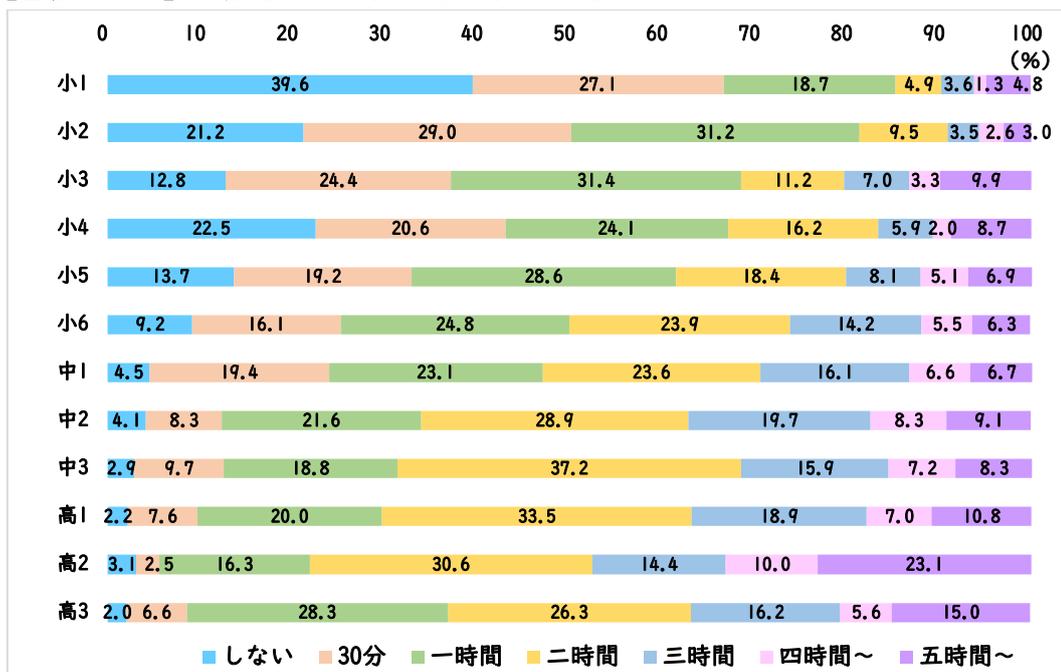
また、学齢が上がるほど「ネット」の利用時間の割合が高まり、特に高校2年生は「四時間以上」の割合が33.1%で最も高い。【図表9-2】

男女別で比較すると、中学生と高校生に大幅な違いはみられないが、小学生については、男子よりも女子の方が「利用しない」の割合が高い傾向にある。【図表9-3】

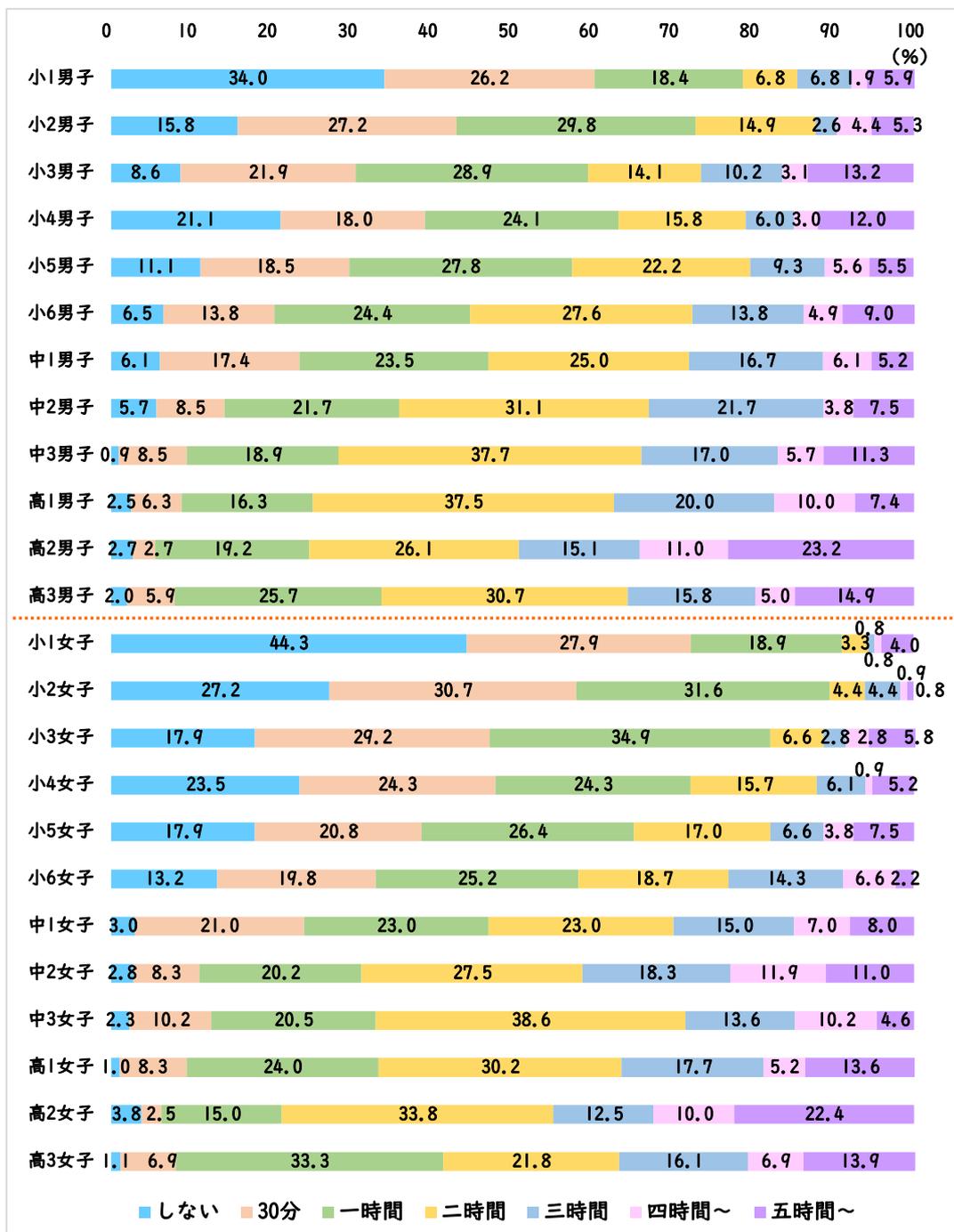
【図表9-1】家庭でのネットの利用時間（校種別）



【図表9-2】家庭でのネットの利用時間（学齢別）



【図表9-3】家庭でのネットの利用時間（男女別）



(10) ネット接続する機器

家庭でネット接続する機器について、校種別【図表10-1】・学齢別【図表10-2】・男女別【図表10-3】に示す。

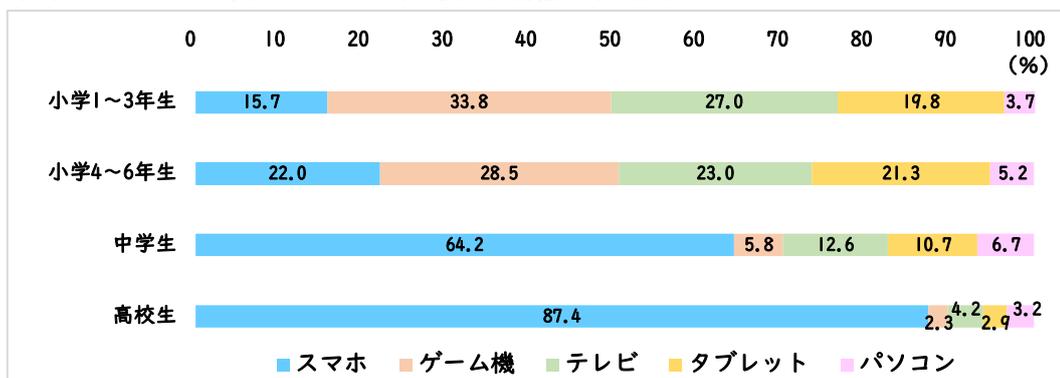
各校種において最も高いのは、小学校は、「ゲーム機」であり、中学生・高校生は「スマホ」である。【図表10-1】

また、学齢が上がるほど「スマホ」でのネット接続が高まる傾向があり、特に小学校6年生から中学校1年生にかけて約2倍に高まる（小6：28.8% → 中1：59.6%）。【図表10-2】

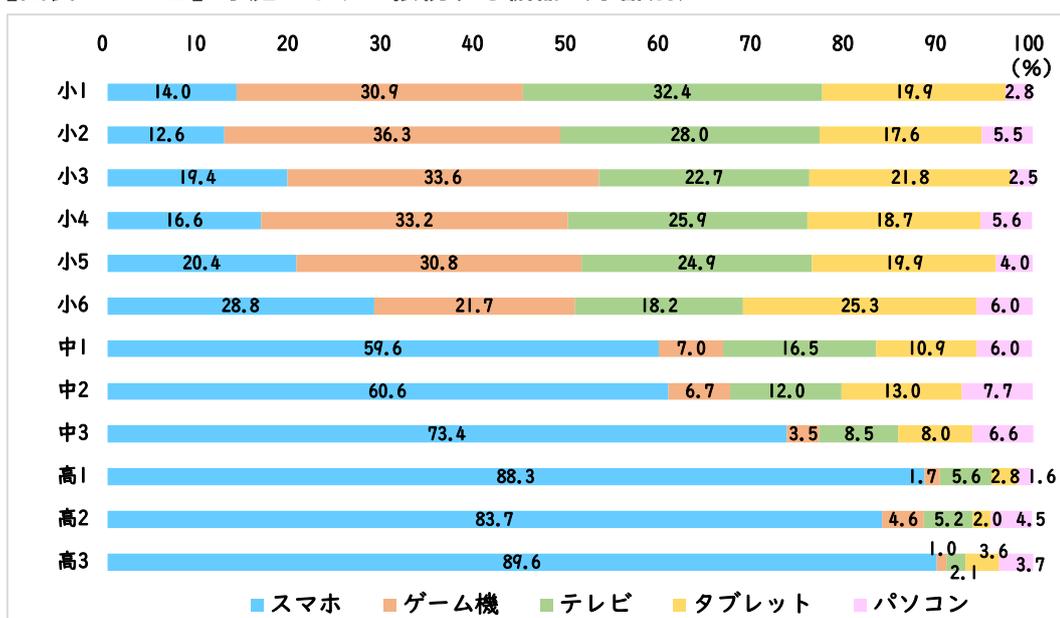
男女別で比較すると、小学生男子は「ゲーム機」、小学校1～5年生女子は「テレビ」、小学校6年生女子と中学生・高校生は「スマホ」が最も高い。

【図表10-3】

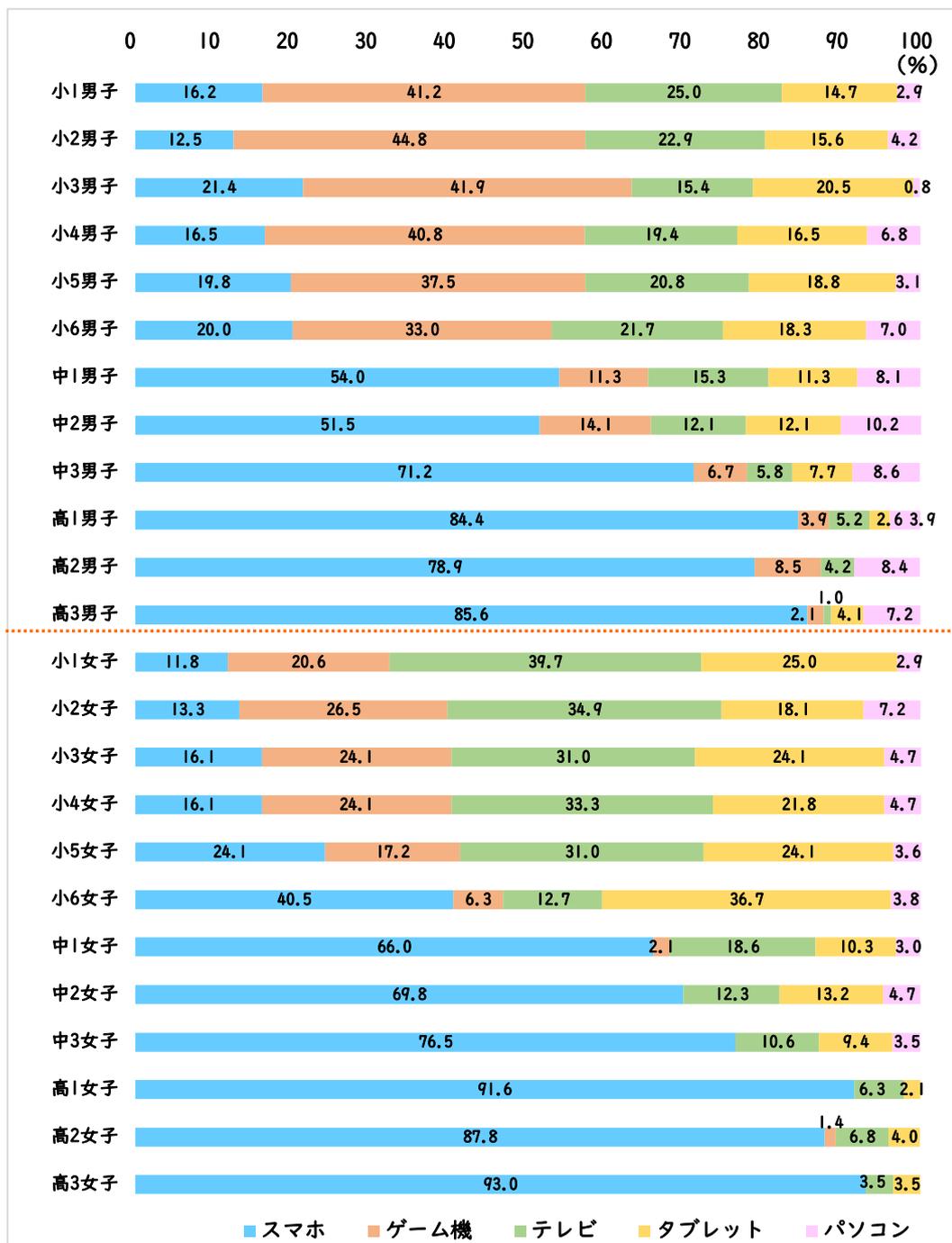
【図表10-1】家庭でネット接続する機器（校種別）



【図表10-2】家庭でネット接続する機器（学齢別）



【図表 10-3】 家庭でネット接続する機器 (男女別)



(11) ネットで一番すること

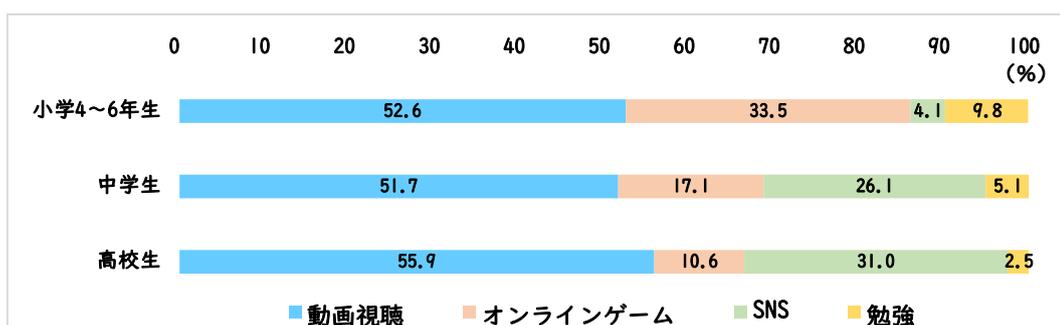
ネットで一番することについて、校種別【図表11-1】・学齢別【図表11-2】・男女別【図表11-3】に示す。

各校種ともに最も高いのは「動画視聴」であり、約半数となっている。次いで高いのは、小学校4～6年生は「オンラインゲーム」、中学生、高校生は「SNS」となっている。【図表11-1】

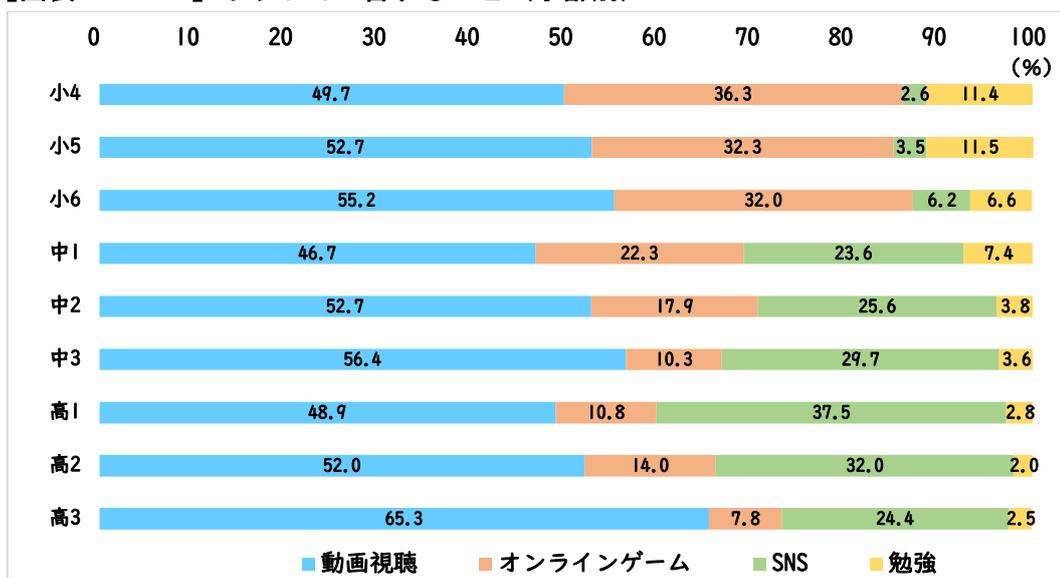
学齢別に見ると、「動画視聴」は高校3年生の65.3%、「オンラインゲーム」は小学校4年生の36.3%、「SNS」は高校1年生の37.5%が最も高い。【図表11-2】

男女別で見ると、「動画視聴」以外では、小学校4～6年生男子と小学校4・6年生女子、中学校1・2年生男子は「オンラインゲーム」、中学校3年生男子と中学生女子、高校生の女子は「SNS」の利用が高い。なお、小学校5年生女子は「勉強」である。【図表11-3】

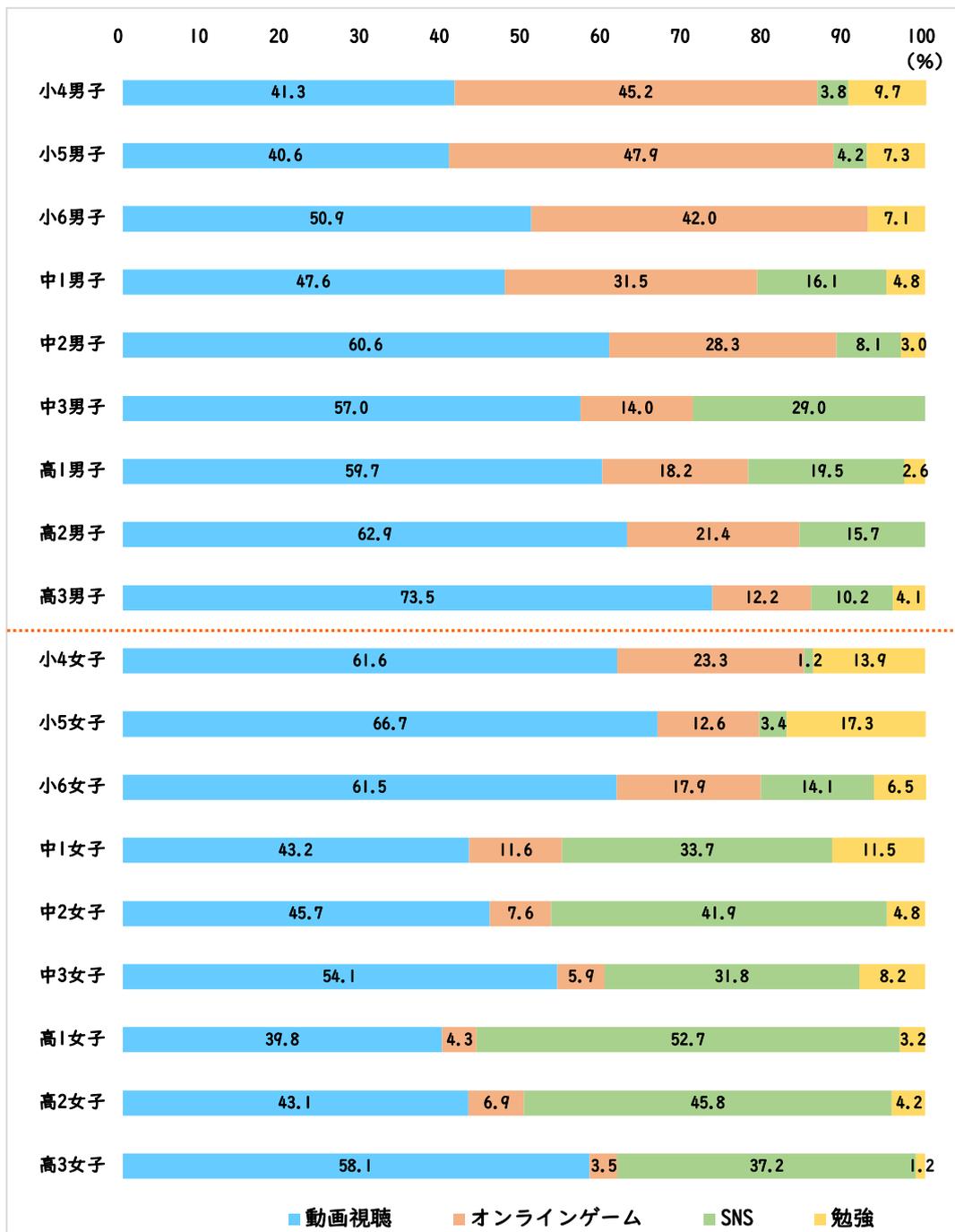
【図表11-1】 ネットで一番すること（校種別）



【図表11-2】 ネットで一番すること（学齢別）



【図表 11-3】 ネットで一番すること（男女別）



(12) ネットでの課金

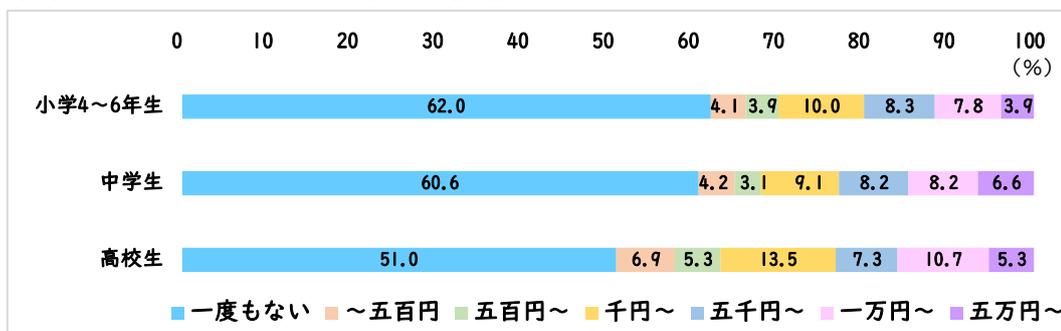
ネットでの課金の合計金額（ポイントをためた課金も含む）について、校種別【図表12-1】・学齢別【図表12-2】・男女別【図表12-3】に示す。

各校種において、・小学校4～6年生の38.0%、中学生の39.4%、高校生の49.0%が「ネットでの課金」をしたことがある。そのうち「一万円以上」の課金を小学校4～6年生の11.7%、中学生の14.8%、高校生の16.0%がしたことがある。【図表12-1】

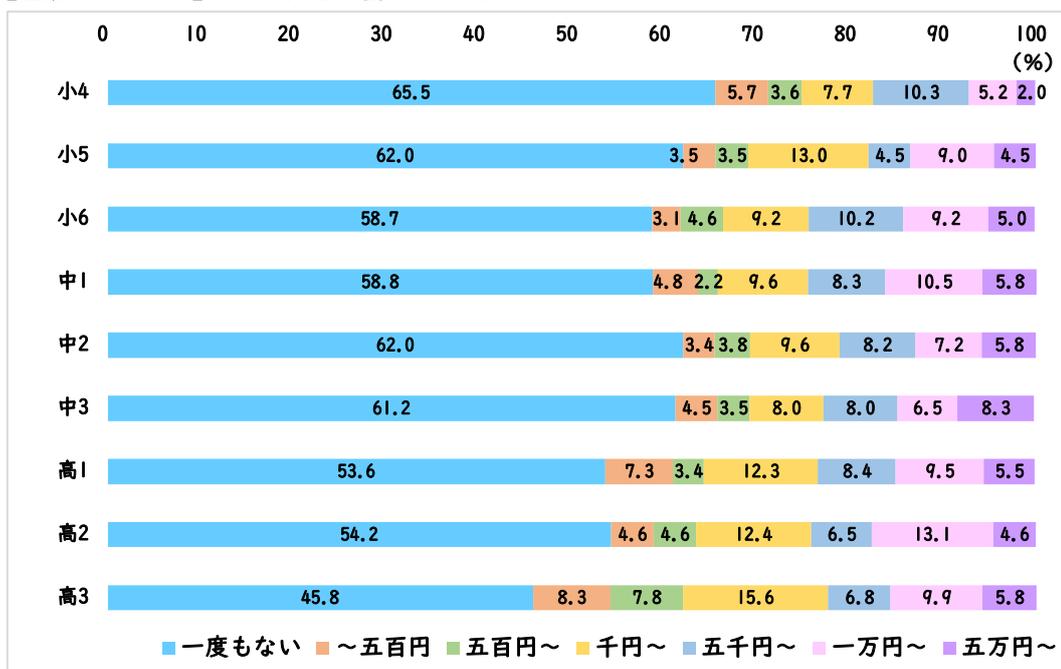
また、学齢別で見ると、どの年代も「五千円以上の課金」が20%前後、「五万円以上の課金」が5%前後で行ったことがある。【図表12-2】

男女別で比較すると、どの年代においても、女子より男子の方がネットでの課金を行っている割合が高い。【図表12-3】

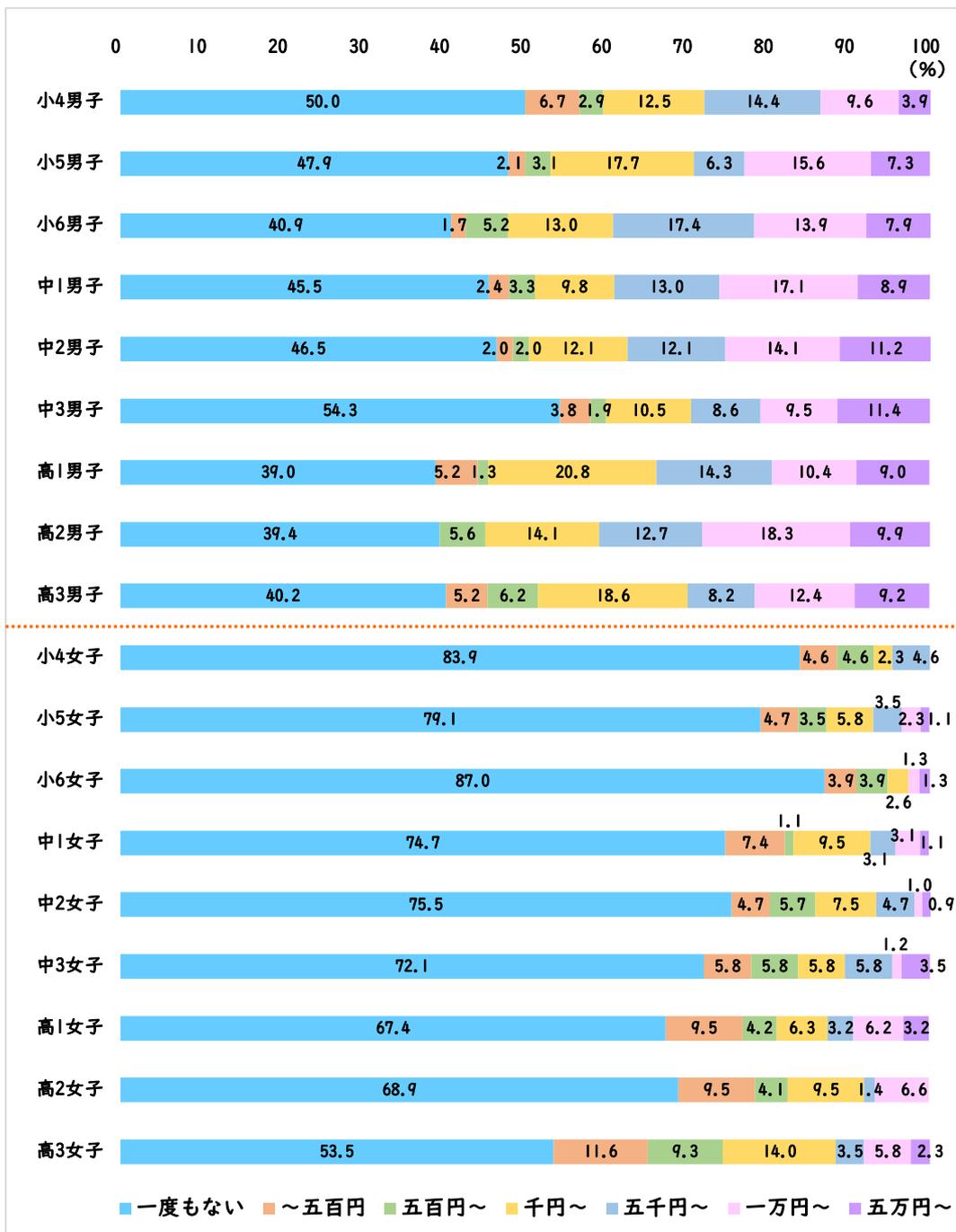
【図表12-1】 ネットでの課金（校種別）



【図表12-2】 ネットでの課金（学齢別）



【図表 1 2 - 3】 ネットでの課金（男女別）



(13) ネット上でのケンカやトラブル

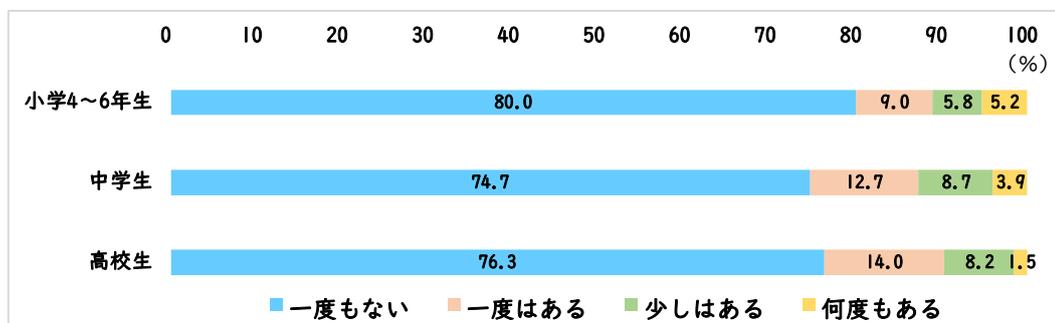
ネットでのケンカやトラブルについて、校種別【図表13-1】・学齢別【図表13-2】・男女別【図表13-3】に示す。

どの校種においても、20%前後がネット上でのケンカやトラブルを一度以上は経験している。【図表13-1】

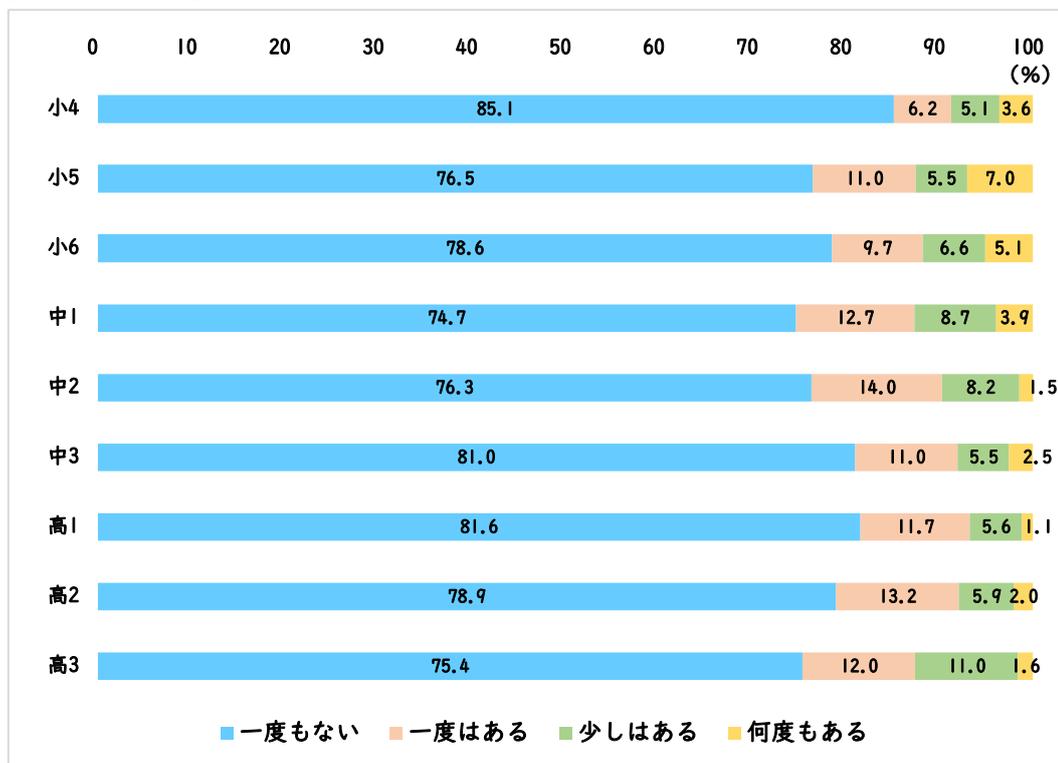
また、学齢別に見ると、「何度もある」の割合が最も高いのは小学校5年生の7.0%であり、最も低いのは高校1年生の1.1%である。【図表13-2】

男女別で比較すると、どの年代においても、女子より男子の方がネット上でのトラブルやケンカの割合が高い傾向にある。【図表13-3】

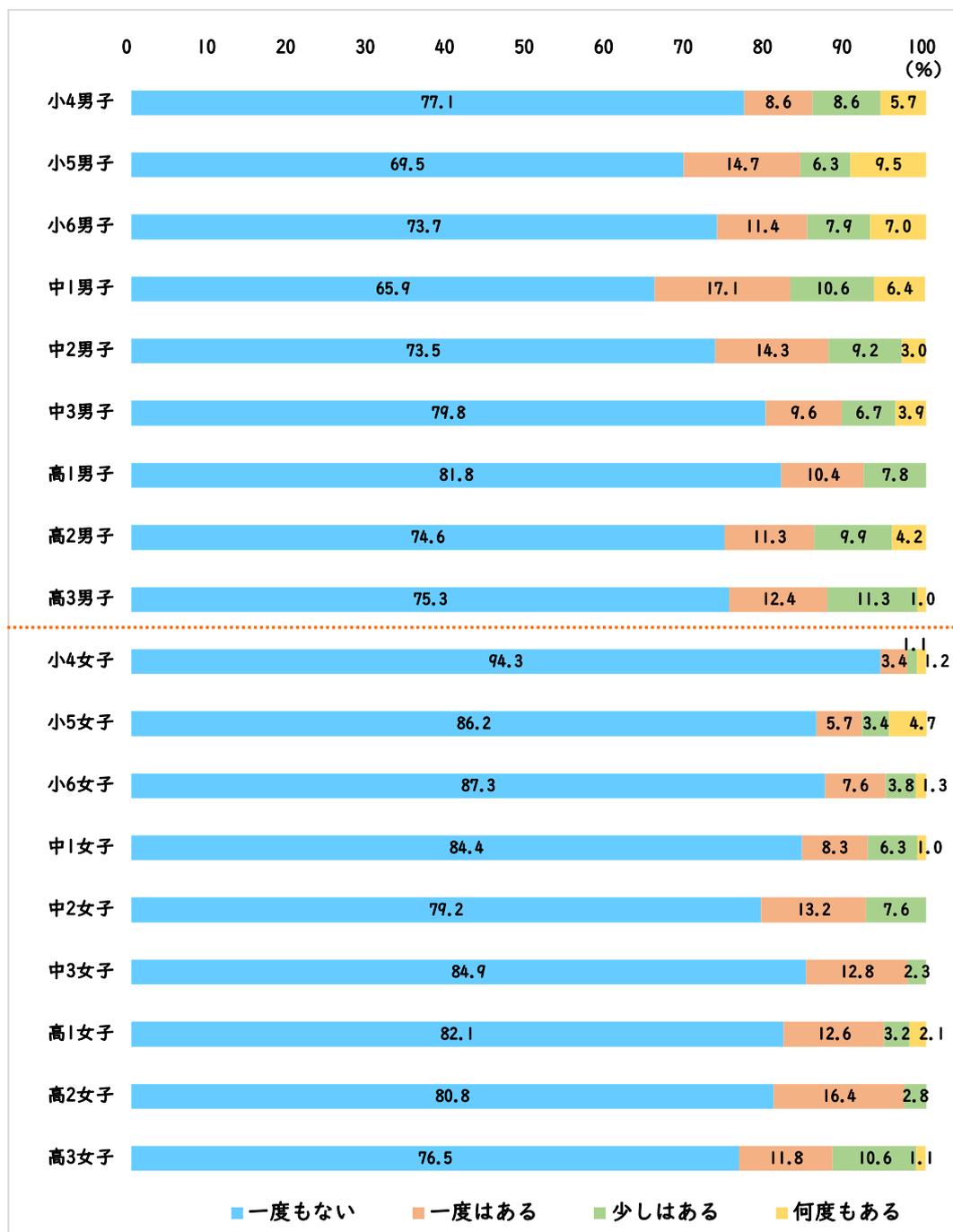
【図表13-1】 ネット上でのケンカやトラブル（校種別）



【図表13-2】 ネット上でのケンカやトラブル（学齢別）



【図表 13-3】 ネット上でのケンカやトラブル（男女別）



(14) 会ったことがない人とネット上でのやりとり

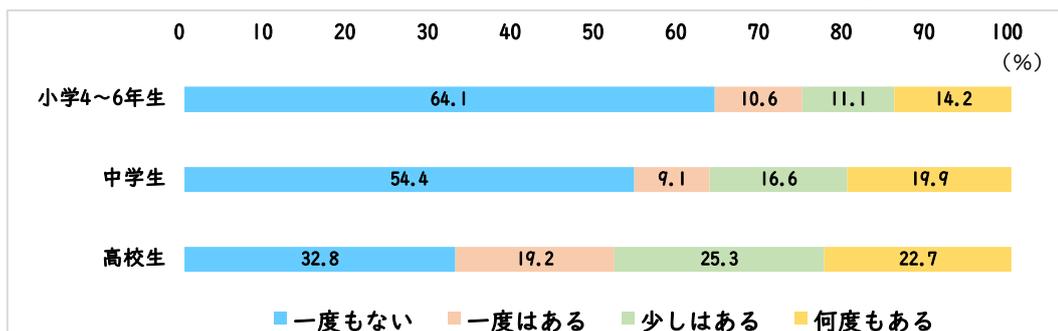
会ったことがない人とネット上でのやりとり（ゲームやボイスチャット等も含む）について、校種別【図表14-1】・学齢別【図表14-2】・男女別【図表14-3】に示す。

校種において最も高いのは高校生であり、「一度はある」「少しはある」「何度もある」を合わせると、67.2%が会ったことがない人とネット上でのやりとりをしたことがある。【図表14-1】

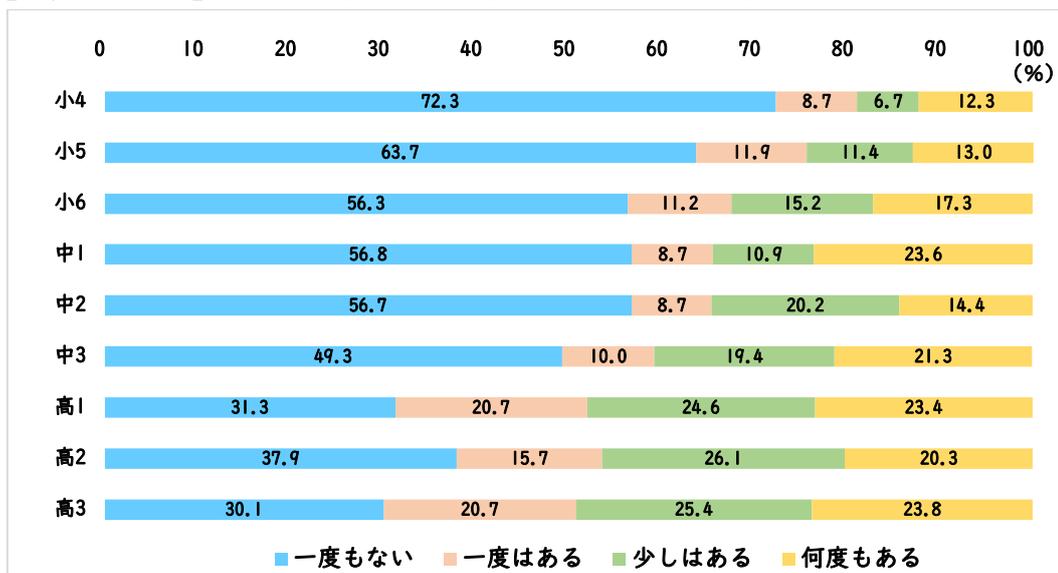
また、学齢別に見ると、「何度もある」の割合が最も高いのは高校3年生の23.8%であり、最も低いのは小学校4年生の12.3%である。【図表14-2】

男女別で比較すると、中学生と高校生に大幅な違いはみられないが、小学生については、女子よりも男子の方が会ったことがない人とネット上でのやりとりが多い傾向にある。【図表14-3】

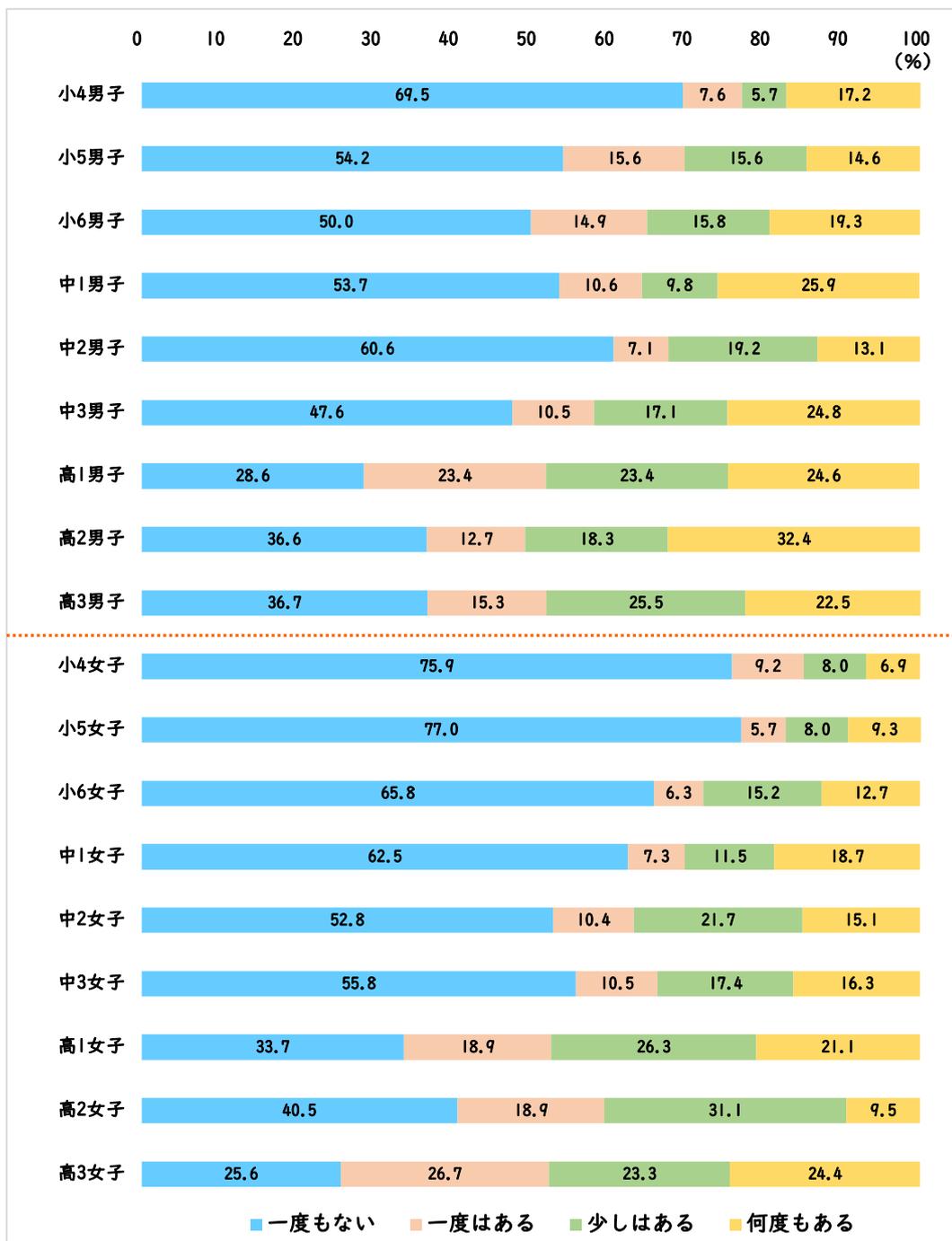
【図表14-1】 会ったことがない人とネット上でのやりとり（校種別）



【図表14-2】 会ったことがない人とネット上でのやりとり（学齢別）



【図表 14-3】 会ったことがない人とネット上でのやりとり（男女別）



(15) ネットで知り合った人と実際に会ったこと

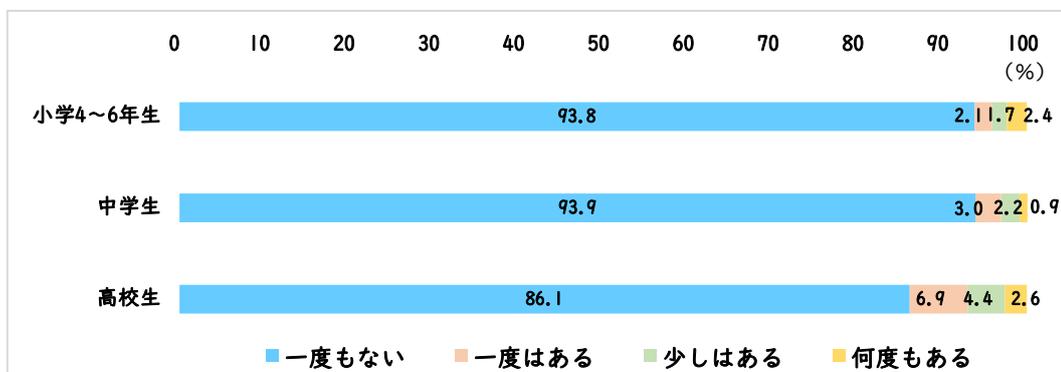
ネットで知り合った人と実際に会ったことがあるかについて、校種別【図表15-1】・学齢別【図表15-2】・男女別【図表15-3】に示す。

各校種において、「一度はある」「少しはある」「ある」を合わせると、小学校4～6年生の6.2%、中学生の6.1%、高校生の13.9%がネットで知り合った人と実際に会ったことが一度以上はある。【図表15-1】

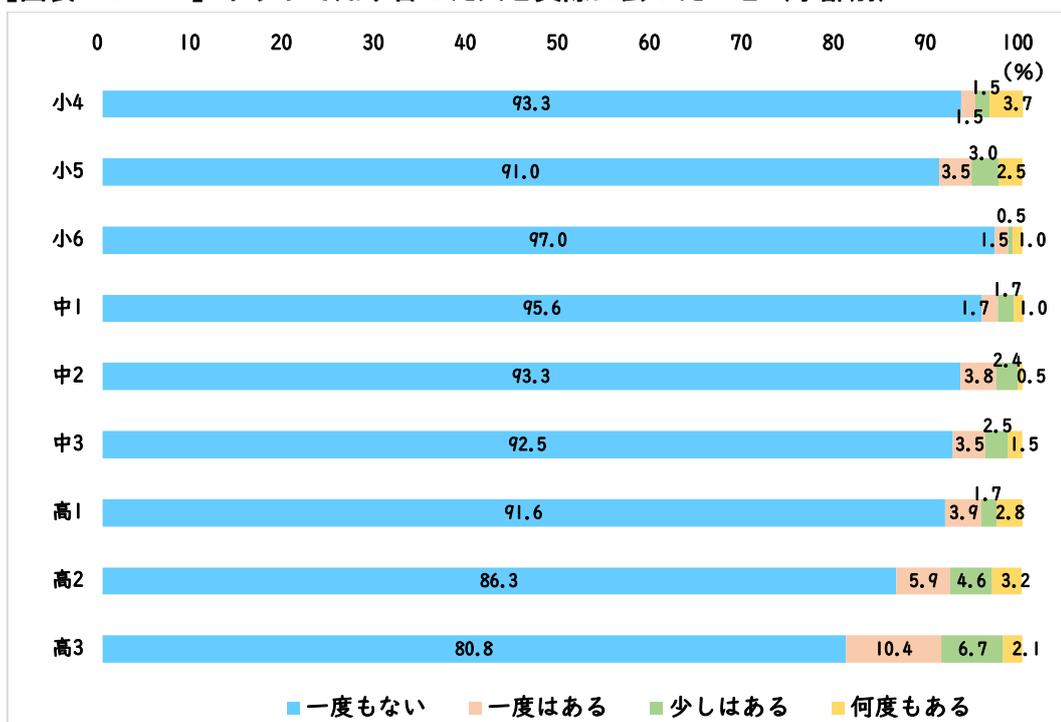
また、学齢別にみると、高校2年生から一度以上合ったことがある割合が高くなる傾向となり、特に高校3年生は19.2%である。【図表15-2】

その中でも、特に高校生3年生女子が22.1%と最も高い。【図表15-3】

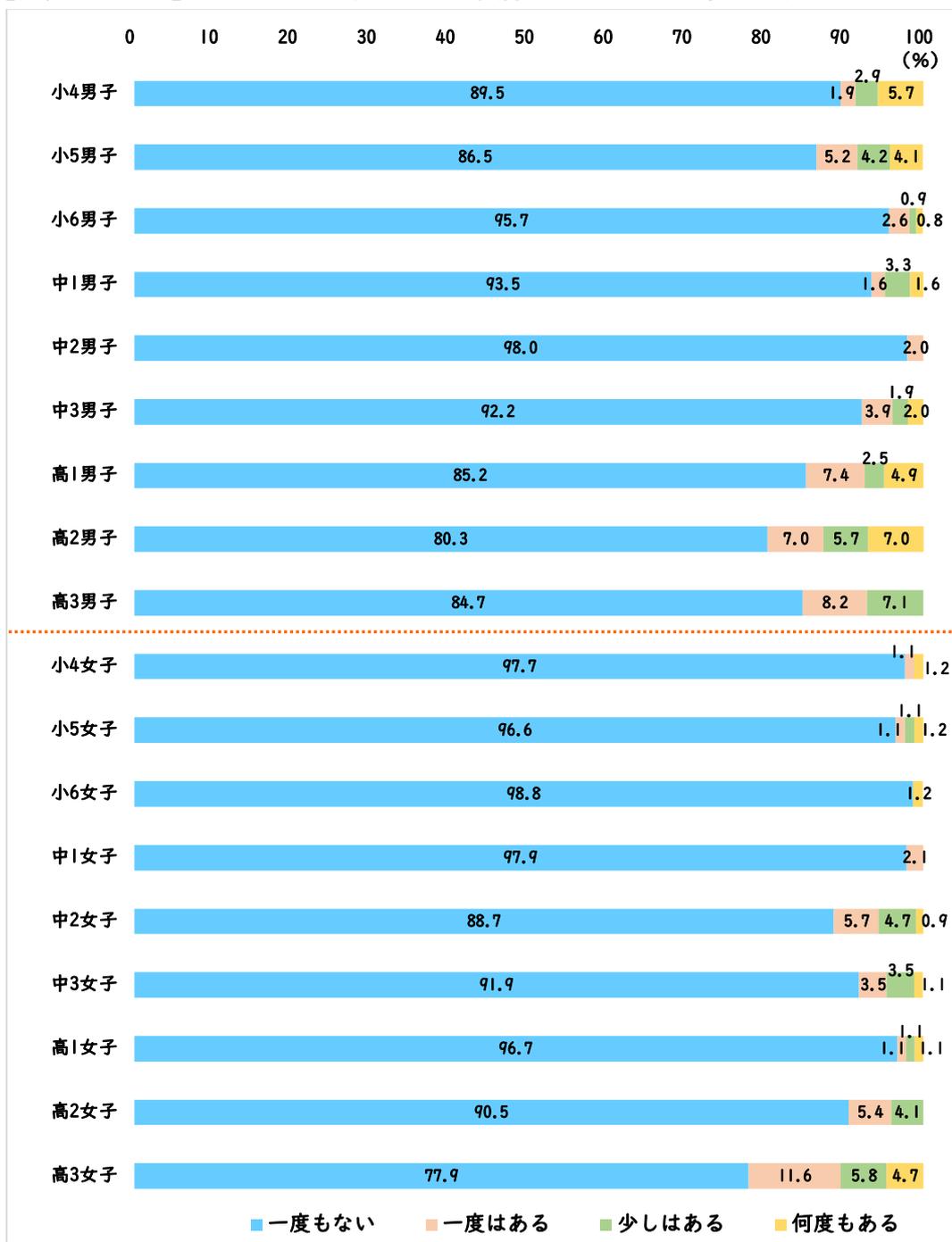
【図表15-1】 ネットで知り合った人と実際に会ったこと（校種別）



【図表15-2】 ネットで知り合った人と実際に会ったこと（学齢別）



【図表 15-3】 ネットで知り合った人と実際に会ったこと（男女別）



(16) フィルタリングの設定率

フィルタリングを設定しているかについて、全体【図表16-1】、校種別【図表16-2】・学齢別【図表16-3】・男女別【図表16-4】に示す。

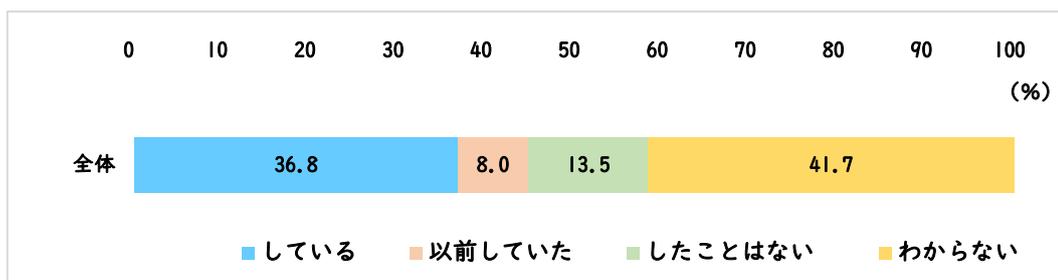
小学校4年生～高校3年生までにおける、スマホ・ゲーム機・タブレット等のフィルタリングの設定率は36.8%であり、未設定率（以前していた、したことはない）は21.5%である。【図表16-1】

各校種において設定率が最も高いのは、中学校の44.1%であり、最も低いのは小学校4～6年生の26.1%である。【図表16-2】

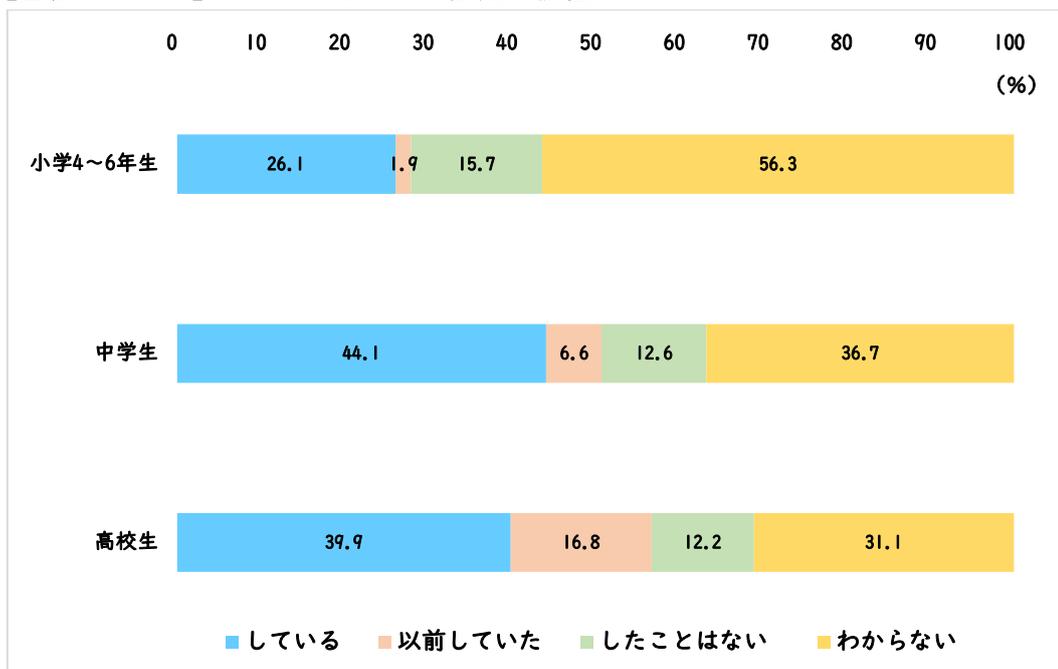
また、学齢別にみると、学齢が上がるほど「以前していた」の割合が高まり、フィルタリングの設定解除の傾向がある。【図表16-3】

男女別で比較すると、中学生と高校生に大幅な違いはみられない。【図表16-3】

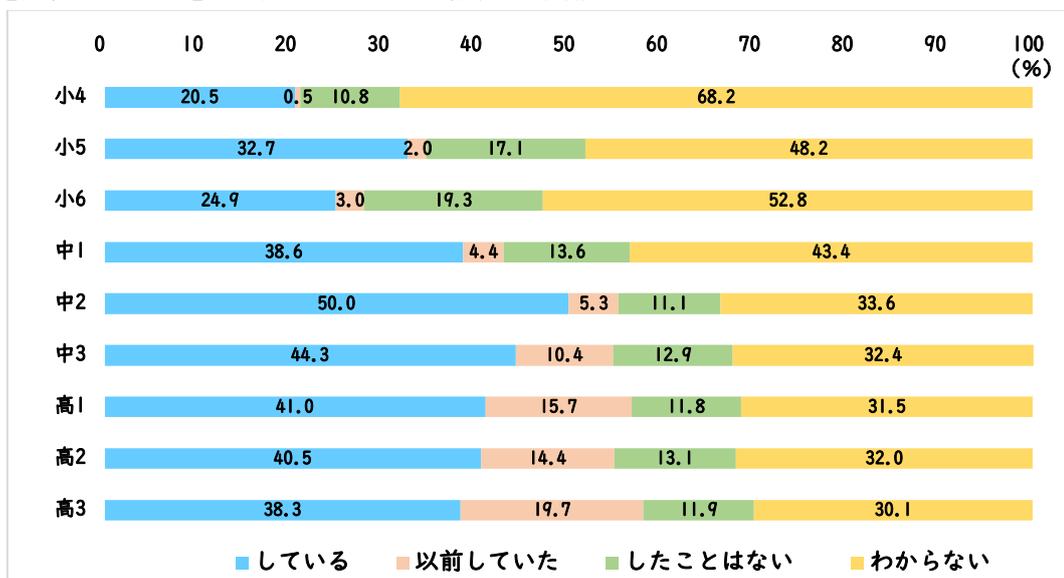
【図表16-1】 フィルタリングの設定（全体）



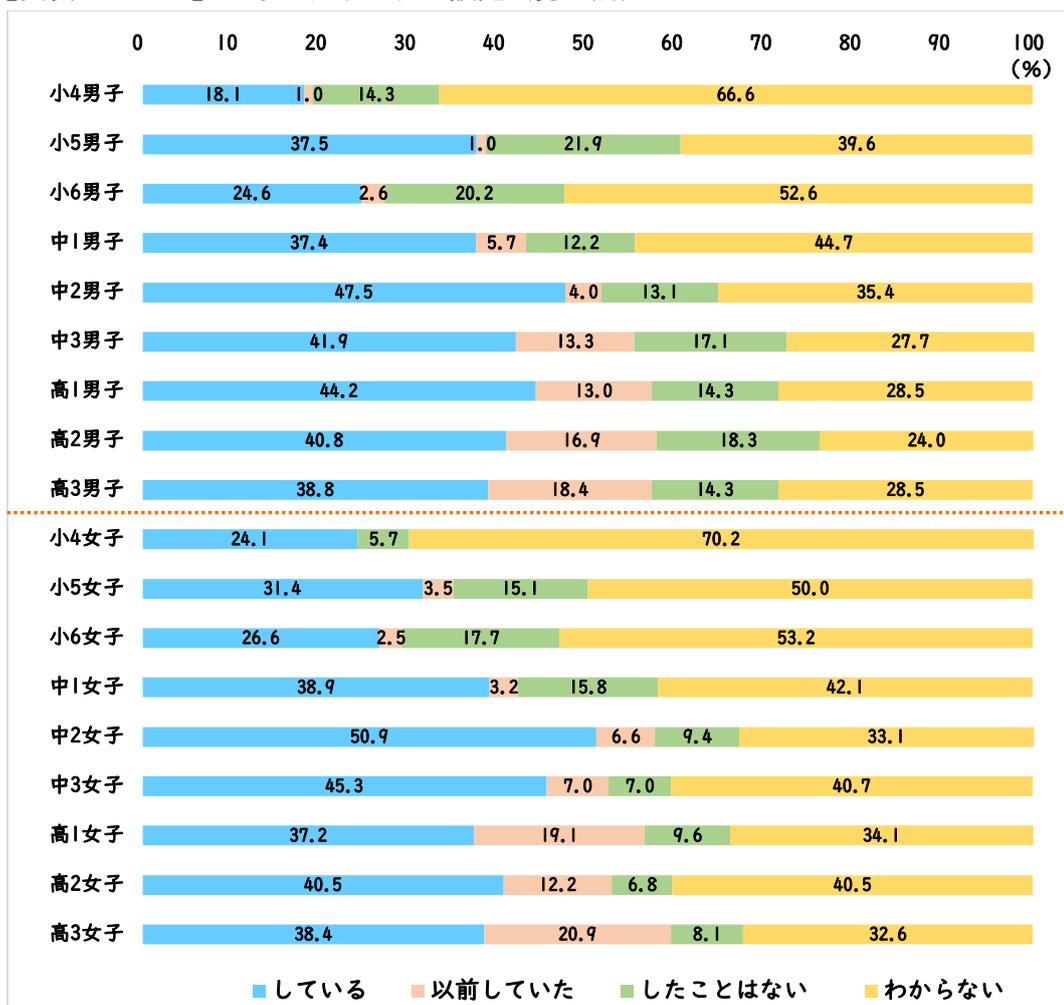
【図表16-2】 フィルタリングの設定（校種別）



【図表 16-3】フィルタリングの設定（学齢別）



【図表 16-4】フィルタリングの設定（男女別）



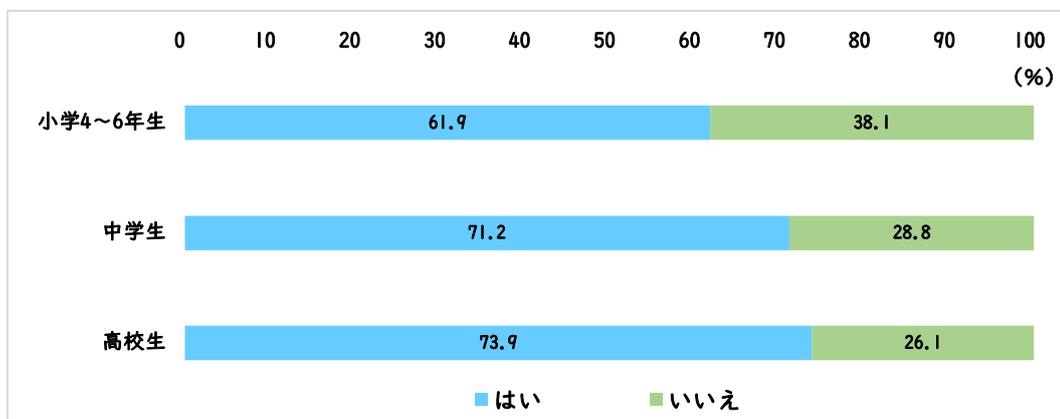
(17) ネットに夢中になっていると感じる（ネット依存テスト①）

インターネット依存スクリーニングテストの第1項である「ネットに夢中になっていると感じることがあるか」について、校種別【図表17-1】・学齢別【図表17-2】に示す。

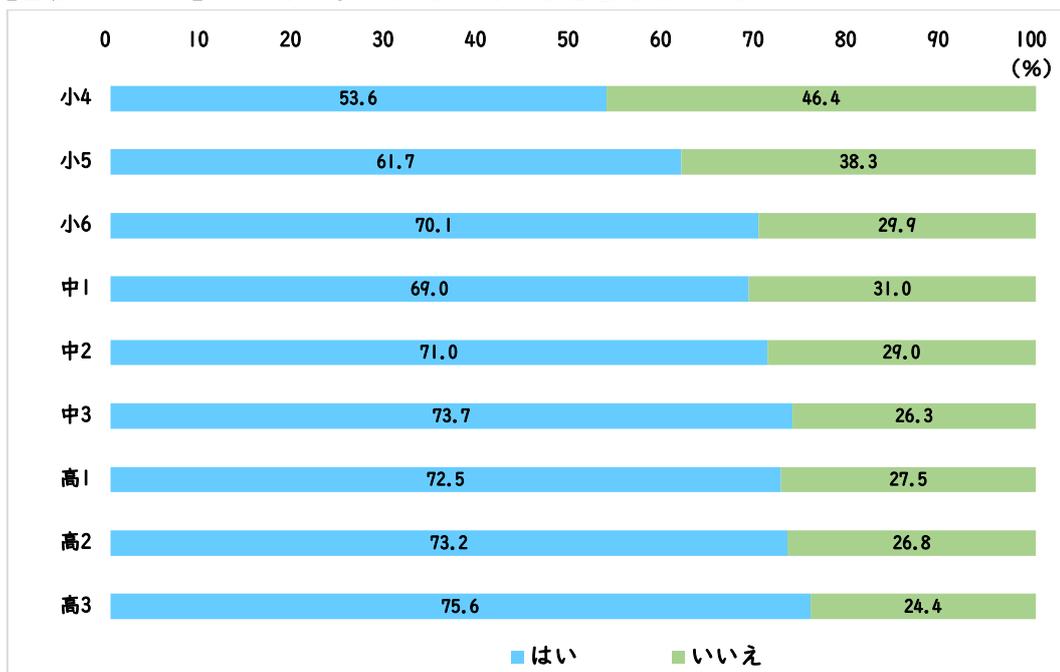
校種別における「はい」の割合は、小学校4～6年生が61.9%、中学生が71.2%、高校生が73.9%である。【図表17-1】

また、学齢が上がるほど「はい」の割合が高くなる傾向にあり、最も高いのは高校3年生の75.6%であり、最も低いのは小学校4年生の53.6%である。【図表17-2】

【図表17-1】 ネットに夢中になっていると感じる（校種別）



【図表17-2】 ネットに夢中になっていると感じる（学齢別）



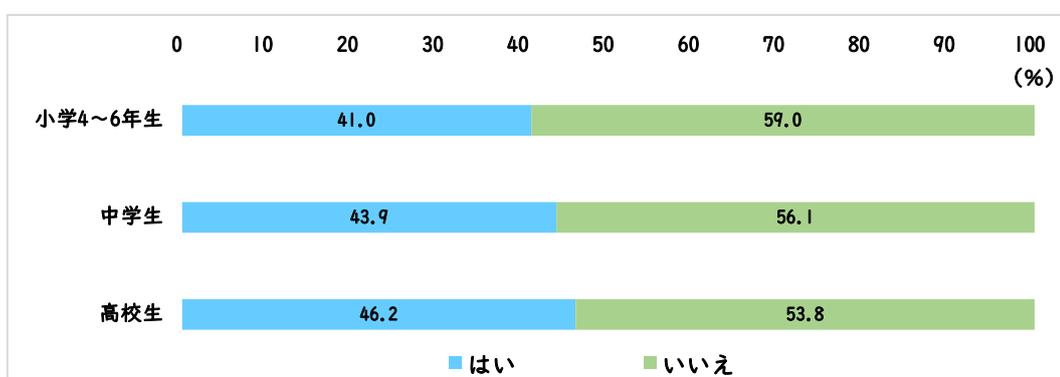
(18) 満足するためにネット時間を長くしたい（ネット依存テスト②）

インターネット依存スクリーニングテストの第2項である「満足するためにネット時間を長くしたいと思うことがありますか」について、校種別【図表18-1】・学齢別【図表18-2】に示す。

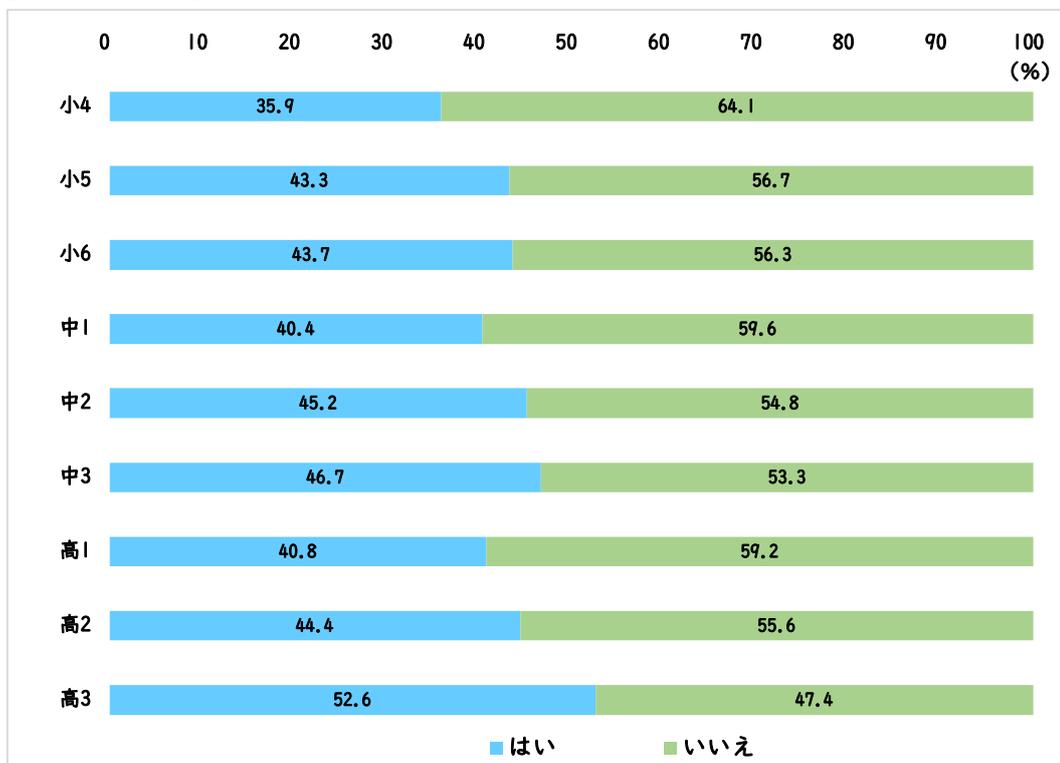
校種別における「はい」の割合は、小学校4～6年生が41.0%、中学生が43.9%、高校生が46.2%である。【図表18-1】

また、学齢別に見ると、最も高いのは高校3年生の52.6%であり、最も低いのは小学校4年生の35.9%である。【図表18-2】

【図表18-1】 満足するためにネット時間を長くしたい（校種別）



【図表18-2】 満足するためにネット時間を長くしたい（学齢別）



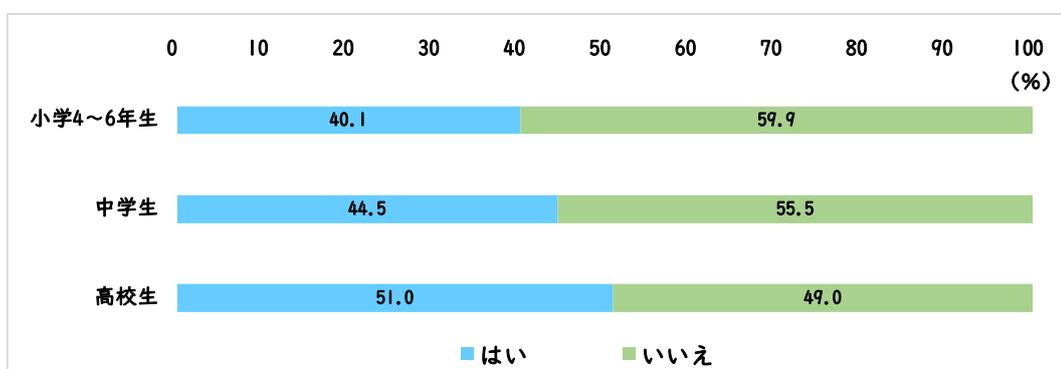
(19) ネット時間を減らそうとしてうまくいかない(ネット依存テスト③)

インターネット依存スクリーニングテストの第3項である「ネット時間を減らそうとしてうまくいかないことがありますか」について、校種別【図表19-1】・学齢別【図表19-2】に示す。

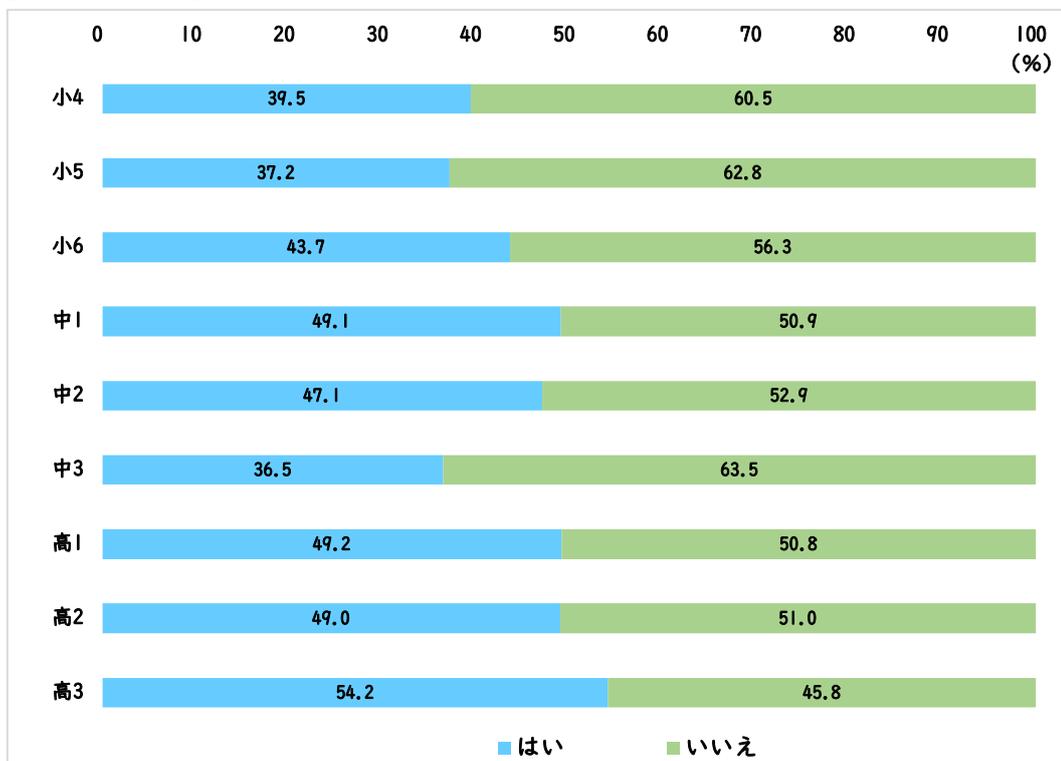
校種別における「はい」の割合は、小学校4～6年生が40.1%、中学生が44.5%、高校生が51.0%である。【図表19-1】

また、学齢別に見ると、最も高いのは高校3年生の54.2%であり、最も低いのは中学校3年生の36.5%である。【図表19-2】

【図表19-1】 ネット時間を減らそうとしてうまくいかない(校種別)



【図表19-2】 ネット時間を減らそうとしてうまくいかない(学齢別)



(20) ネット時間を短くしようとするとう落ち着かない・イライラする（ネット依存テスト④）

インターネット依存スクリーニングテストの第4項である「ネット時間を短くしようとするとう落ち着かなかつたり、イライラしたりしますか」について、校種別【図表20-1】・学齢別【図表20-2】に示す。

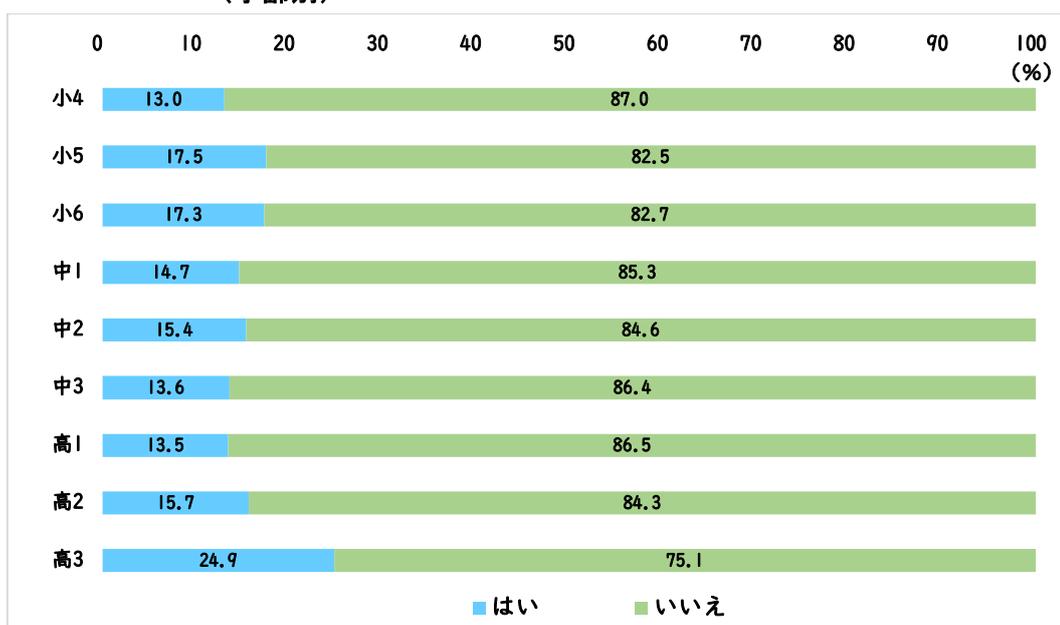
校種別における「はい」の割合は、小学校4～6年生が16.0%、中学生が14.6%、高校生が18.3%である。【図表20-1】

また、学齢別に見ると、最も高いのは高校3年生の24.9%であり、最も低いのは小学校4年生の13.0%である。【図表20-2】

【図表20-1】 ネット時間を短くしようとするとう落ち着かない・イライラする（校種別）



【図表20-2】 ネット時間を短くしようとするとう落ち着かない・イライラする（学齢別）



(21) 予定していたより長くネットを使用（ネット依存テスト⑤）

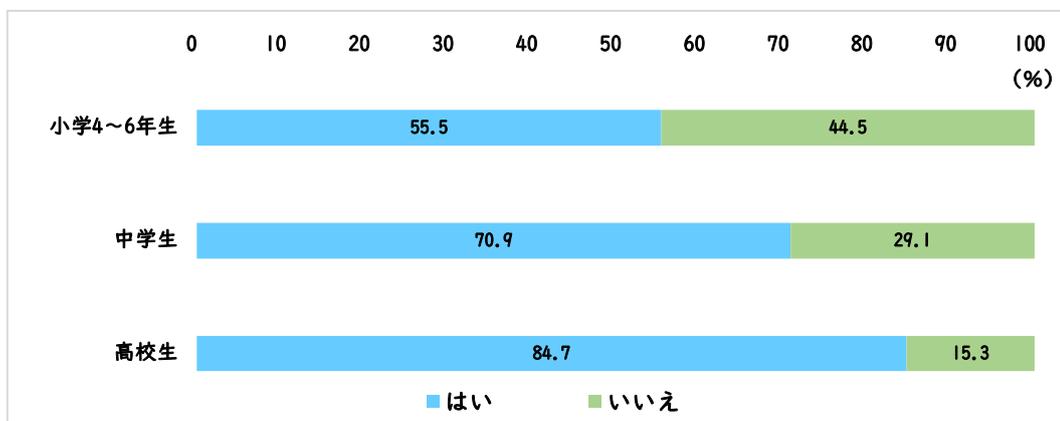
インターネット依存スクリーニングテストの第5項である「予定していたより長くネットをしてしまうことがありますか」について、校種別【図表21-1】・学齢別【図表21-2】に示す。

校種別における「はい」の割合は、小学校4～6年生が55.5%、中学生が70.9%、高校生が84.7%である。【図表21-1】

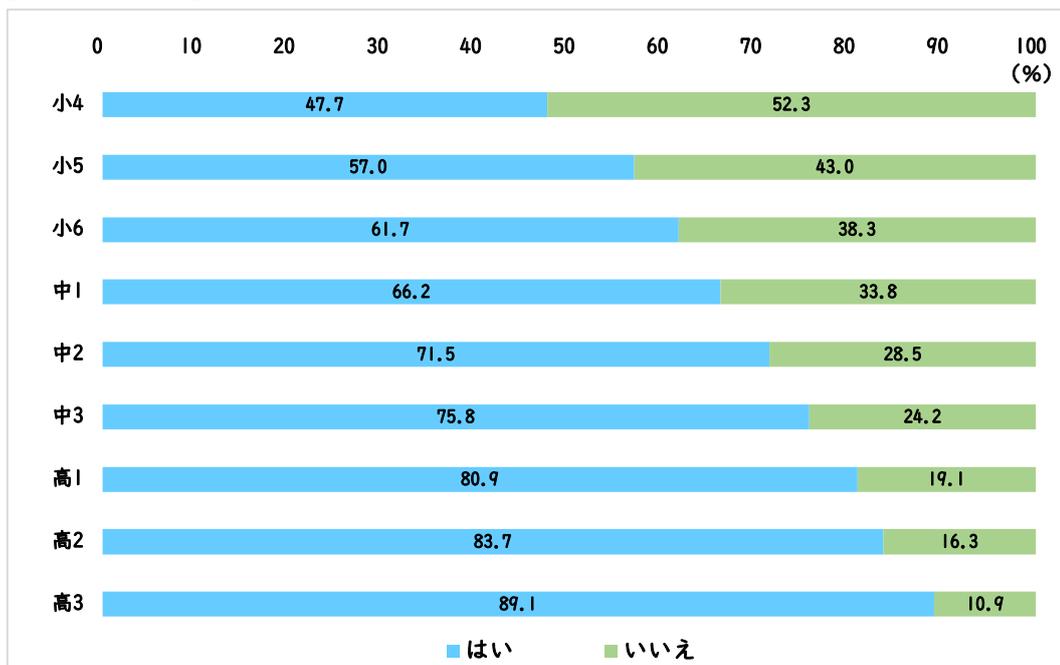
また、学齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっており、最も高いのは高校3年生の89.1%であり、最も低いのは小学校4年生の47.7%である。

【図表21-2】

【図表21-1】 予定していたより長くネットを使用（校種別）



【図表21-2】 予定していたより長くネットを使用（学齢別）



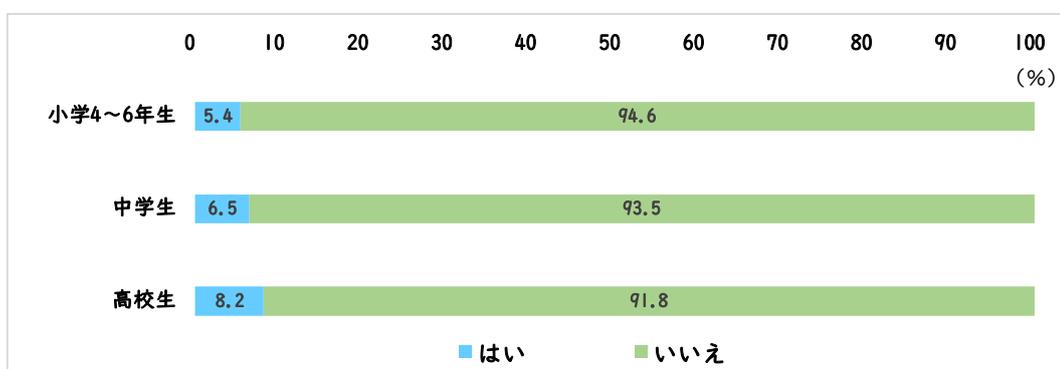
(22) ネットのせいで人間関係がうまくいかなかった(ネット依存テスト⑥)

インターネット依存スクリーニングテストの第6項である「ネットのせいで人間関係がうまくいかなかったことがありますか」について、校種別【図表22-1】・学齢別【図表22-2】に示す。

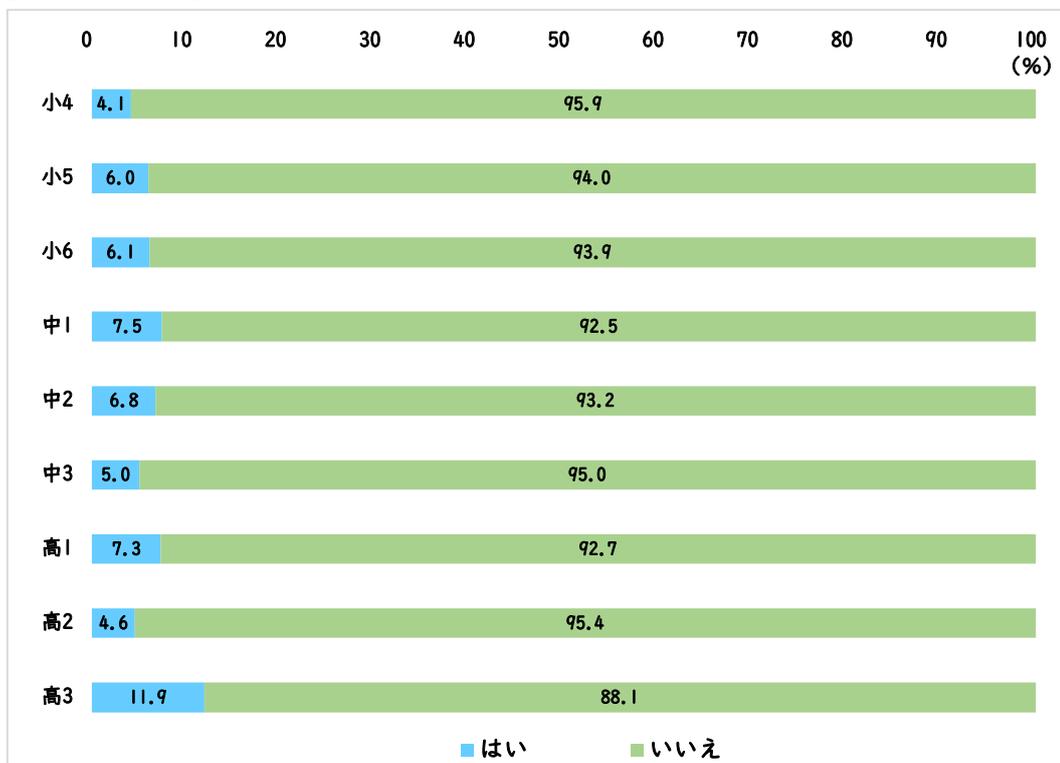
校種別における「はい」の割合は、小学校4～6年生が5.4%、中学生が6.5%、高校生が8.2%である。【図表22-1】

また、学齢別に見ると、最も高いのは高校3年生の11.9%であり、最も低いのは小学校4年生の4.1%である。【図表22-2】

【図表22-1】 ネットのせいで人間関係がうまくいかなかった(校種別)



【図表22-2】 ネットのせいで人間関係がうまくいかなかった(学齢別)



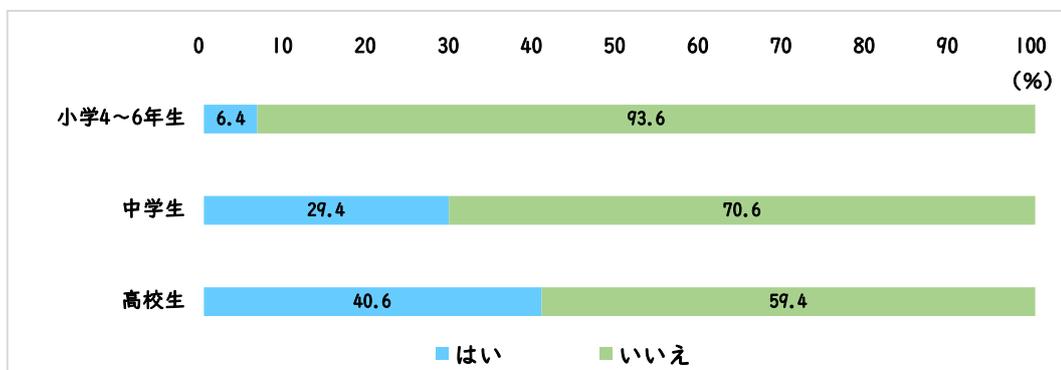
(23) ネットに夢中なのを隠すために家族や友達に嘘（ネット依存テスト⑦）

インターネット依存スクリーニングテストの第7項である「ネットに夢中なのを隠すために家族や友達に嘘をついたことがありますか」について、校種別【図表23-1】・学齢別【図表23-2】に示す。

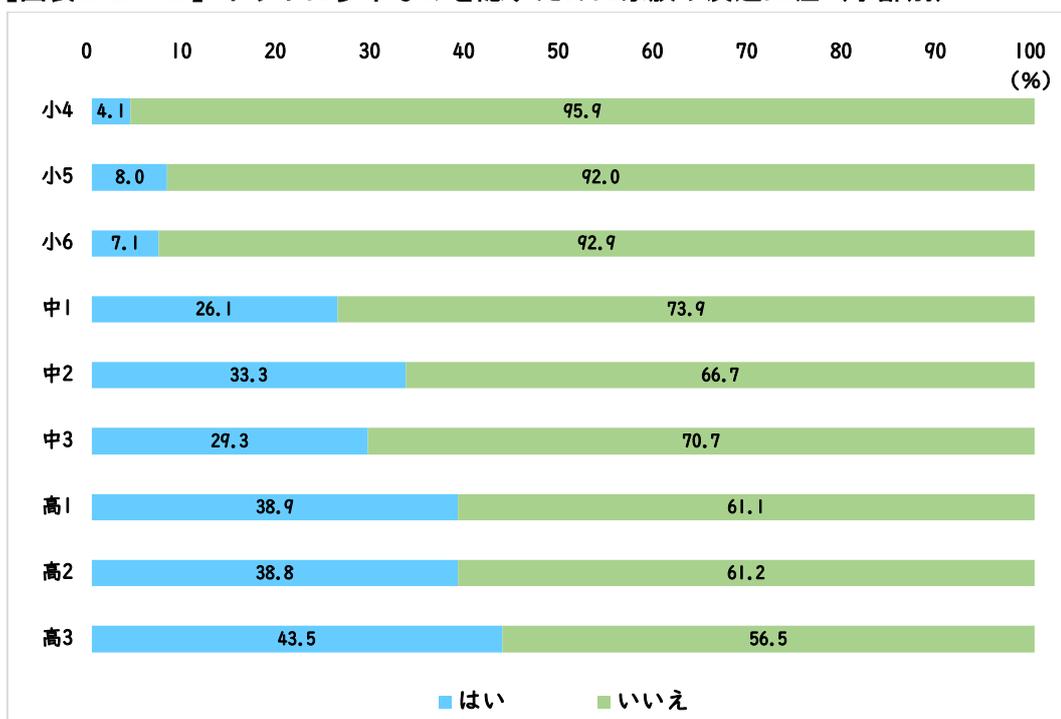
校種別における「はい」の割合は、小学校4～6年生が6.4%、中学生が29.4%、高校生が40.6%である。【図表23-1】

また、学齢別に見ると、中学生になると大幅に増加する傾向があり、最も高いのは高校3年生の43.5%であり、最も低いのは小学校4年生の4.1%である。【図表23-2】

【図表23-1】 ネットに夢中なのを隠すために家族や友達に嘘（校種別）



【図表23-2】 ネットに夢中なのを隠すために家族や友達に嘘（学齢別）



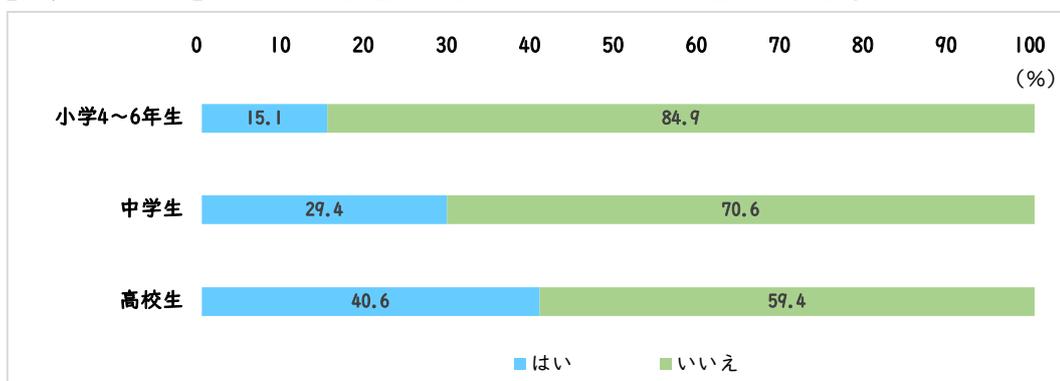
(24) 不安や落ち込みから逃げたくてネットをする（ネット依存テスト⑧）

インターネット依存スクリーニングテストの第8項である「不安や落ち込みから逃げたくてネットをすることがありますか」について、校種別【図表24-1】・学齢別【図表24-2】に示す。

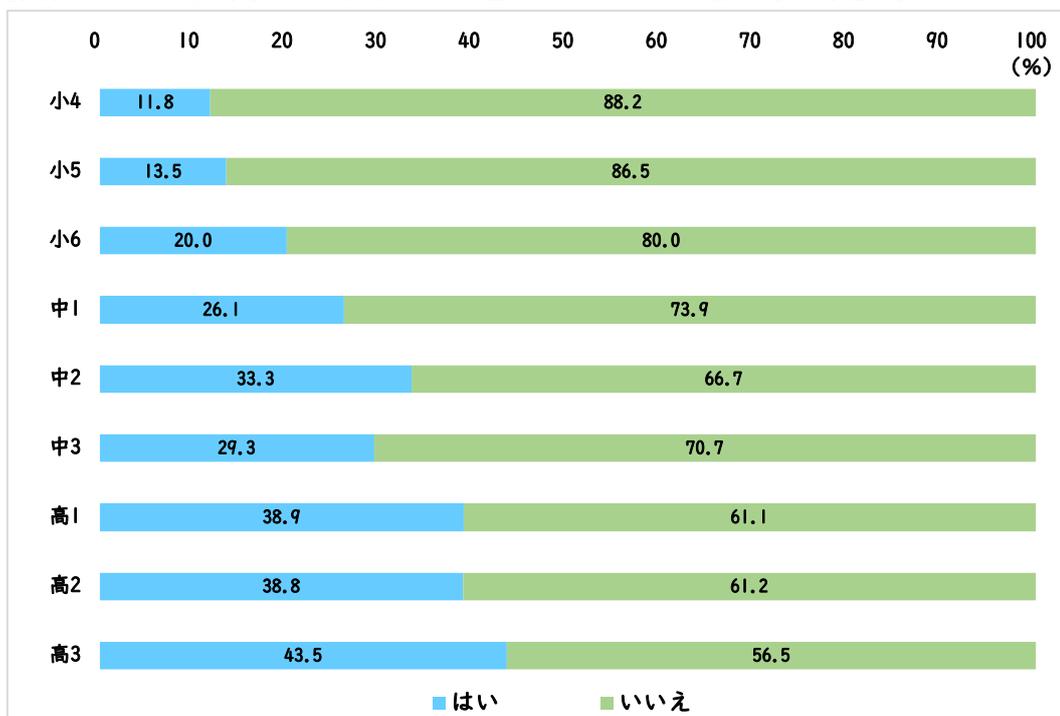
校種別における「はい」の割合は、小学校4～6年生が15.1%、中学生が29.4%、高校生が40.6%である。【図表24-1】

また、学齢が上がるほど「はい」の割合が高くなる傾向にあり、最も高いのは高校3年生の43.5%であり、最も低いのは小学校4年生の11.8%である。【図表24-2】

【図表24-1】 不安や落ち込みから逃げたくてネットをする（校種別）



【図表24-2】 不安や落ち込みから逃げたくてネットをする（学齢別）



（25）ネット依存率（ネット依存テスト まとめ）

8項目あるインターネット依存スクリーニングテストから「ネット依存率（0～2項目該当：問題なし、3～4項目該当：依存の危険性あり、5～8項目該当：依存傾向あり）」に分類し、全体【図表25-1】・校種別【図表25-2】・学齢別【図表25-3】・男女別【図表25-4】に示す。

小学校4年生～高校3年生までにおける、「依存傾向あり」は18.4%、「依存の危険性あり」は33.0%、「問題なし」は48.6%である。

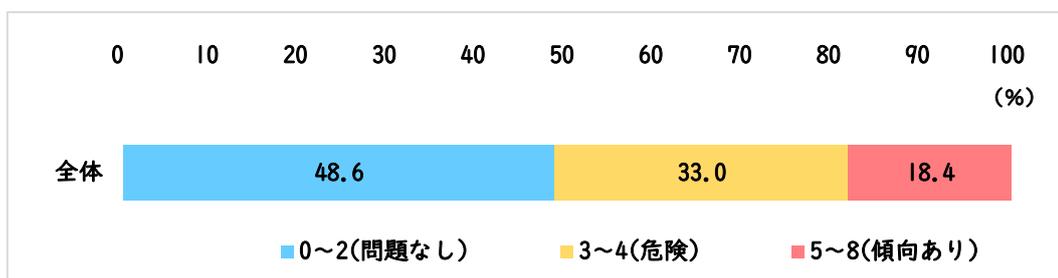
【図表25-1】

校種別において「依存傾向あり」が最も高いのは、高校生の25.9%であり、最も低いのは小学校4～6年生の12.5%である。【図表25-2】

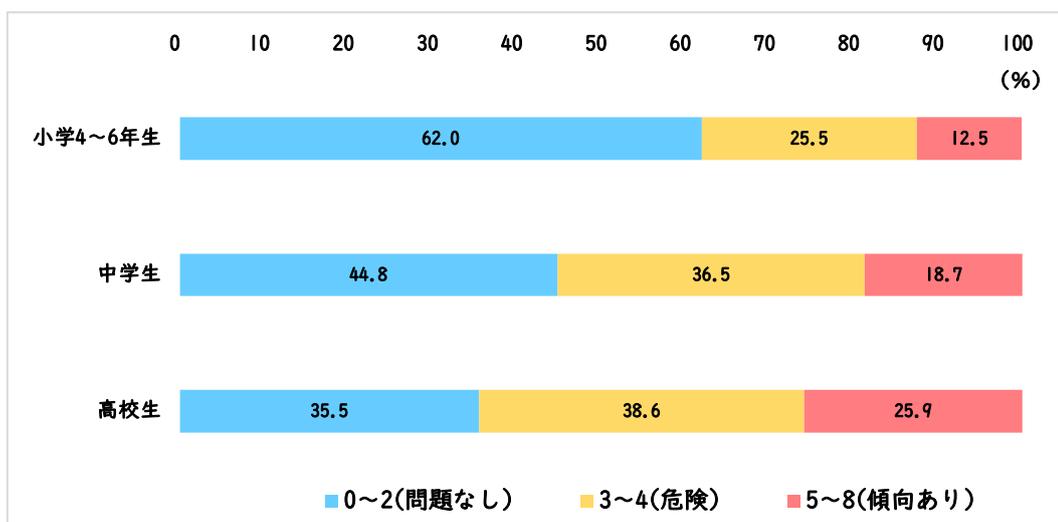
また、学齢別にみると、学齢が上がるほど「依存傾向あり」の割合が高まり、それに伴い「問題なし」の割合が低下している。【図表25-3】

男女別で比較すると、小学校4年生を除くすべての学齢で男子よりも女子の方が「依存傾向あり」の割合が高く、最も高いのは高校3年生女子の36.8%である。【図表25-4】

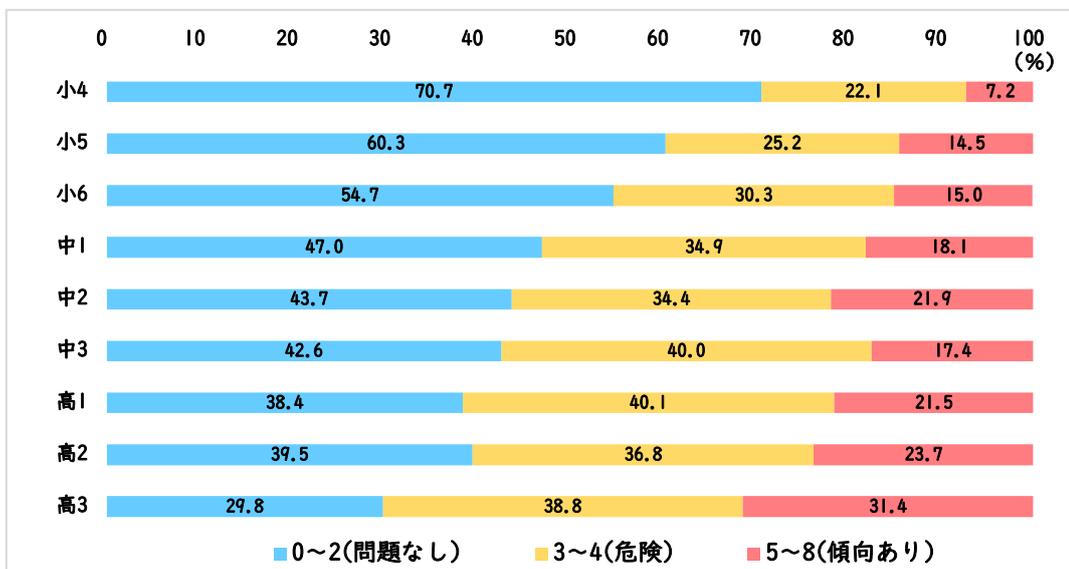
【図表25-1】 ネット依存率（全体）



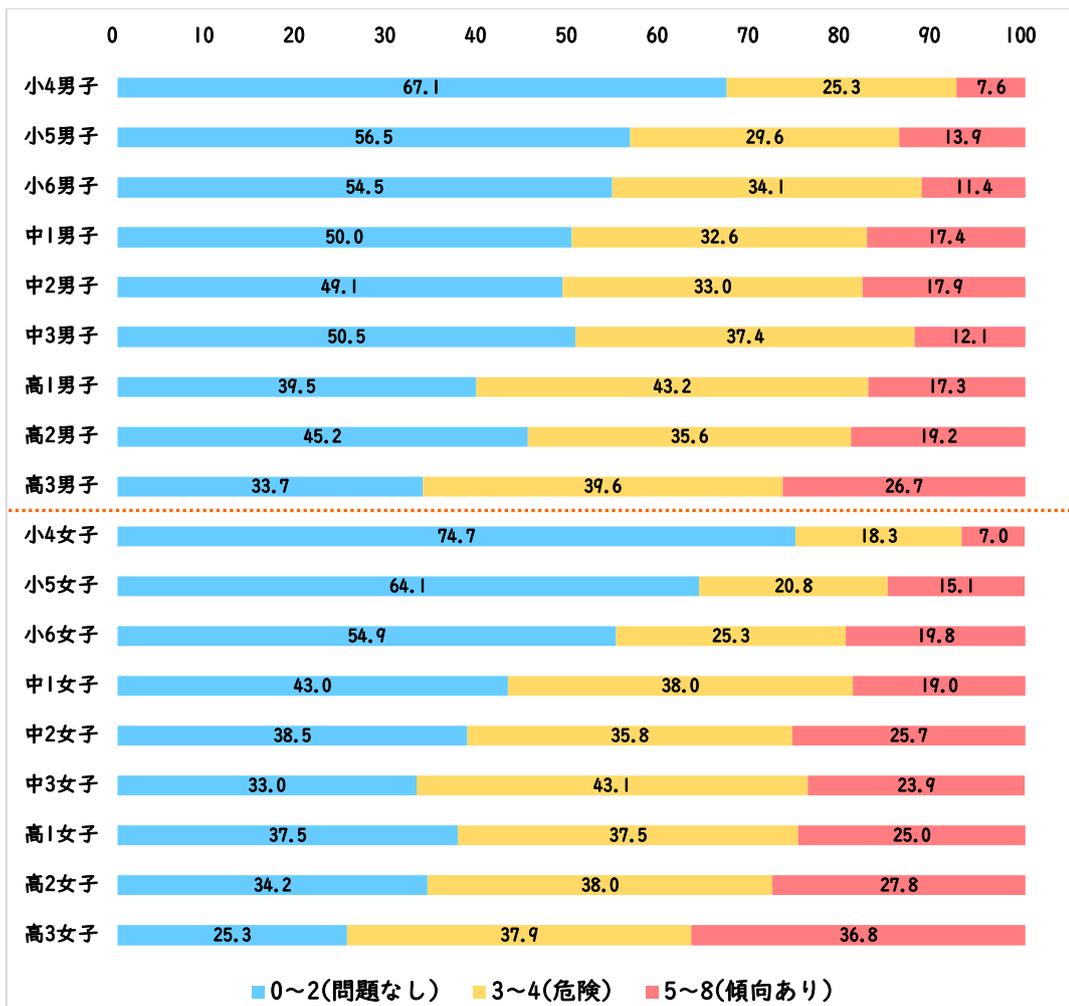
【図表25-2】 ネット依存率（校種別）



【図表 25-3】 ネット依存率（学齢別）



【図表 25-4】 ネット依存率（男女別）



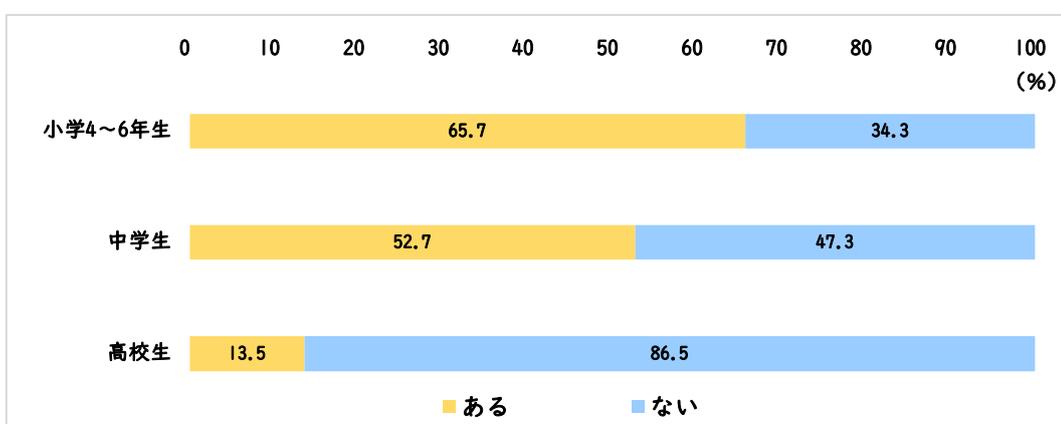
(26) 夜何時まで（家庭でのネットのルール①）

「夜何時まで」のルールの有無について、校種別【図表26-1】・学齢別【図表26-2】に示す。

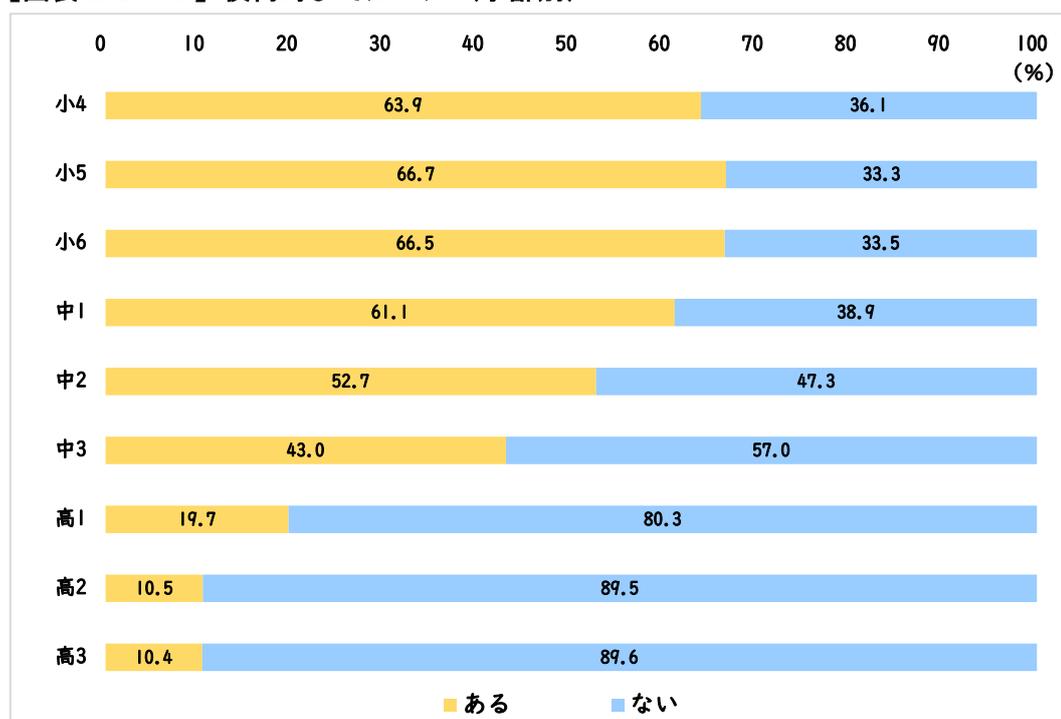
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が65.7%、中学生が52.7%、高校生が13.5%である。【図表26-1】

また、学齢が上がるほど「ある」の割合が低下する傾向にあり特に高校生になると大幅に低下する。最も高いのは小学校5年生の66.7%であり、最も低いのは高校3年生の10.4%である。【図表26-2】

【図表26-1】夜何時までルール（校種別）



【図表26-2】夜何時までルール（学齢別）



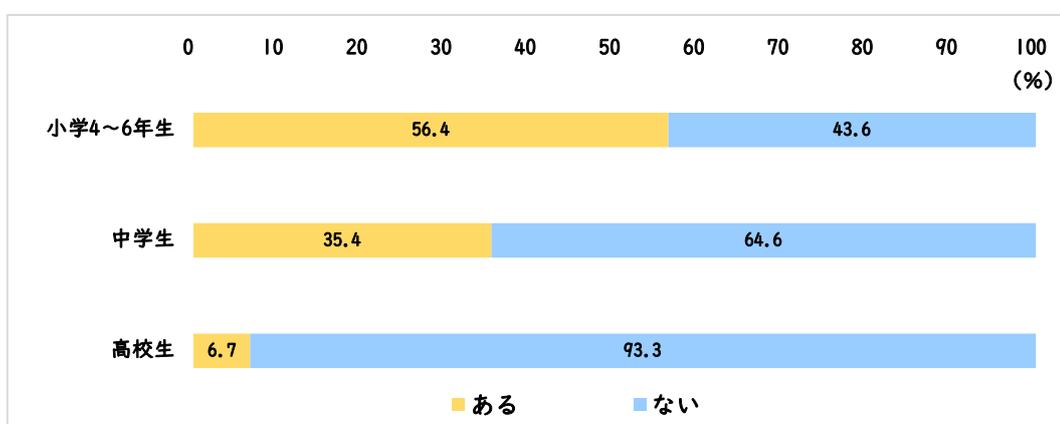
(27) 一日何時間（家庭でのネットのルール②）

「一日何時間」のルールの有無について、校種別【図表27-1】・学齢別【図表27-2】に示す。

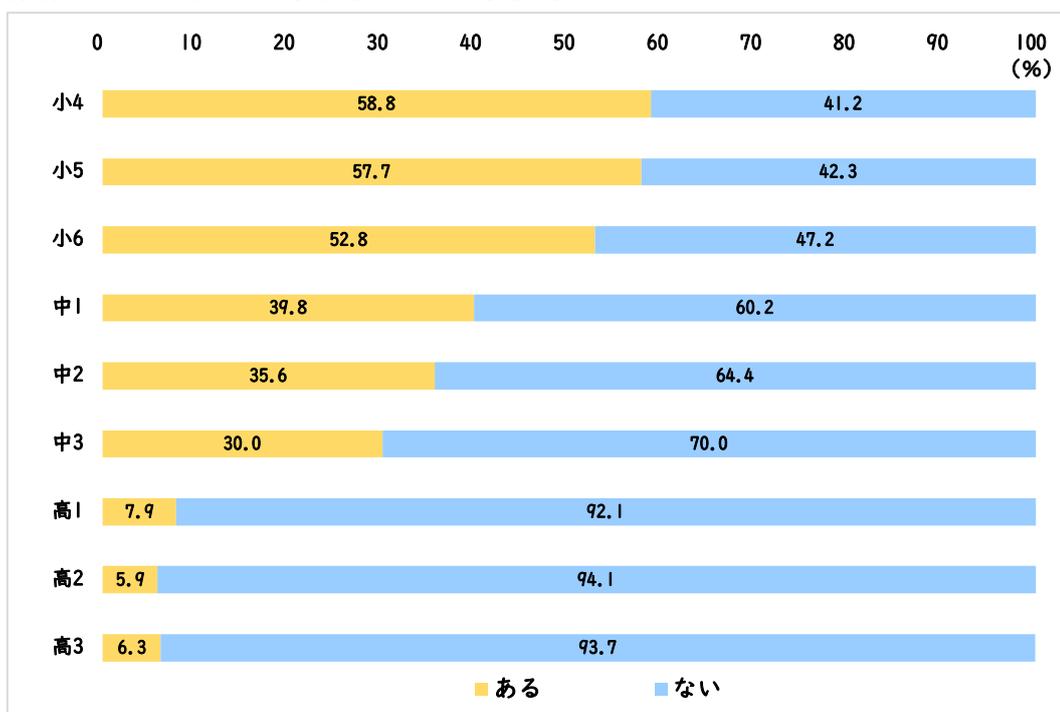
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が56.4%、中学生が35.4%、高校生が6.7%である。【図表27-1】

また、学齢が上がるほど「ある」の割合が低下する傾向にあり特に高校生になると大幅に低下する。最も高いのは小学校4年生の58.8%であり、最も低いのは高校2年生の5.9%である。【図表27-2】

【図表27-1】 一日何時間ルール（校種別）



【図表27-2】 一日何時間ルール（学齢別）



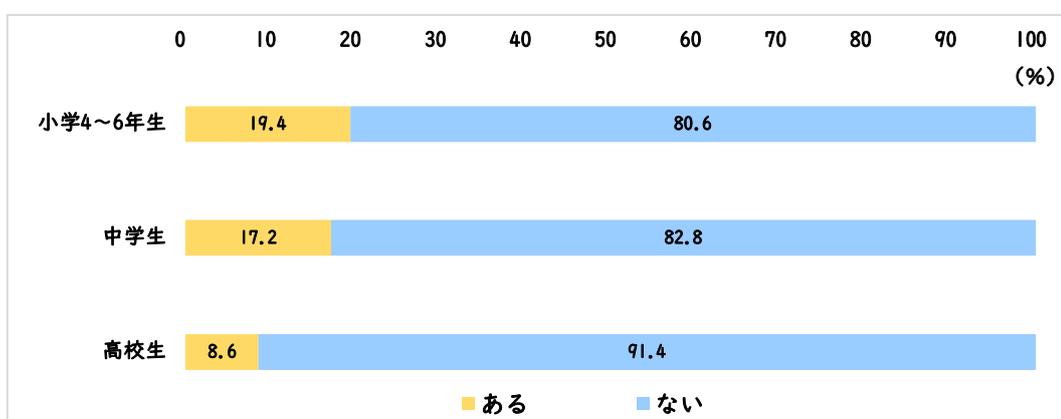
(28) 居間（リビング）でしか使わない（家庭でのネットのルール③）

「居間（リビング）でしか使わない」のルールの有無について、校種別【図表28-1】・学齢別【図表28-2】に示す。

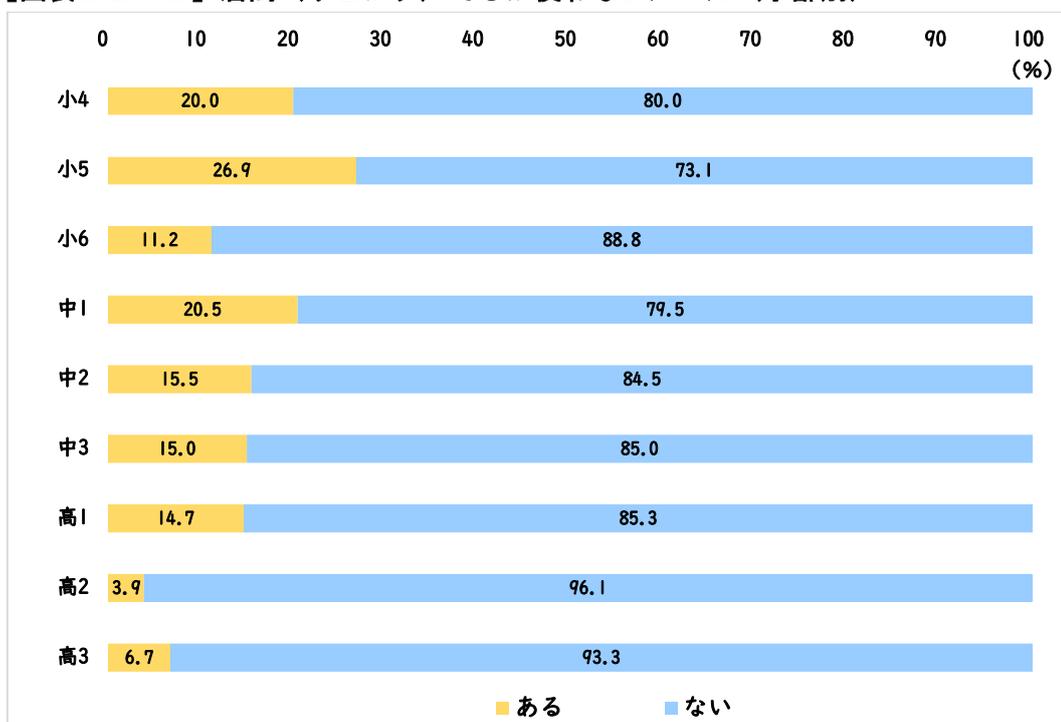
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が19.4%、中学生が17.2%、高校生が8.6%であり、全体的に他のルールと比較して大幅に低い。【図表28-1】

また、学齢別に見ると、最も高いのは小学校5年生の26.9%であり、最も低いのは高校2年生の3.9%である。【図表28-2】

【図表28-1】 居間（リビング）でしか使わないルール（校種別）



【図表28-2】 居間（リビング）でしか使わないルール（学齢別）



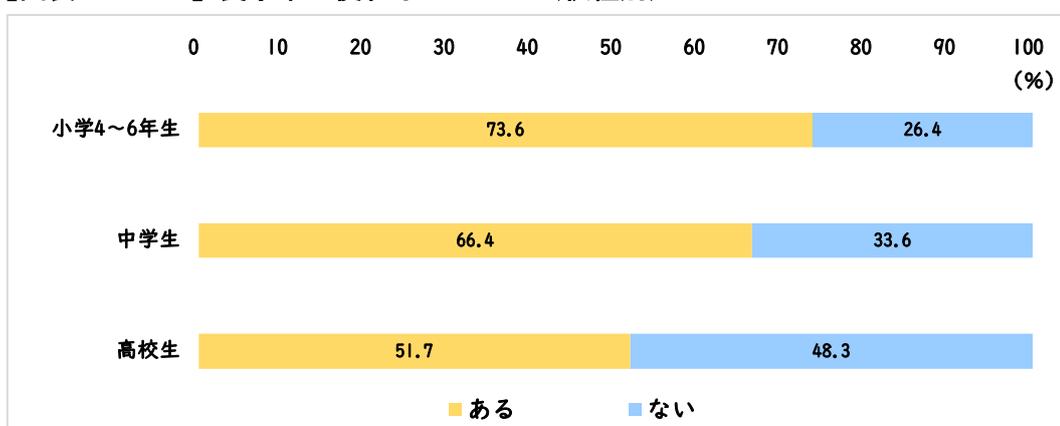
(29) 食事中は使わない（家庭でのネットのルール④）

「食事中は使わない」のルールの有無について、校種別【図表29-1】・学齢別【図表29-2】に示す。

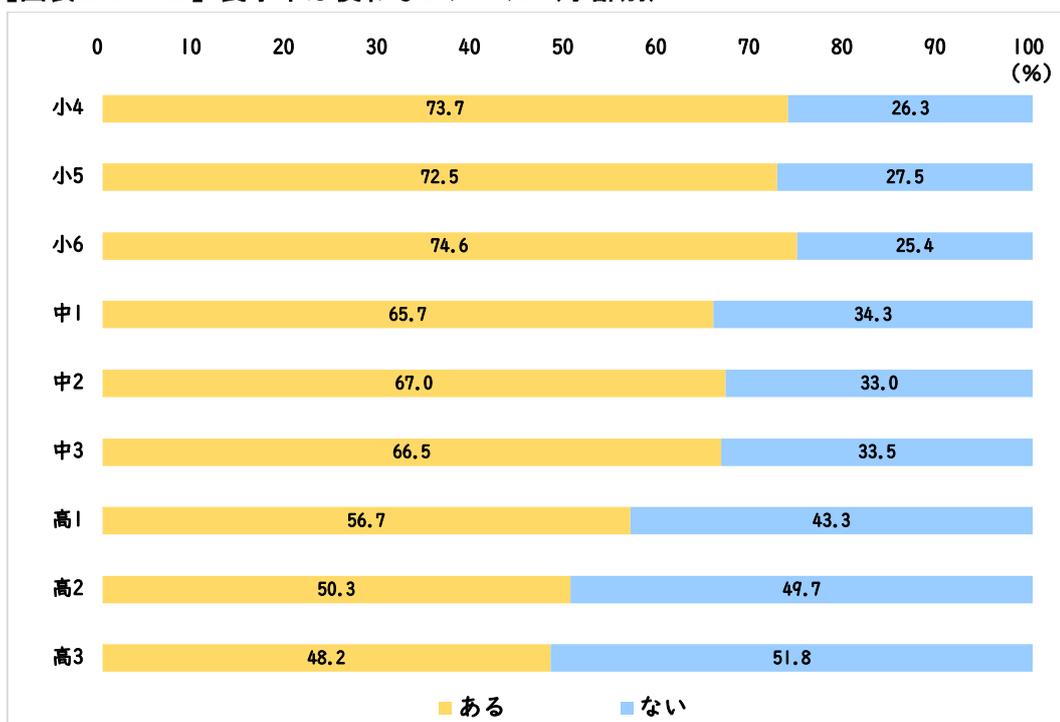
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が73.6%、中学生が66.4%、高校生が51.7%である。【図表29-1】

また、学齢が上がるほど「ある」の割合が低下する傾向にある。最も高いのは小学校6年生の74.6%であり、最も低いのは高校3年生の48.2%である。【図表29-2】

【図表29-1】食事中は使わないルール（校種別）



【図表29-2】食事中は使わないルール（学齢別）



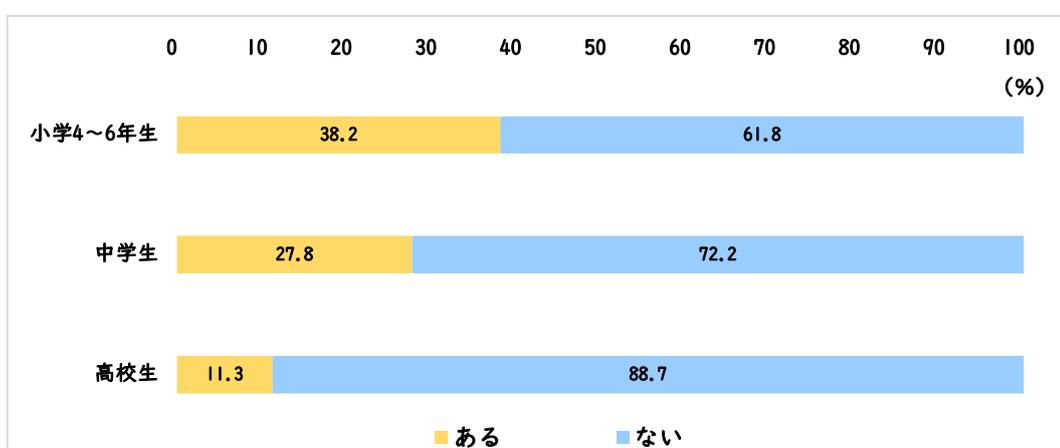
(30) 布団（ベッド）では禁止（家庭でのネットのルール⑤）

「布団（ベッド）では禁止」のルールの有無について、校種別【図表30-1】・学齢別【図表30-2】に示す。

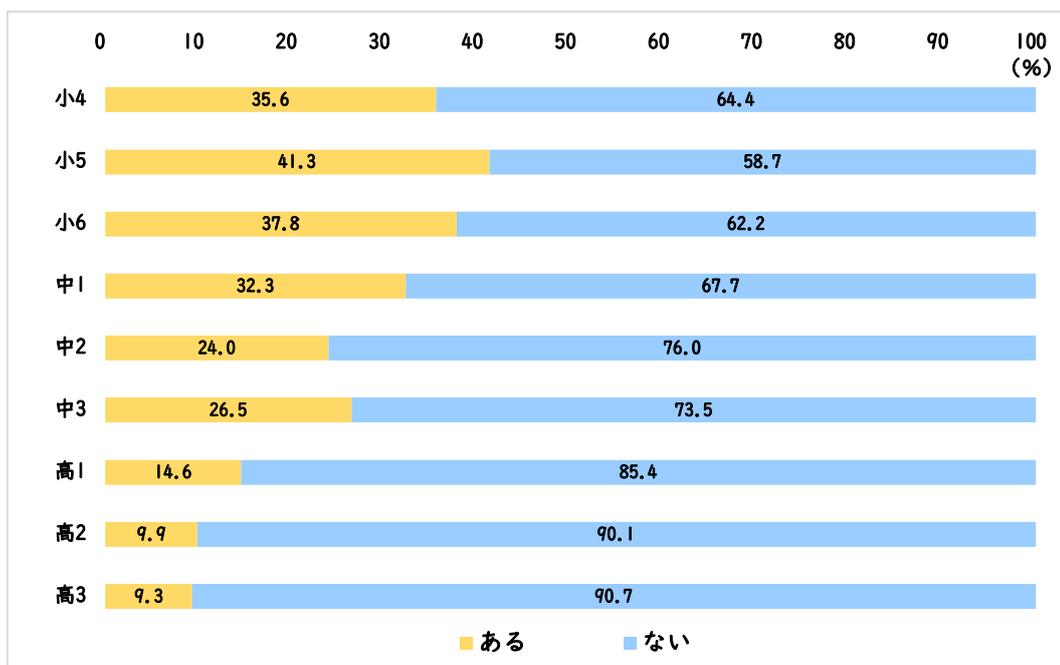
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が38.2%、中学生が27.8%、高校生が11.3%である。【図表30-1】

また、学齢が上がるほど「ある」の割合が低下する傾向にあり特に高校生になると大幅に低下する。最も高いのは小学校5年生の41.3%であり、最も低いのは高校3年生の9.3%である。【図表30-2】

【図表30-1】 布団（ベッド）では禁止ルール（校種別）



【図表30-2】 布団（ベッド）では禁止ルール（学齢別）



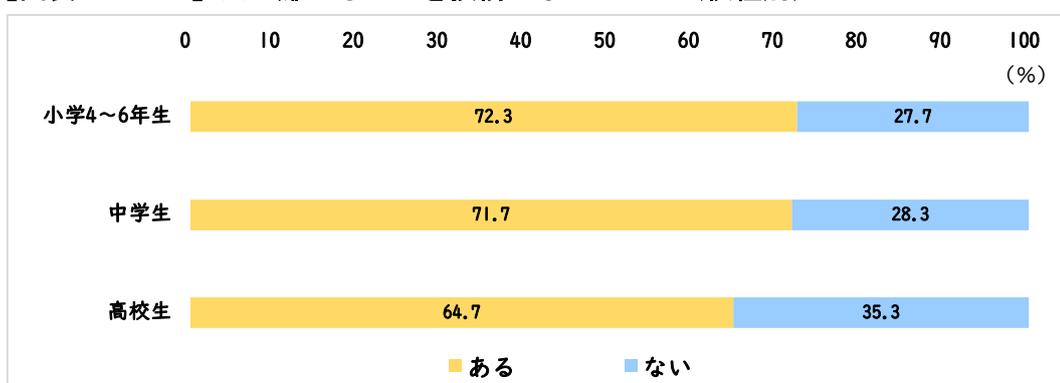
(31) 人の嫌がることを投稿しない（家庭でのネットのルール⑥）

「人の嫌がることを投稿しない」のルールの有無について、校種別【図表31-1】・学齢別【図表31-2】に示す。

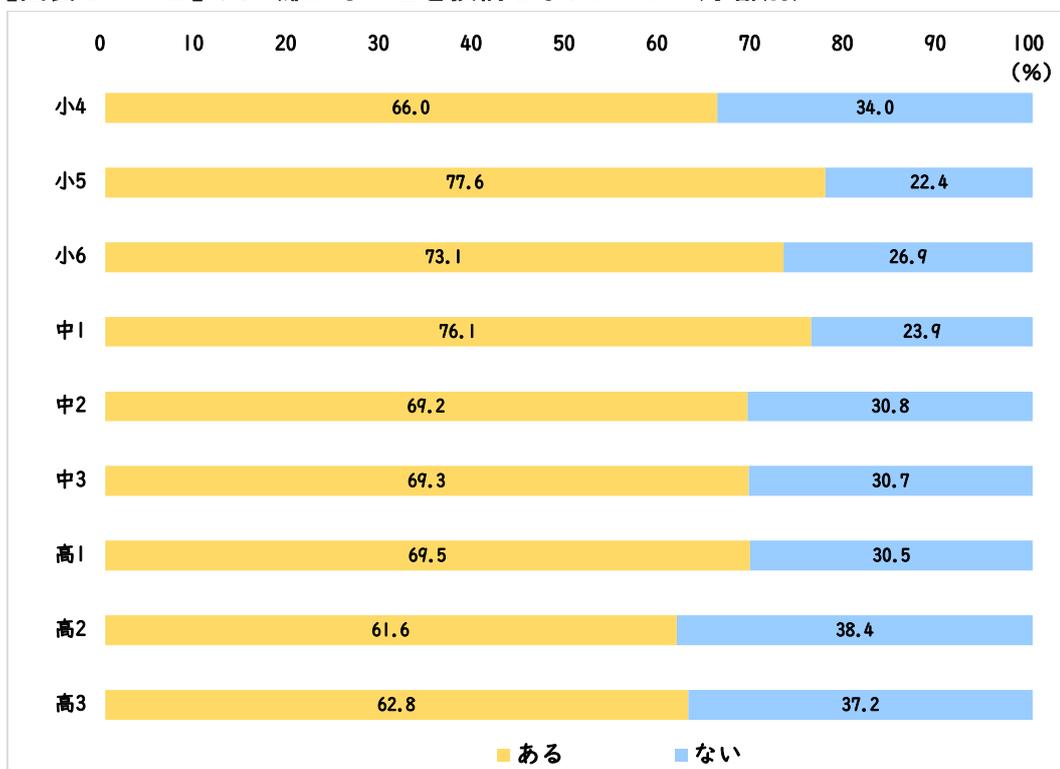
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が72.3%、中学生が71.7%、高校生が64.7%である。【図表31-1】

また、学齢が上がるほど「ある」の割合が低下する傾向にあるが、他のルールと比較すると低下の幅が狭い。最も高いのは小学校5年生の77.6%であり、最も低いのは高校2年生の61.6%である。【図表31-2】

【図表31-1】人の嫌がることを投稿しないルール（校種別）



【図表31-2】人の嫌がることを投稿しないルール（学齢別）



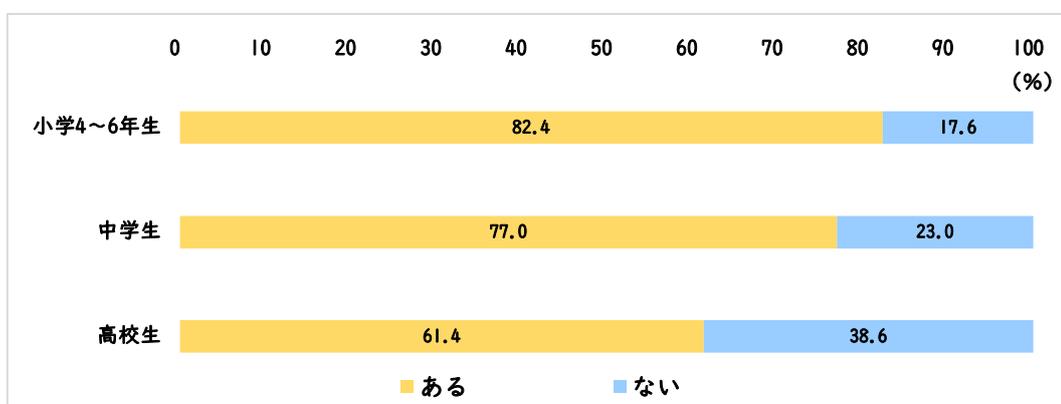
(32) 個人情報を投稿しない（家庭でのネットのルール⑦）

「個人情報を投稿しない」のルールの有無について、校種別【図表32-1】・学齢別【図表32-2】に示す。

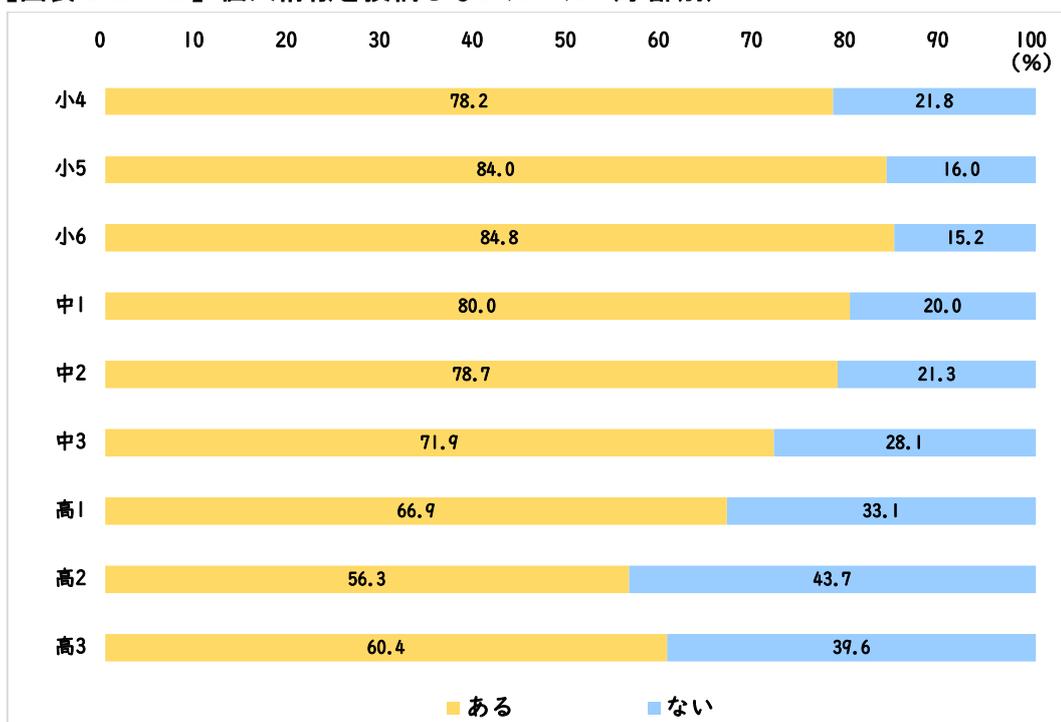
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が82.4%、中学生が77.0%、高校生が61.4%である。【図表32-1】

また、学齢が上がるほど「ある」の割合が低下する傾向にある。最も高いのは小学校6年生の84.8%であり、最も低いのは高校2年生の56.3%である。【図表32-2】

【図表32-1】 個人情報を投稿しないルール（校種別）



【図表32-2】 個人情報を投稿しないルール（学齢別）



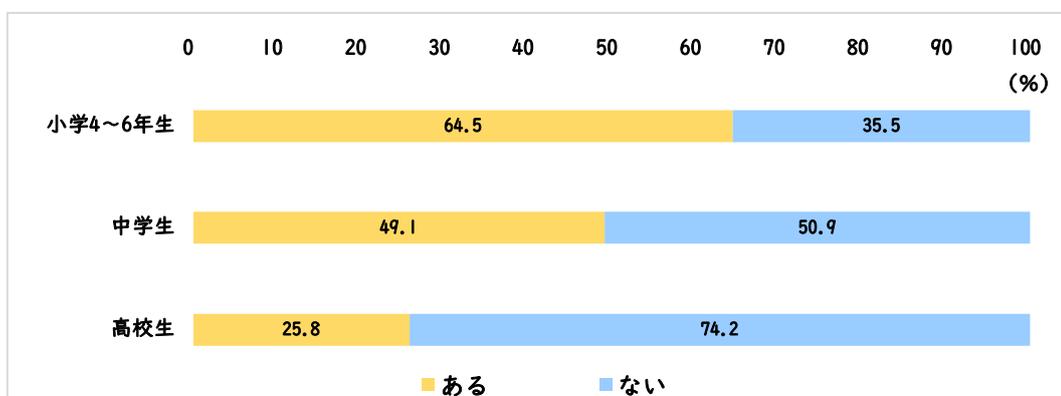
(33) 会ったことがない人とネットでやり取りしない（家庭でのネットのルール⑧）

「会ったことがない人とネットでやり取りしない」のルールの有無について、校種別【図表33-1】・学齢別【図表33-2】に示す。

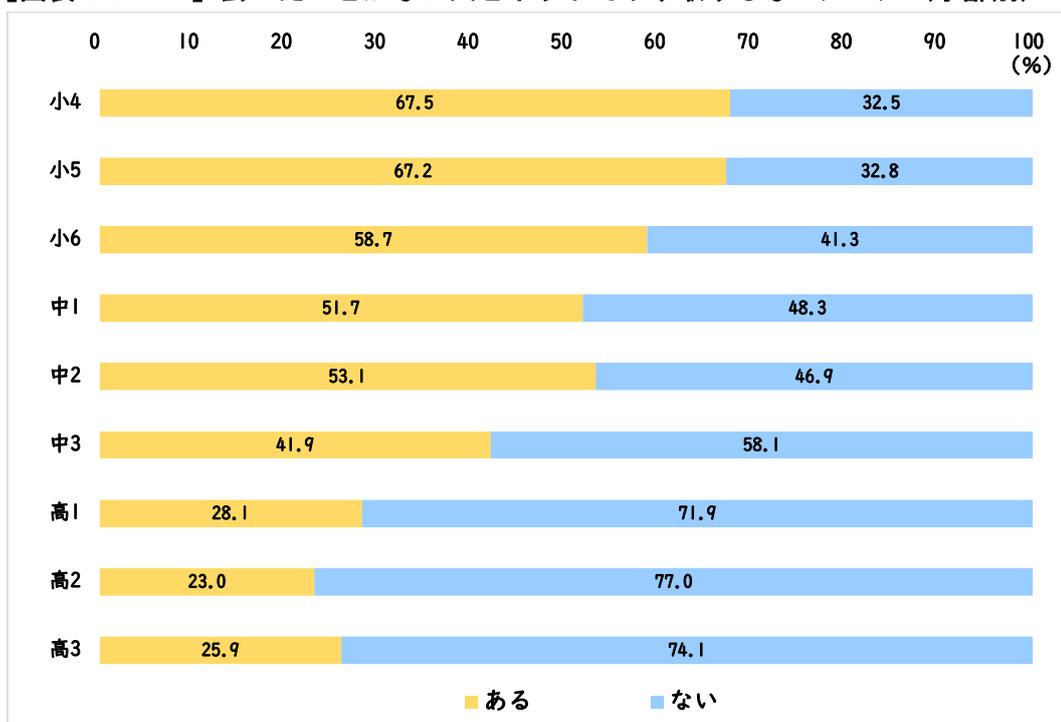
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が64.5%、中学生が49.1%、高校生が25.8%である。【図表33-1】

また、学齢が上がるほど「ある」の割合が低下する傾向にあり特に高校生になると大幅に低下する。最も高いのは小学校4年生の67.5%であり、最も低いのは高校2年生の23.0%である。【図表33-2】

【図表33-1】 会ったことがない人とネットでやり取りしないルール（校種別）



【図表33-2】 会ったことがない人とネットでやり取りしないルール（学齢別）



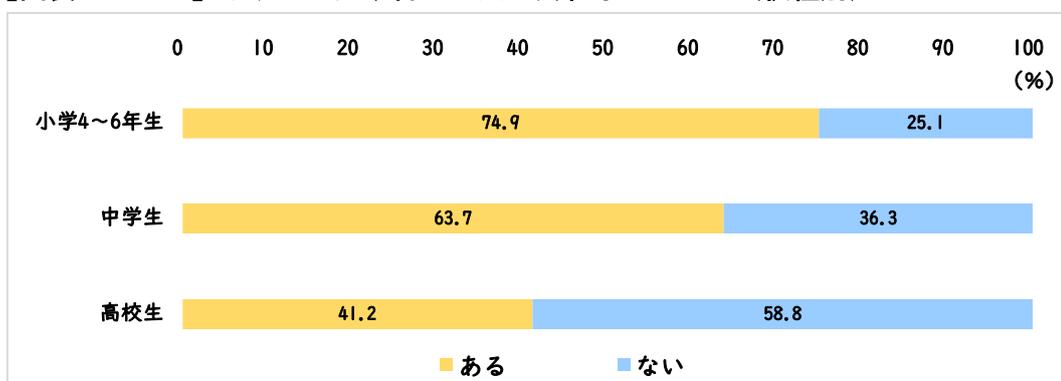
(34) ネットで知り合った人に会わない(家庭でのネットのルール⑨)

「ネットで知り合った人に会わない」のルールの有無について、校種別【図表34-1】・学齢別【図表34-2】に示す。

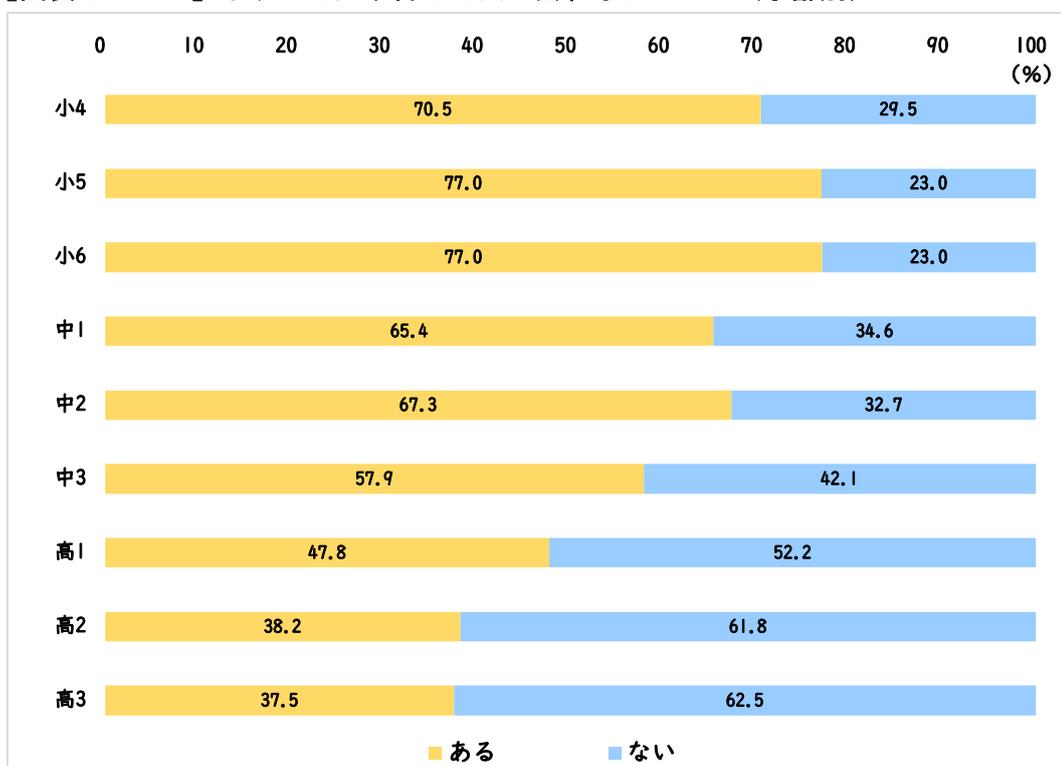
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が74.9%、中学生が63.7%、高校生が41.2%である。【図表34-1】

また、学齢が上がるほど「ある」の割合が低下する傾向にある。最も高いのは小学校5年生と小学校6年生の77.0%であり、最も低いのは高校3年生の37.5%である。【図表34-2】

【図表34-1】 ネットで知り合った人に会わないルール(校種別)



【図表34-2】 ネットで知り合った人に会わないルール(学齢別)



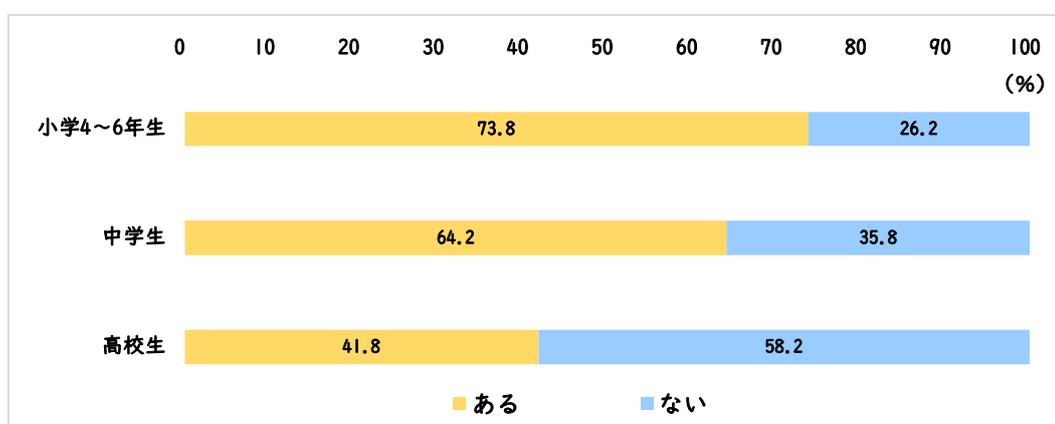
(35) ネット課金（家庭でのネットのルール⑩）

「ネット課金」のルールの有無について、校種別【図表35-1】・学齢別【図表35-2】に示す。

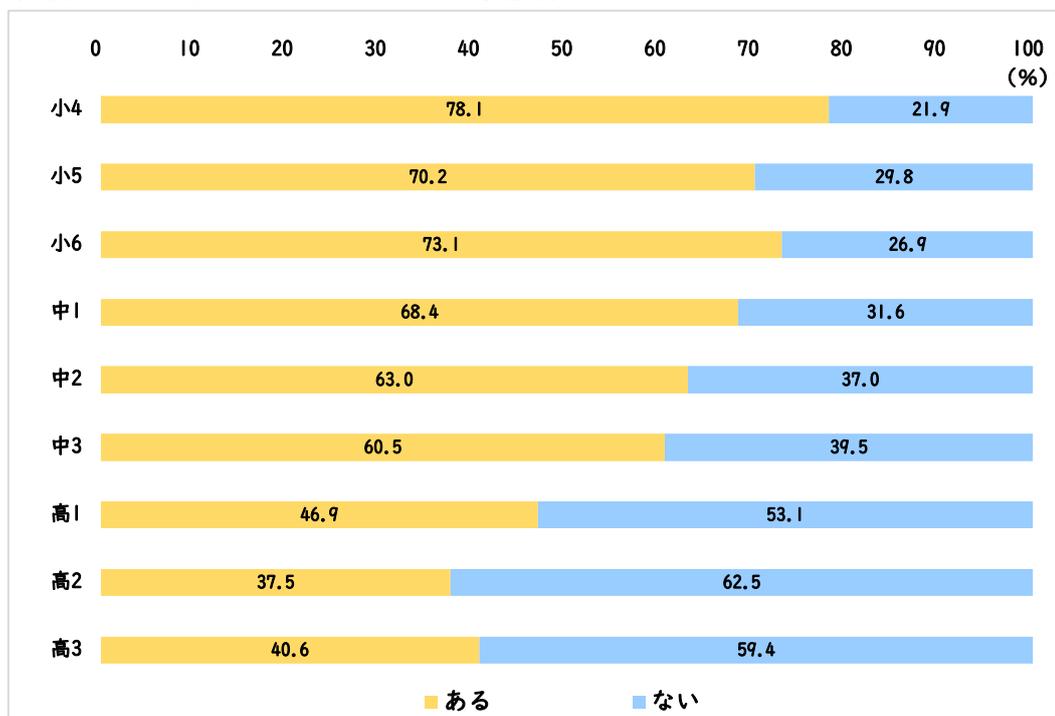
校種別における「ある」の割合は、小学校4～6年生が73.8%、中学生が64.2%、高校生が41.8%である。【図表35-1】

また、学齢が上がるほど「ある」の割合が低下する傾向にある。最も高いのは小学校4年生の78.1%であり、最も低いのは高校2年生の37.5%である。【図表35-2】

【図表35-1】 ネット課金ルール（校種別）



【図表35-2】 ネット課金ルール（学齢別）



(36) ネットで困ったら保護者に相談

ネットで困ったら保護者にするかについて、校種別【図表36-1】・学齢別【図表36-2】・男女別【図表36-3】に示す。

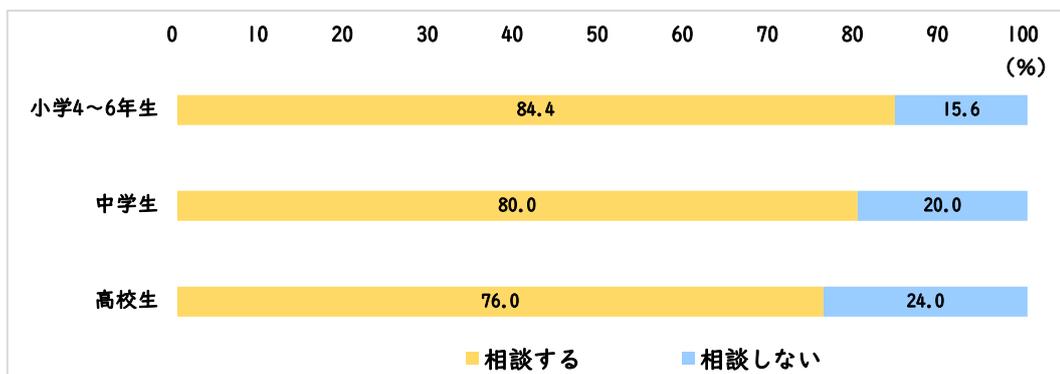
「相談する」については小学校4～6年生が最も高く84.4%であるが、中学生、高校生ともに80%前後であり大幅な違いはみられない。

【図表36-1】

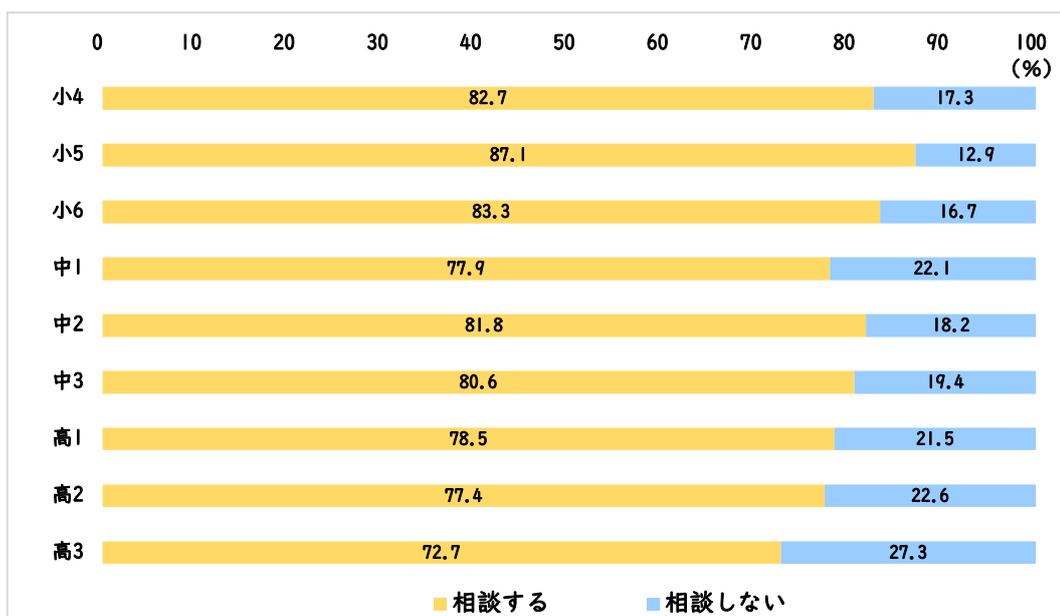
また、学齢が上がるほど「ある」の割合が緩やかに低下する傾向にある。最も高いのは小学校5年生の87.1%であり、最も低いのは高校3年生の72.7%である。【図表36-2】

男女別で比較すると、小学校6年生を除くすべての学齢で男子よりも女子の方が「相談する」の割合が高い。【図表36-3】

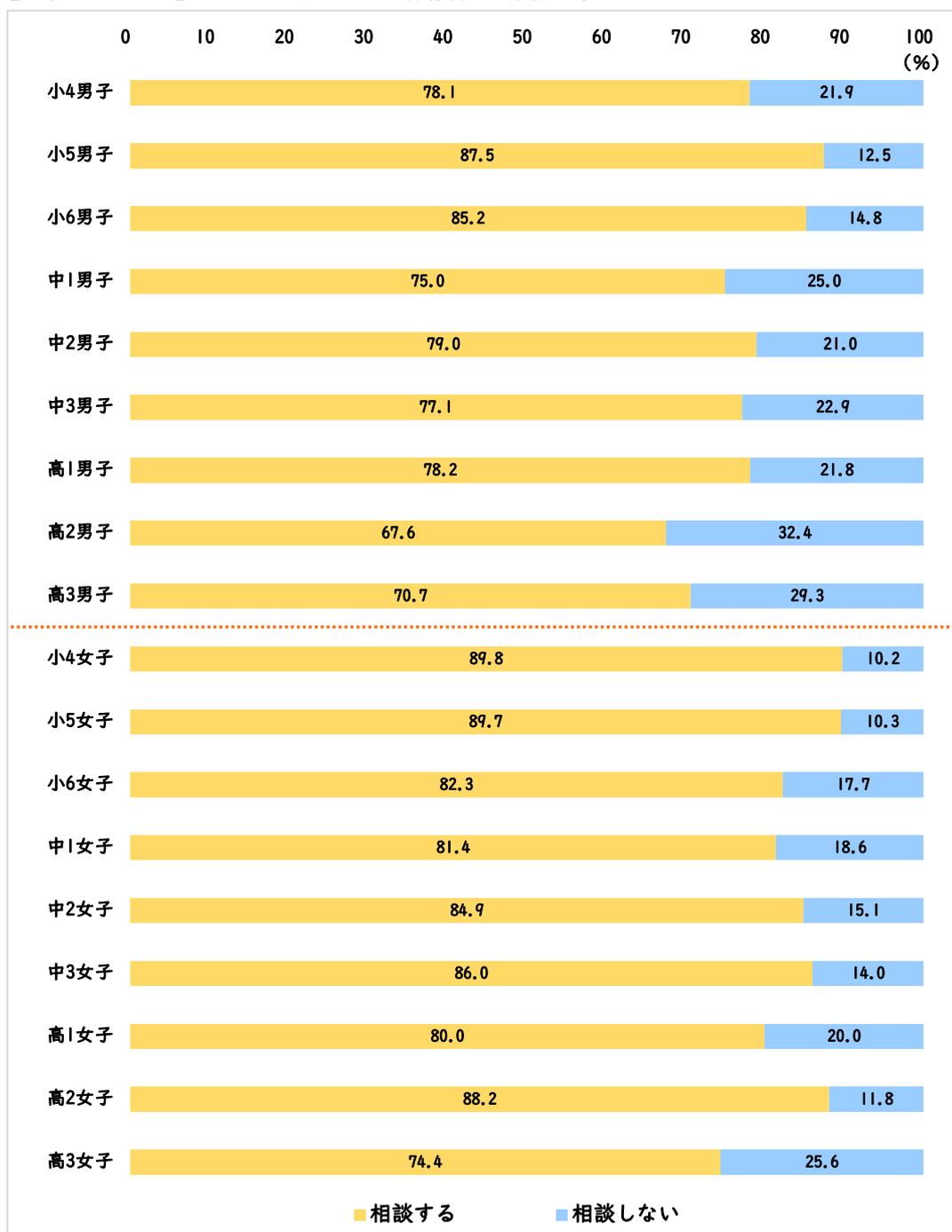
【図表36-1】 ネットで困ったら保護者に相談（校種別）



【図表36-2】 ネットで困ったら保護者に相談（学齢別）



【図表 36-3】 ネットで困ったら保護者に相談（男女別）



(37) 相談しない理由

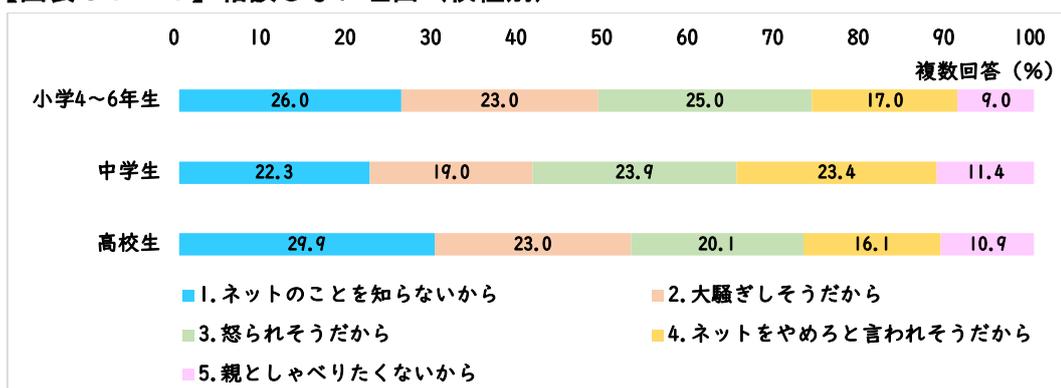
(36)で「相談しない」と回答した人の理由について(複数回答可)、校種別【図表37-1】・学齢別【図表37-2】・男女別【図表37-3】に示す。

各校種において最も高いのは、小学校4～6年生は「1. ネットのことを知らないから」次いで「3. 怒られそうだから」、中学生は「3. 怒られそうだから」次いで「4. ネットをやめろと言われそうだから」、高校生は「1. ネットのことを知らないから」次いで「2. 大騒ぎしそうだから」である。【図表37-1】

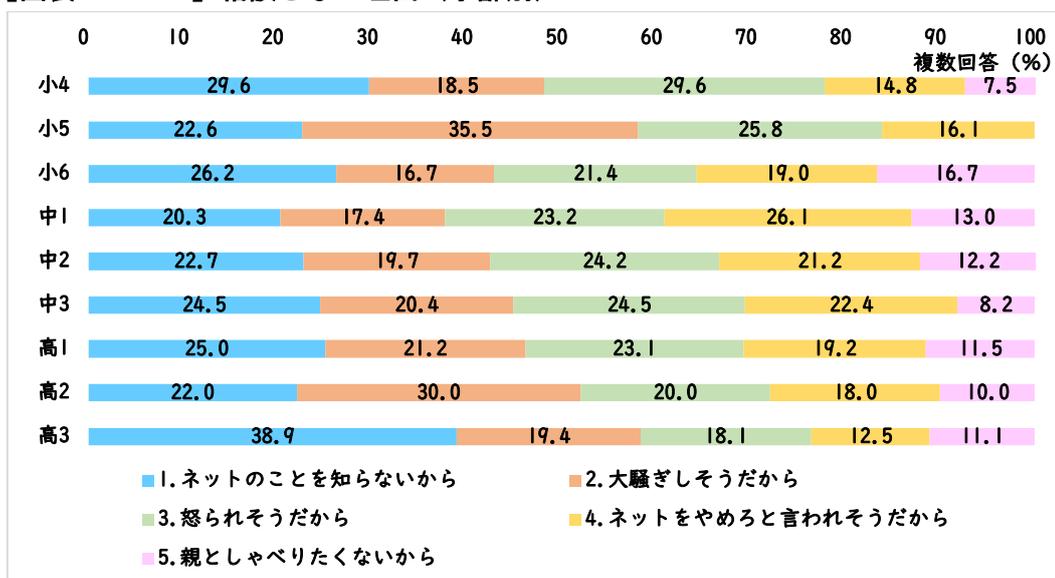
学齢別で見ると、1から4までの回答がまんべんなく多い傾向にある。【図表37-2】

男女別で見ると、高校3年生男子の「1. ネットのことを知らないから」と、小学校6年生女子の「5. 親としゃべりたくないから」が同学年の異性と比較して大幅な違いがある。【図表37-3】

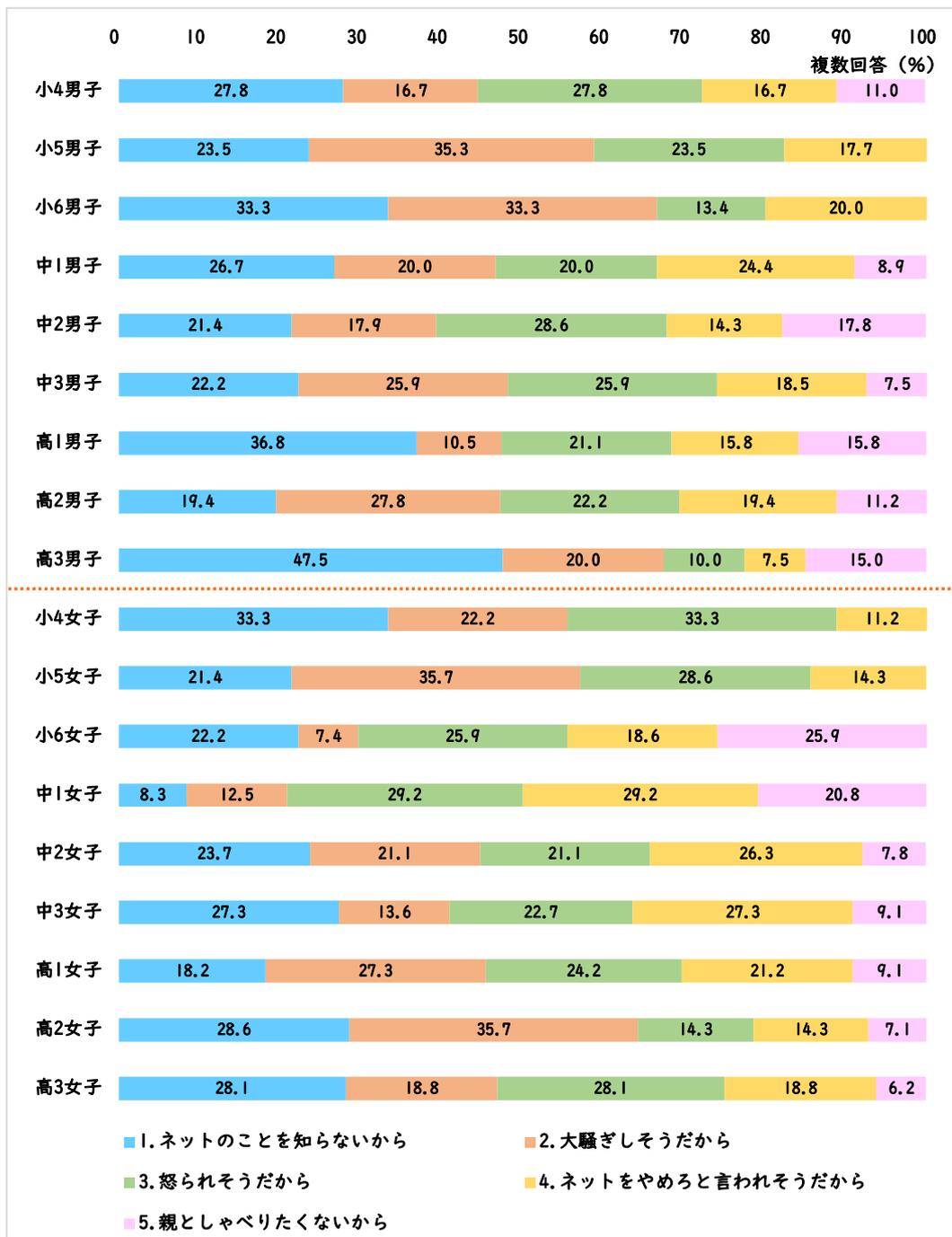
【図表37-1】 相談しない理由 (校種別)



【図表37-2】 相談しない理由 (学齢別)



【図表 37-3】相談しない理由（男女別）



生活アンケート

生活を見直すためのアンケートです。正直に教えてください。

(小 中 高) 学校名 () () 年 (男子 女子 答えない)

- ① 平日は何時ごろ寝ますか 1.~10時頃 2.11時頃 3.12時頃 4.1時頃~
- ② 平日は何時ごろ起きますか 1.~5時頃 2.6時頃 3.7時頃 4.8時頃~
- ③ 朝食を食べますか 1.必ず 2.だいたい 3.あまり食べない 4.食べない
- ④ イライラすることはありますか 1.よくある 2.ある 3.あまりない 4.ない
- ⑤ 勉強に自信はありますか 1.ない 2.あまりない 3.少しある 4.ある
- ⑥ 視力(メガネなし)は? D.~0.2 C.0.3~0.6 B.0.7~0.9 A.1.0~
- ⑦ 自分の携帯電話を持っていますか
1.持っていない 2.ガラケー(キッズケータイ) 3.スマホ 4.ガラケーとスマホ両方
- ⑧ 学校から帰ってから、家で一番長くするのは何ですか
1.ネット(SNS、動画、ゲーム等。ただし、ネットでの勉強、読書を除く) 2.テレビ
3.遊び(ネット以外) 4.勉強、読書(オンライン学習を含む)
- ⑨ 家で勉強や読書等以外でどれくらいネットを利用しますか(ゲーム、動画[YouTube]、SNSなど)
1.しない 2.30分 3.一時間 4.二時間 5.三時間 6.四時間 7.五時間~
- ⑩ 「しない」と答えた人はこれで終わりです それ以外の人は以下も教えてください
- ⑩ 一番ネットを利用するのは次のどれですか
1.スマホ 2.ゲーム機 3.テレビ 4.タブレット 5.パソコン
- ⑪ ネットで一番よくすることは次のどれですか
1.動画視聴(YouTube等) 2.オンラインゲーム 3.SNS(LINE, インスタ等) 4.勉強, 読書等
- ⑫ 課金(ゲーム, スタンプ等)のこれまでの合計課金金額は?(ポイントをためた課金も含む)
1.一度もない 2.~五百円 3.五百円~ 4.千円~ 5.五千元~ 6.一万円~ 7.五万円~
- ⑬ ネット上でのケンカやトラブルの経験はありますか
1.一度もない 2.一度はある 3.少しはある 4. 何度もある
- ⑭ 会ったことがない人とネットでやりとりはありますか(ゲームやボイスチャット等も含む)
1.一度もない 2.一度はある 3.少しはある 4. 何度もある
- ⑮ ネットで知り合った人と実際に会ったことはありますか
1.一度もない 2.一度はある 3.少しはある 4. 何度もある
- ⑯ フィルタリングを設定していますか
1.している 2.以前していた(今はしていない) 3.したことはない 4.わからない

※小3以下は
赤字の質問のみ
回答します

「はい」か「いいえ」に○をしてください

- ⑰ (はい ・ いいえ) ネットに夢中になっていると感じることがありますか
- ⑱ (はい ・ いいえ) 満足するためにネット時間を長くしたいと思うことがありますか
- ⑲ (はい ・ いいえ) ネット時間を減らそうとしてうまくいかないことがありますか
- ⑳ (はい ・ いいえ) ネット時間を短くしようとするとうちがなかつたり、イライラしたりしますか
- ㉑ (はい ・ いいえ) 予定していたより長くネットをしてしまうことがありますか
- ㉒ (はい ・ いいえ) ネットのせいで人間関係がうまくいなくなってしまうことがありますか
- ㉓ (はい ・ いいえ) ネットに夢中なのを隠すために家族や友達に嘘をついたことがありますか
- ㉔ (はい ・ いいえ) 不安や落ち込みから逃げたくてネットをすることがありますか

次のようなルールがありますか

- ㉕ (ある ・ ない) 「夜何時まで」ルール
- ㉖ (ある ・ ない) 「一日何時間」ルール
- ㉗ (ある ・ ない) 「居間(リビング)でしか使わない」ルール
- ㉘ (ある ・ ない) 「食事中は使わない」ルール
- ㉙ (ある ・ ない) 「布団(ベッド)では禁止」ルール
- ㉚ (ある ・ ない) 「人が嫌がることを投稿しない」ルール
- ㉛ (ある ・ ない) 「個人情報を投稿しない」ルール
- ㉜ (ある ・ ない) 「会ったことがない人とネットでやり取りしない」ルール
- ㉝ (ある ・ ない) 「ネットで知り合った人と会わない」ルール
- ㉞ (ある ・ ない) 「ネット課金」のルール

㉟ ネットで困ったら保護者に相談しますか

1. 相談する 2. 相談しない

㊱ ㉟で「相談しない場合」、理由は何ですか(複数回答可)

1. ネットのことを知らないから 2. 大騒ぎしそうだから 3. 怒られそうだから
4. ネットをやめると言われそうだから 5. 親としゃべりたくないから

やまなし青少年のインターネット利用と 生活習慣に関する調査2022

令和5年（2023年）1月 山梨県教育委員会

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
山梨県教育庁 生涯学習課
電話 055-223-1356

